

Tohoku University Fact Book 2017

東北大学概要 2017



CONTENTS

〈はじめに〉	
歴史的背景・東北大学学章・ロゴマーク・スクールカラー	01
東北大学の使命・基本的な目標・学生歌・校友歌	02
総長挨拶	03
歴代総長	04
沿革図	05
ノーベル賞・文化勲章等受賞者	07
学内表彰	11
〈組織〉	
運営組織	13
機構図	14
役員・主な役職者	15
総長選考会議	19
役員会	19
経営協議会	19
教育研究評議会	20
役員・職員数	21
学部	22
大学院	23
附置研究所・研究施設・組織・機構等	25
附属図書館	27
病院	28
〈学生〉	
学生数	29
入学状況	30
学部卒業生数・学位授与者数	32
卒業後の状況	33
産業別就職者数	35
校友会	36
〈財務〉	
平成28年度収入・支出予算	37
研究費等受入状況	37
土地・建物	39
〈特色ある研究・教育・社会貢献活動〉	
災害復興新生研究機構	41
革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)	42
研究大学強化促進事業	42
スーパーグローバル大学創成支援	43
教育	44
寄附講座・寄附研究部門	45
共同研究講座・共同研究部門	45
産学連携	46
社会との連携協力	47
〈国際交流〉	
学術交流協定締結等	49
研究者等交流状況	56
外国人留学生数	59
海外拠点	63
国際的な大学連合への加盟	64
〈キャンパス〉	
施設所在地一覧	65
建物配置図	67

歴史的背景

東北大学は、明治40年(1907年)に東北帝国大学として創立し、当初から、専門学校、高等師範学校の卒業生にも門戸を開き、大正2年(1913年)には、当時の政府からの圧力にも屈せず、日本の大学として初めて、3名の女子の入学を許可し、「門戸開放」が本学の不動の理念であることを世に示した。

また、創立に当たって、世界の学界でトレーニングを積んだ若き俊秀が教授として集まったこともあって、研究者が独創的な研究成果を次々と生み出しながら、それを学生に対する教育にも生かすという「研究第一主義」の精神が確立された。さらに、いち早く大学発のベンチャー企業を設立して地域産業の育成を図ったり、日常生活に最も密着した法律である家族法の研究の日本の中心になるなど、世界最先端の研究成果を社会や人々の日常生活に役立てる「実学尊重」の伝統も育んできた。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、全学を挙げて本学の教育・研究機能の回復と被災地の復旧に努め、その経験と知見を生かして、東北の復興、日本の新生に向けて取り組んでいる。

東北大学学章・ロゴマーク・スクールカラー

東北大学では、公式ロゴマークを平成17年3月に制定した。「Creativity」「Global」「Tradition」をキーコンセプトに、仙台を象徴する植物、「萩」をモチーフとし、世界に大きく広がっていく動きがデザインされている。また、公式カラーは、「紫」と「黒」の二色を採用しており、「紫」は知性と創造力を、「黒」は勤勉と実践力を表現している。

平成19年6月には東北大学ロゴマークを学章とするとともに、「紫」をスクールカラーとした。



東北大学の使命

東北大学は、建学以来の伝統である「研究第一」と「門戸開放」の理念を掲げ、世界最高水準の研究・教育を創造する。また、研究の成果を社会が直面する諸問題の解決に役立て、指導的人材を育成することによって、平和で公正な人類社会の実現に貢献する。

大学の基本的な目標

東北大学は、開学以来の「研究第一主義」の伝統、「門戸開放」の理念及び「実学尊重」の精神を基に、数々の教育研究の成果を挙げてきた実績を踏まえ、これらの伝統、理念等を積極的に踏襲し、独創的な研究を基盤として高等教育を推進する総合大学として、以下の目標を掲げる。

1 教育目標・教育理念 — 「指導的人材の養成」

- ・学部教育では、豊かな教養と人間性を持ち、人間・社会や自然の事象に対して「科学する心」を持って知的探究を行うような行動力のある人材、国際的視野に立ち多様な分野で専門性を発揮して指導的・中核的役割を果たす人材を養成する。
- ・大学院教育では、世界水準の研究を理解し、これに創造的知見を加えて新たな展開を遂行できる創造力豊かな研究者及び高度な専門的知識を持つ高度専門職業人を養成する。

2 使命 — 「研究中心大学」

- ・東北大学の伝統である「研究第一主義」に基づき、真理の探究等を目指す基礎科学を推進するとともに、研究中心大学として人類と社会の発展に貢献するため、研究科と研究所等が一体となって、人間・社会、自然に関する広範な分野の研究を行う。それとともに、「実学尊重」の精神を活かした新たな知識・技術・価値の創造に努め、常に世界最高水準の研究成果を創出し、広く国内外に発信する。
- ・知の創造・継承及び普及の拠点として、人間への深い理解と社会への広い視野・倫理観を持ち、高度な専門性を兼ね備えた行動力ある指導的人材を養成する。

3 基本方針 — 「世界と地域に開かれた世界リーディング・ユニバーシティ」

- ・人類社会の様々な課題に挑戦し、人類社会の発展に貢献する「世界リーディング・ユニバーシティ」であることを目指す。
- ・世界と地域に開かれた大学として、自由と人権を尊重し、社会と文化の繁栄に貢献するため、「門戸開放」の理念に基づいて、国内外から、国籍、人種、性別、宗教等を問わず、豊かな資質を持つ学生と教育研究上の優れた能力や実績を持つ教員を迎え入れる。それとともに、産業界はもとより、広く社会と地域との連携研究、研究成果の社会への還元や有益な提言等の社会貢献を積極的に行う。
- ・市民への開放講座、インターネットによる教育を積極的に推進するとともに、市民が学術文化に触れつつ憩える環境に配慮したキャンパスづくりを行う。

学生歌・校友歌

半世紀以上に渡って親しまれてきた「青葉もゆるこのみちのく」を、平成19年の創立百周年を機に正式に学生歌として制定した。また、平成25年には「緑の丘」を同窓生、在校生、教職員、そして東北大学を支えるすべての関係者のための歌である校友歌とし、今後、この2曲を大切に歌い継いでいくこととした。

はじめに

東北大学は、1907年（明治40年）の建学以来、一世紀以上の歴史を有する総合大学として、「研究第一」、「門戸開放」、「実学尊重」の理念を掲げて優れた人材を輩出し、数多くの研究成果を世に送り出してきました。

現在、私達は東日本大震災での被災経験をはじめ、産業収益力の低下や少子高齢化、グローバル化に伴う国際競争の激化、地球規模の環境問題など、多くの課題に直面しています。このようなグローバルでかつ混沌とした状況の中、大学の知に、東北大学に何が求められているでしょうか。私は総長就任時に掲げた「ワールドクラスへの飛躍」と「復興・新生の先導」という2つの目標を東北大学の多彩な力を結集することにより確実に達成し、新しい東北大学の姿を切り拓いていきます。



ワールドクラスへの飛躍

『ワールドクラスへの飛躍』とは、学術基盤を豊かにし、教育研究レベルの一層の向上を図ることにより、グローバル社会を牽引する卓越した教育・研究を行う、世界から尊敬される大学になることを意味します。

教育面では、「グローバルリーダー育成プログラム」を通して、多数の学生諸君を世界に送り出し、新たな時代を担うリーダーとして活躍出来るように意識改革を促しています。また、海外の著名な大学と共同で国際的な視野を持つ学生を教育することを目的として一昨年、スピントロニクス研究分野からスタートした「国際共同大学院プログラム」は、今年は宇宙創成物理学とデータ科学の2分野が開講され、また一歩前進します。

一方、研究面では、国内外から優秀な若手研究者を招聘する「学際科学フロンティア研究所」や世界を牽引する第一級研究者が集う訪問滞在型研究センター「知のフォーラム」を開設し、本学の若手研究者にとって刺激に満ちた成長の機会を提供しています。

復興・新生の先導

本学は、東日本大震災の被災地の中心にある総合大学として、東北の復興はもとより社会の変革そのものを先導する大学でありたいと考えています。

一昨年3月に仙台で開催された国連防災世界会議は、震災直後に設置した全学組織「災害復興新生研究機構」のこれまでの取り組みを世界に向けて発信するとともに、大災害を経験した唯一とも言える総合大学の経験と知見を国際社会と共有し、国内外での防災・減災について貢献する重要な機会となりました。

政府・自治体・関係機関や企業等と連携しながらの8つのプロジェクト及びアクション100+も順調に進んでおり、成果は毎年3月の機構シンポジウム等様々な場面で還元されています。

青葉山新キャンパスの整備

東日本大震災から6年余が経過する中で、本学の建物や設備の復旧・整備が進み、教育・研究機能は震災前と同等のレベルまで回復しました。他方、青葉山新キャンパスでは、新しい研究所やセンターが順次整備され、本年4月に農学研究科が新キャンパスで教育・研究を開始したことで一段落となりました。ユニバーシティハウスや保育所などの福利厚生施設も間もなく整備される計画です。

また、一昨年開通した地下鉄東西線において、本学のキャンパスに関連して整備された4つの駅全てが仙台駅から10分圏内であることを考えると、複数のキャンパスを持つ大学としては我が国で一番コンパクトにまとまった大学と言えます。このことは、学生や教職員の利便性の向上だけでなく、一体感をもった大学運営に結びついていくものと期待しております。

これからの東北大学

2年前から始めている「社会にインパクトある研究」の議論は、今後の大学における研究がどのような理念のもとで実施されるべきかを考える良い機会を提供していると思います。多くの矛盾が露出し問題が山積しつつある現代社会において、大学は何が出来るのか、この時期に大学全体で議論することは大学の財産になると信じています。

今年は、里見ビジョンの仕上げの年となります。5年間の到達目標として設定した7つのビジョン、およびこれに基づく重点戦略、主要施策が具体化するよう、これまで実施してきた教育・研究・社会貢献・ガバナンス改革などを一層推進し、成果が見えるようにしなければいけません。また、本年6月には文部科学大臣から「指定国立大学法人」の認定を受けました。今後は、国際的な競争環境の中で国立大学改革の推進役としての役割も期待されていくこととなります。

これからも東北大学が果たすべき使命、取り組むべき活動を皆様にご理解いただきながら平和で公正な人類社会の発展に貢献していく所存です。

平成29年7月
東北大学総長 里見 進

歴代総長

歴代総長

代数	氏名	在任期間
初代	澤柳 政太郎	明治44(1911)年 3月24日～ 大正 2(1913)年 5月 8日
第2代	北條 時敬	大正 2(1913)年 5月 9日～ 大正 6(1917)年 8月24日
(事務取扱)	小川 正孝	大正 6(1917)年 8月25日～ 大正 6(1917)年10月14日
第3代	福原 鏡二郎	大正 6(1917)年10月15日～ 大正 8(1919)年 6月20日
第4代	小川 正孝	大正 8(1919)年 6月21日～ 昭和 3(1928)年 6月14日
第5代	井上 仁吉	昭和 3(1928)年 6月15日～ 昭和 6(1931)年 6月14日
第6代	本多 光太郎	昭和 6(1931)年 6月15日～ 昭和15(1940)年 5月30日
第7代	熊谷 岱蔵	昭和15(1940)年 5月31日～ 昭和21(1946)年 2月11日
第8代	佐武 安太郎	昭和21(1946)年 2月12日～ 昭和24(1949)年 3月31日
第9代	高橋 里美	昭和24(1949)年 4月 1日～ 昭和32(1957)年 6月30日
第10代	黒川 利雄	昭和32(1957)年 7月 1日～ 昭和38(1963)年 6月30日
第11代	石津 照璽	昭和38(1963)年 7月 1日～ 昭和40(1965)年10月 4日
(事務取扱)	元村 勲	昭和40(1965)年10月 5日～ 昭和40(1965)年11月19日

代数	氏名	在任期間
第12代	本川 弘一	昭和40(1965)年11月20日～ 昭和46(1971)年 2月 2日
(事務取扱)	水野 弥彦	昭和46(1971)年 2月 3日～ 昭和46(1971)年 4月30日
第13代	加藤 陸奥雄	昭和46(1971)年 5月 1日～ 昭和52(1977)年 4月30日
第14代	前田 四郎	昭和52(1977)年 5月 1日～ 昭和58(1983)年 4月30日
第15代	石田 名香雄	昭和58(1983)年 5月 1日～ 平成元(1989)年 4月30日
第16代	大谷 茂盛	平成元(1989)年 5月 1日～ 平成 2(1990)年 9月30日
(事務取扱)	吉永 馨	平成 2(1990)年10月 1日～ 平成 2(1990)年11月 5日
第17代	西澤 潤一	平成 2(1990)年11月 6日～ 平成 8(1996)年11月 5日
第18代	阿部 博之	平成 8(1996)年11月 6日～ 平成14(2002)年11月 5日
第19代	吉本 高志	平成14(2002)年11月 6日～ 平成18(2006)年11月 5日
第20代	井上 明久	平成18(2006)年11月 6日～ 平成24(2012)年 3月31日
第21代	里見 進	平成24(2012)年 4月 1日～



初代 澤柳政太郎



第2代 北條時敬



第3代 福原鏡二郎



第4代 小川正孝



第5代 井上仁吉



第6代 本多光太郎



第7代 熊谷岱蔵



第8代 佐武安太郎



第9代 高橋里美



第10代 黒川利雄



第11代 石津照璽



第12代 本川弘一



第13代 加藤陸奥雄



第14代 前田四郎



第15代 石田名香雄



第16代 大谷茂盛



第17代 西澤潤一



第18代 阿部博之



第19代 吉本高志



第20代 井上明久

沿革図

明治9(1876)年8月 札幌農学校
 明治40(1907)年 創立
 明治40(1907)年9月 農科大学
 明治40(1907)年6月 東北帝国大学
 大正7(1918)年4月 分離独立・北海道帝国大学
 大正8(1919)年4月 大学令
 昭和22(1947)年10月 東北大学
 昭和24(1949)年5月 新制大学

明治44(1911)年1月 理科大学
 大正8(1919)年4月 理学部
 明治20(1887)年8月 第二高等中学校医学部
 明治34(1901)年4月 仙台医学専門学校
 明治45(1912)年4月 医学専門部
 大正4(1915)年7月 医科大学
 大正7(1918)年4月 廃止
 大正8(1919)年4月 医学部
 昭和14(1939)年5月 臨時附属医学専門部
 昭和19(1944)年3月 附属医学専門部

明治39(1906)年4月 仙台高等工業学校
 明治45(1912)年4月 工学専門部
 大正8(1919)年5月 工学部
 大正10(1921)年4月 分離独立・仙台高等工業学校
 昭和19(1944)年4月 仙台工業専門学校



正門(昭和初期)



史料館(旧図書館・昭和初期)

昭和22(1947)年4月 農学部

大正11(1922)年8月 法文学部
 昭和24(1949)年4月 3学部に分立

明治20(1887)年4月 第二高等中学校
 明治27(1894)年6月 第二高等学校大学予科
 大正8(1919)年4月 第二高等学校
 昭和24(1949)年5月 教育学部
 昭和24(1949)年5月 昭和25(1950)年3月 包括 廃止
 昭和24(1949)年6月 分校第一教養部
 昭和24(1949)年6月 分校第二教養部
 昭和24(1949)年6月 分校第三教養部
 明治19(1886)年4月 宮城県尋常師範学校
 明治31(1898)年4月 宮城県師範学校
 大正2(1913)年4月 宮城県女子師範学校
 大正15(1926)年4月 宮城県女子専門学校
 昭和18(1943)年4月 宮城師範学校
 昭和24(1949)年5月 併合
 昭和24(1949)年5月 包括
 昭和24(1949)年6月 分校教育教養部
 昭和32(1957)年4月 北分校に改称
 昭和20(1945)年4月 宮城青年師範学校
 昭和24(1949)年6月 包括

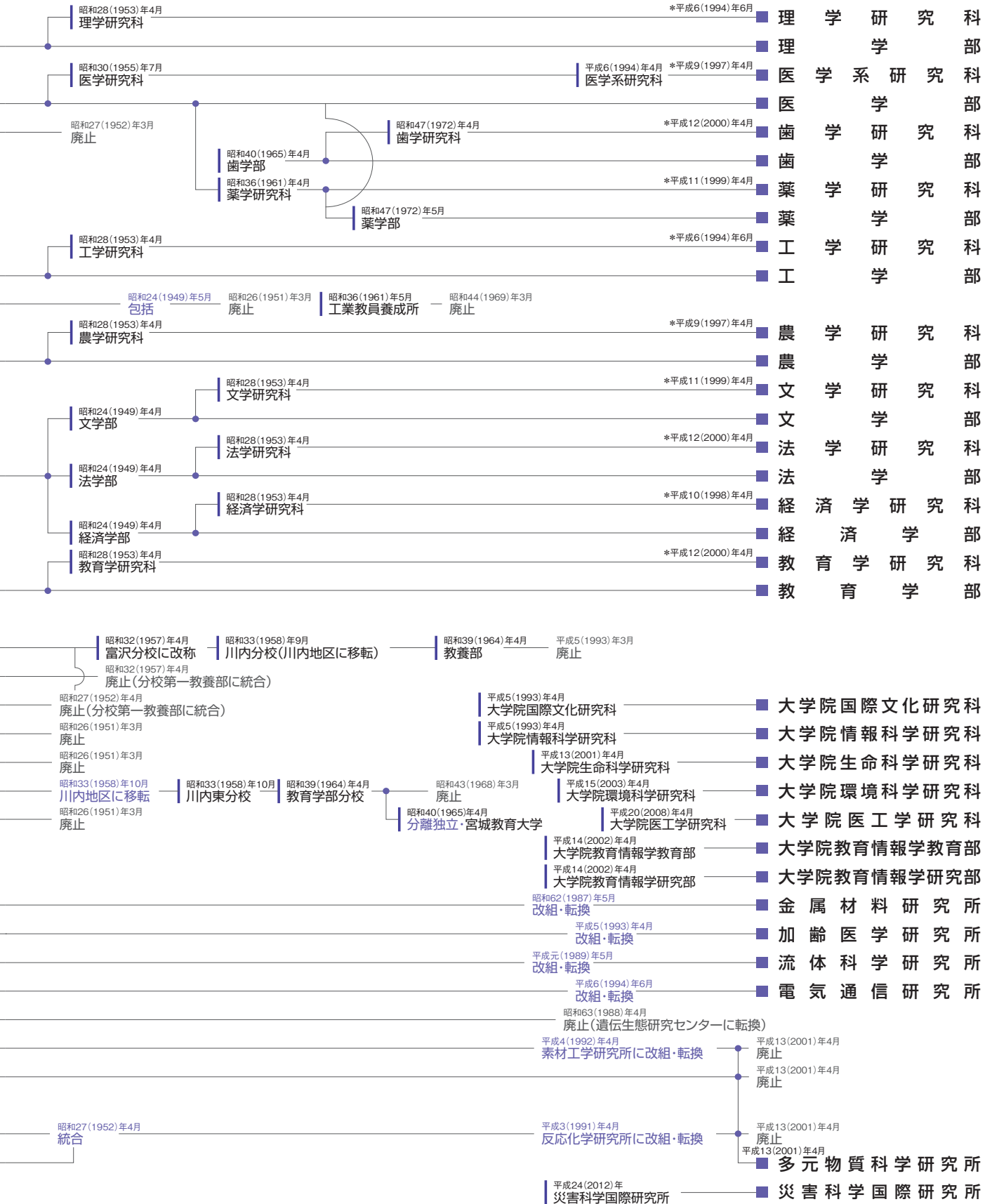


片平キャンパス 正門

大正8(1919)年5月 附属鉄鋼研究所
 大正11(1922)年8月 金属材料研究所
 昭和16(1941)年12月 抗酸菌病研究所
 昭和18(1943)年10月 高速力学研究所
 昭和10(1935)年9月 附属電気通信研究所
 昭和19(1944)年1月 電気通信研究所
 昭和14(1939)年8月 農学研究所
 昭和16(1941)年3月 選鉱製錬研究所
 昭和18(1943)年1月 科学計測研究所
 昭和18(1943)年10月 航空医学研究所
 昭和21(1946)年1月 廃止
 昭和19(1944)年1月 非水溶液化学研究所
 昭和20(1945)年1月 硝子研究所(ガラス研究所)

(平成29年5月現在)

昭和28(1953)年4月 新制大学院 昭和32(1957)年 創立50周年 昭和57(1982)年 創立75周年 昭和62(1987)年 創立80周年 平成16(2004)年4月 国立大学法人 平成19(2007)年 創立100周年 ■ 東 北 大 学



* 大学院重点化時期

ノーベル賞・文化勲章等 受賞者

(平成29年5月現在)

ノーベル賞受賞者

受賞年	氏名	部局(誉博…名誉博士)	受賞理由
1987年	ハンス・ハイリッヒ・ローラー	金属材料研究所(客)、誉博	走査型トンネル電子顕微鏡の開発
1999年	アハメッド・ズウェイル	ユニバーシティプロフェッサー、誉博	化学反応の超短時間解析技術の開発
2002年	田中耕一	工学部、誉博	生体高分子の同定および構造解析のための手法の開発
2007年	ピーター・グリュンベルグ	ユニバーシティプロフェッサー、金属材料研究所(客)、誉博	巨大磁気抵抗効果(GMR)の発見
2011年	ダニエル・シェヒトマン	ユニバーシティプロフェッサー	準結晶の発見

文化勲章受章者、文化功労者

文化勲章受章者 33名・文化功労者 52名

文化勲章受章	文化功労者	氏名	部局	主な業績
昭和12年	昭和26年	本多光太郎	金属材料研究所	鉄に関する金属物理学研究、特にKS鋼・新KS鋼の発明
昭和19年	昭和26年	岡部金治郎	工学部	分割陽極マグネトロン等の極超短波に関する研究
昭和21年		宮部金吾	農科大学	植物病理学の基礎構築と北方における植物の新種発見
昭和24年	昭和26年	真島利行	理学部	漆等の天然物有機化学の研究
昭和24年	昭和26年	岡田武松	理学部(併)	気象学の先駆的研究と気象予報体制の整備
昭和25年	昭和26年	田辺元	理学部	絶対弁証法による田辺哲学体系を確立
昭和25年	昭和26年	土井晩翠	法文学部	雄渾な漢文調に思想を含めた詩風を確立
昭和27年	昭和27年	熊谷岱蔵	医学部	膵ホルモンのインシュリン発見と結核医学の研究
昭和28年	昭和27年	矢部長克	理学部	糸魚川・静岡地質構造線提唱等の地質学・古生物学研究
昭和28年	昭和27年	宇井伯寿	法文学部	近代的インド哲学研究の基礎を構築
昭和29年	昭和29年	萩原雄祐	理学部	天体力学の研究および天文台の整備充実
昭和30年	昭和30年	増本量	金属材料研究所	不銹不変鋼をはじめとする特殊合金に関する研究
昭和31年	昭和31年	村上武次郎	金属材料研究所	特殊鋼の物理冶金学的研究、村上試薬の発明
昭和31年	昭和31年	八木秀次	工学部	八木アンテナ発明等の電気工学研究
昭和32年	昭和28年	山田孝雄	法文学部	日本語文法の理論的体系化
昭和33年	昭和33年	野副鉄男	理学部	ヒノキチオールおよび関連有機化合物の研究
昭和34年	昭和34年	吉田富三	医学部	がんの発生・成長過程の研究、吉田肉腫瘍の発見
昭和39年	昭和39年	茅誠司	金属材料研究所	強磁性結晶体の磁気研究および戦後学術研究体制刷新の推進
昭和40年	昭和40年	赤堀二郎	理学部	アミノ酸等に関する生物有機化学研究
昭和43年	昭和43年	黒川利雄	医学部	がんの研究とがん集団検診の創始者
昭和46年	昭和46年	安井琢磨	経済学部	我が国の近代経済学の発展に貢献
昭和48年	昭和37年	石原謙	法文学部	キリスト教史の研究
昭和50年	昭和50年	広中平祐	理学部(併)	代数幾何学の研究、特に代数多様体の特異点解消
昭和59年	昭和54年	高橋信次	医学部	X線CTの基礎となる回転断層撮影法の開発等の放射線医学研究
昭和62年	昭和54年	桑原武夫	法文学部	人文科学百般にわたりスケール大きく行動した学者・文化人
平成元年	昭和58年	西澤潤一	電気通信研究所	トランジスタ、半導体、ダイオードおよび光通信三大要素に関する研究
平成14年	平成14年	田中耕一	工学部、誉博	生体高分子の同定および構造解析のための手法の開発
平成19年	平成11年	中西香爾	理学部	機能性天然物有機化合物の構造および生体内機能発現に関する研究
平成20年	平成14年	ドナルド・キーン	文学部(客)、誉博	日本文学・文化の研究および海外への紹介・解説
平成21年	昭和61年	日沼頼夫	歯学部	成人T細胞白血病のウィルス病因に関する研究
平成21年	平成15年	飯島澄男	科学計測研究所	高分解能電子顕微鏡の開発とカーボンナノチューブの発見
平成24年	平成19年	小田滋	法学部	国際法学の研究、国際司法裁判所裁判官として国際貢献に尽力
平成25年	昭和62年	岩崎俊一	電気通信研究所	高密度磁気記録等の電子工学研究
—	昭和29年	松村松年	農科大学	昆虫学全般に関する研究
—	昭和33年	高橋里美	法文学部	哲学、特に包弁証法等を通して独自の思想体系を展開
—	昭和34年	伊藤誠哉	農科大学	我が国の作物病害と菌類に関する植物病理学研究
—	昭和35年	武内義雄	法文学部	中国哲学、特に老子に関する研究
—	昭和38年	原龍三郎	非水溶液化学研究所	液体アンモニア・青化物および非水溶液化学の応用に関する応用化学研究
—	昭和40年	真島正市	理科大学	計測工学、特に高速衝撃破壊に関する研究
—	昭和45年	渡辺寧	工学部	二重帰還増幅器・仙台放電管等の電磁機器発明・電子工学の先駆的研究
—	昭和51年	坂村徹	農科大学	小麦の染色体に関する植物細胞学やカビ類の植物生理学に関する研究
—	昭和51年	沼知福三郎	高速力学研究所	機械工学、特に翼型のキャビテーション性能に関する研究
—	昭和53年	武井武	理学部	酸化金属磁性材料に関する研究、特にOP磁石の発明
—	昭和60年	金倉圓照	文学部	インド哲学、特にインド中世精神史
—	平成4年	今井勇之進	金属材料研究所	鉄鋼の熱処理加工に関する金属学研究
—	平成4年	島田謹二	法文学部	日本における外国文学の比較文学研究
—	平成12年	横堀武夫	工学部	金属材料の強度に関する研究
—	平成12年	増本健	金属材料研究所	アルムファス金属に関する基礎的および応用的研究
—	平成15年	岩田靖夫	文学部	哲学、ギリシア倫理思想、特にプラトン、ソクラテス研究
—	平成18年	伊藤英覚	高速力学研究所	曲がり管・回転管の流動における管摩擦抵抗法則の確立
—	平成19年	櫻井英樹	理学部	有機ケイ素化学を学問体系として確立
—	平成23年	遠藤章	農学部	高コレステロール血症の治療薬スタチンを開発
—	平成25年	舩岡富士雄	電気通信研究所	フラッシュメモリの発明

日本学士院会員

選定年月日	氏名	部局
大正 11年 12月 26日	本多 光太郎	金属材料研究所
大正 14年 6月 27日	藤原 松三郎	理学部
大正 14年 6月 27日	矢部長 克	理学部
大正 15年 5月 5日	真島 利行	理学部
昭和 7年 3月 2日	神津 俣祐	理学部
昭和 9年 7月 31日	掛谷 宗一	理学部
昭和 12年 3月 23日	加藤 武夫	理学部
昭和 12年 5月 8日	大類 伸	法文学部
昭和 12年 12月 1日	片山 正夫	理学部
昭和 14年 5月 27日	柴田 桂太	農科大学
昭和 17年 5月 30日	武内 義雄	法文学部
昭和 18年 12月 11日	熊谷 岱蔵	医学部
昭和 19年 7月 10日	萩原 雄祐	理学部
昭和 20年 12月 12日	宇井 伯寿	法文学部
昭和 21年 2月 8日	布施 現之助	医学部
昭和 22年 2月 5日	田辺 元	理学部
昭和 22年 6月 25日	阿部 次郎	法文学部
昭和 22年 6月 25日	窪田 忠彦	理学部
昭和 22年 7月 19日	河村 又介	法文学部
昭和 22年 10月 1日	雨宮 育作	農学研究所
昭和 24年 10月 5日	土居 光知	法文学部
昭和 25年 10月 6日	伊藤 誠哉	農科大学
昭和 25年 10月 6日	小町谷 操三	法学部
昭和 25年 10月 6日	佐武 安太郎	医学部
昭和 25年 10月 6日	高橋 里美	法文学部
昭和 25年 10月 6日	真島 正市	理科大学
昭和 25年 10月 6日	松村 松年	農科大学
昭和 25年 10月 6日	村上 武次郎	金属材料研究所
昭和 26年 10月 17日	小宮 豊隆	法文学部
昭和 26年 10月 17日	八木 秀次	工学部
昭和 28年 10月 22日	青木 正児	法文学部
昭和 28年 10月 22日	石原 謙	法文学部
昭和 28年 10月 22日	長谷部 言人	医学部
昭和 32年 3月 12日	田中 義麿	農科大学
昭和 32年 3月 12日	原 龍三郎	非水溶液化学研究所
昭和 33年 3月 12日	鮫島 実三郎	理学部
昭和 35年 4月 12日	加藤 豊治郎	医学部
昭和 35年 4月 12日	勝本 正晃	法学部
昭和 35年 4月 12日	増本 量	金属材料研究所
昭和 36年 12月 12日	茅 誠司	金属材料研究所
昭和 38年 2月 12日	金倉 圓照	文学部
昭和 39年 2月 12日	赤堀 四郎	理学部
昭和 39年 2月 12日	坂村 徹	農科大学
昭和 39年 2月 12日	田岡 良一	法文学部
昭和 39年 2月 12日	中川 善之助	法学部

選定年月日	氏名	部局
昭和 40年 1月 12日	岡崎 義恵	文学部
昭和 40年 1月 12日	黒川 利雄	医学部
昭和 40年 1月 12日	吉田 富三	医学部
昭和 40年 11月 12日	沼知 福三郎	高速力学研究所
昭和 41年 11月 12日	小川 鼎三	医学部
昭和 41年 11月 12日	堀 経夫	法文学部
昭和 42年 11月 13日	木村 亀二	法学部
昭和 42年 11月 13日	清宮 四郎	法学部
昭和 43年 11月 12日	三宅 剛一	文学部
昭和 43年 11月 12日	本川 弘一	医学部
昭和 45年 11月 12日	半沢 洵	農科大学
昭和 49年 12月 12日	小竹 無二雄	理学部
昭和 49年 12月 12日	山本 義一	理学部
昭和 51年 11月 12日	広中 平祐	理学部(併)
昭和 51年 11月 12日	新明 正道	文学部
昭和 51年 11月 12日	杉 捷夫	法文学部
昭和 51年 11月 12日	高柳 真三	法学部
昭和 52年 11月 12日	岡本 耕造	医学部
昭和 52年 11月 12日	永井 健三	工学部
昭和 52年 11月 12日	野副 鐵男	理学部
昭和 52年 11月 12日	柳瀬 良幹	法学部
昭和 54年 11月 12日	今井 勇之進	金属材料研究所
昭和 54年 11月 12日	鳥山 四男	工学部
昭和 56年 12月 12日	高橋 信次	医学部
昭和 58年 12月 12日	矢島 羊吉	文学部
昭和 60年 11月 12日	加藤 愛雄	理学部
昭和 61年 12月 12日	熊谷 尚夫	経済学部
平成 元年 12月 12日	小川 環樹	法文学部
平成 4年 12月 14日	辻 廣	工学部(併)
平成 6年 12月 12日	伊藤 英覺	高速力学研究所
平成 6年 12月 12日	小田 滋	法学部
平成 7年 12月 12日	西澤 潤一	電気通信研究所
平成 8年 12月 12日	横堀 武夫	工学部
平成 9年 12月 12日	樋渡 宏一	理学部
平成 10年 12月 14日	鈴木 禄彌	法学部
平成 12年 12月 12日	樋口 陽一	法学部
平成 13年 12月 12日	源 了圓	文学部
平成 14年 12月 12日	金谷 治	文学部
平成 15年 12月 12日	岩崎 俊一	電気通信研究所
平成 18年 12月 12日	田中 耕一	工学部、誉博
平成 18年 12月 12日	井上 明久	金属材料研究所
平成 22年 12月 13日	小山 貞夫	法学部
平成 22年 12月 13日	飯島 澄男	科学計測研究所
平成 25年 12月 12日	藤田 宙靖	法学研究科

日本学士院賞受賞者

学士院賞受賞	氏名	部局	受賞理由
第4回 大正3年	日下部 四郎太	理科大学	岩石の力学的研究
第6回 大正5年	本多 光太郎	理科大学	鉄に関する研究
第7回 大正6年	真島 利行	理科大学	漆の主成分に関する研究
○第8回 大正7年	柴田 桂太	農科大学	植物界に於けるフラボン体の研究
○第9回 大正8年	石原 純	理学部	相対性原理、万有引力論及び量子論の研究
第9回 大正8年	市川 厚一	農科大学	癌腫の人工的発生研究(共同研究)
○第11回 大正10年	布施 現之助	医学部	脳の解剖的研究
第11回 大正10年	松本 彦七郎	理学部	蛇尾綱(クモヒトデ)の研究
第15回 大正14年	畑井 新喜司	理学部	白鼠に関する研究
△第15回 大正14年	曾禰 武	金属材料研究所	気体の磁気係数の測定
△第17回 昭和2年	村上 武次郎	金属材料研究所	特殊鋼の物理冶金学的研究
○第18回 昭和3年	掛谷 宗一	理学部	連立積分方程式及び之に関連せる函数論的研究
第21回 昭和6年	宇井 伯寿	法文学部	印度哲学研究(全六巻)
第21回 昭和6年	増本 量	金属材料研究所	強磁性元素及び其の合金の物理冶金学的研究
△第22回 昭和7年	宇田 新太郎	工学部	超短波長電波の研究
△第23回 昭和8年	野村 博	理学部	生薑の辛味成分の研究
第24回 昭和9年	田所 芳秋	理学部	耐火物に関する研究
第25回 昭和10年	海野 三朗	理学部	鉄炭素系合金の比熱及び其の諸相の変化に伴う熱量に関する研究
○第26回 昭和11年	吉田 富三	医学部	o-Amidoazotoluol の経口的投与による肝臓癌生成の実験的共同研究
△第26回 昭和11年	星野 敏雄	理学部	インドールの誘導体の合成的研究
第30回 昭和15年	菊田 多利男	臨時理化学研究所	鑄鉄の研究
○第31回 昭和16年	岡部 金治郎	工学部	磁電管に関する研究
第31回 昭和16年	尾形 輝太郎	理学部	感光色素合成に関する研究
第32回 昭和17年	茅 誠司	金属材料研究所	強磁性結晶体の磁気的研究
第33回 昭和18年	木原 玉汝	医学部	樟脳の強心作用の本態に関する研究(共同研究)
第34回 昭和19年	小竹 無二雄	理学部	毒物の化学的研究
第34回 昭和19年	寺尾 博	農学研究所	水稻冷害の生理学的研究
○第36回 昭和21年	増本 量	金属材料研究所	異常特性を有する鉄合金の研究
第37回 昭和22年	真島 正市	理科大学	高速衝撃破壊とこれに関連せる二三の現象
第40回 昭和25年	沼知 福三郎	工学部	翼型のキャビテーション性能に関する研究
第41回 昭和26年	小川 鼎三	医学部	錐体外路系に関する研究(共同研究)
第42回 昭和27年	鮫島 實三郎	理学部	膠質学に関する研究
第43回 昭和28年	金倉 圓照	文学部	印度中世精神史
第43回 昭和28年	野副 鐵男	理学部	ヒノキチオール及びその関連化合物に関する研究
第43回 昭和28年	成瀬 政男	工学部	歯車に関する研究(共同研究)
○第43回 昭和28年	吉田 富三	医学部	吉田肉腫の病理学的研究
第44回 昭和29年	本川 弘一	医学部	脳電図の研究
第45回 昭和30年	金倉 圓照	文学部	西藏撰述仏典目録(共同研究)
第45回 昭和30年	山田 龍城	文学部	西藏撰述仏典目録(共同研究)
第45回 昭和30年	羽田野 伯猷	文学部	西藏撰述仏典目録(共同研究)
第45回 昭和30年	多田 等観	文学部	西藏撰述仏典目録(共同研究)
第45回 昭和30年	赤堀 四郎	理学部	蛋白質を構成するアミノ酸の結合状態に関する研究
第46回 昭和31年	堀 一郎	文学部	我が国民間信仰史の研究
第47回 昭和32年	折茂 豊	法学部	国際私法の統一性
○第47回 昭和32年	中村 元	文学部	初期のヴェーダーンタ哲学
第49回 昭和34年	高田 修	文学部	居庸関(共同研究)
○第50回 昭和35年	高田 修	文学部	醍醐寺五重塔の壁画(共同研究)
○第50回 昭和35年	宮 次男	文学部	醍醐寺五重塔の壁画(共同研究)
第50回 昭和35年	神田 英蔵	理学部	低温度における凝縮気体の性質及び極低温における磁性の研究
第51回 昭和36年	佐藤 知雄	工学部	鉄鋼中の炭化物に関する研究
第51回 昭和36年	磯 永吉	農科大学	亜熱帯における稲の育種に関する研究
第53回 昭和38年	関口 春次郎	金属材料研究所	鋼の溶接棒ならびに炭酸ガス酸素アーク溶接法に関する研究
第57回 昭和42年	今井 勇之進	金属材料研究所	鉄鋼の熱処理加工に関する基礎研究
第58回 昭和43年	加藤 愛雄	理学部	地磁気の変化磁場の測定とその微細変動の原因に関する研究
第58回 昭和43年	神立 誠	農学研究所	反芻胃内消化に対する纖毛虫類の機能に関する生化学的研究
第59回 昭和44年	宮田 光雄	法学部	西ドイツの精神構造

日本学士院賞受賞者

学士院賞受賞	氏名	部局	受賞理由
第59回 昭和44年	水島 宇三郎	農学部	ジュウジバナ科アブラナ類の核遺伝学的研究
第60回 昭和45年	山本 義一	理学部	大気放射の研究
第60回 昭和45年	広中 平祐	理学部(併)	代数的多様体の研究
第61回 昭和46年	横堀 武夫	工学部	金属材料の強度に関する研究(共同研究)
第62回 昭和47年	岡本 耕造	医学部	糖尿病と高血圧症の基礎的研究
第63回 昭和48年	西山 善次	金属材料研究所	合金のマルテンサイト変態に関する研究
第64回 昭和49年	西澤 潤一	電気通信研究所	半導体及びトランジスタに関する研究
第65回 昭和50年	北住 敏夫	文学部	写生説の研究、写生派歌人の研究、写生俳句及び写生文の研究
第65回 昭和50年	樋口 陽一	法学部	近代立憲主義と現代国家
第65回 昭和50年	伊藤 英覺	高速力学研究所	管内流れ特に曲がり管内の流れに関する流体力学的研究
第65回 昭和50年	久保田 尚志	理学部	植物の苦味物質に関する研究
※第67回 昭和52年	高橋 信次	医学部	X線による生体病理解剖の研究
第67回 昭和52年	島田 謹二	法文学部	日本における外国文学—比較文学研究—
第67回 昭和52年	赤祖父 俊一	理学部	磁気圏擾乱の研究
第69回 昭和54年	佐藤 武敏	法文学部	中国古代絹織物史研究
第70回 昭和55年	亀谷 哲治	薬学部	「レトロマススペクトル法」による天然物の全合成
第71回 昭和56年	木下 彰	経済学部	名子遺制の構造とその崩壊—農村における封建的労働の構造分析—
※第72回 昭和57年	角谷 静夫	理学部	函数解析の研究
第73回 昭和58年	増本 健	金属材料研究所	アモルファス金属テープの創製とその基礎的および応用的研究
第77回 昭和62年	石田 名香雄	医学部	センダイウィルスの発見及びその構造と機能に関する研究
第77回 昭和62年	岩崎 俊一	電気通信研究所	高密度磁気記録の研究
第77回 昭和62年	坪井 善勝	工学部	曲面構造の研究と大空間建築構造への適用
◎第78回 昭和63年	沼田 眞	農学研究所(併)	植物群落の構造と動態に関する研究とその応用
※第79回 平成元年	日沼 頼夫	歯学部	成人T細胞白血病のウイルス病因に関する研究
※第80回 平成2年	中西 香爾	理学部	機能性天然有機化合物の構造および生体内機能発現に関する研究
第80回 平成2年	辻 廣	工学部(併)	火災の構造および基礎的特性的研究
第82回 平成4年	鈴木 秀次	金属材料研究所	固体ヘリウムの塑性変形及び機械的性質の転位論的研究
第83回 平成5年	山本 肇	歯学部	レーザー照射による齲蝕予防その他歯科応用に関する研究
第83回 平成5年	多田 啓也	医学部	高グリシン血症に関する研究(共同研究)
第83回 平成5年	菊地 吾郎	医学部	高グリシン血症に関する研究(共同研究)
※第84回 平成6年	櫻井 英樹	理学部	有機ケイ素化学に関する研究(共同研究)
第84回 平成6年	丸山 雍成	文学部	日本近世交通史の研究
第88回 平成10年	杉原 高嶺	法学部	国際司法裁判制度
※第92回 平成14年	飯島 澄男	科学計測研究所	高分解能電子顕微鏡の開発とカーボンナノチューブの発見
◎第92回 平成14年	栗原 康	理学部	生態系解析手法の研究とその環境保全への応用
第92回 平成14年	井上 明久	金属材料研究所	過冷却金属液体の安定化とバルク金属ガラスの開拓
第92回 平成14年	日向 康吉	農学部	アブラナ科植物の自家不和合性にかかわる自己識別機構の研究(共同研究)
第93回 平成15年	岡本 宏	医学系研究科	実験糖尿病の発症とその防止に関する研究
第93回 平成15年	遠藤 實	医学部	筋細胞におけるカルシウム・イオン動員機構に関する研究
※第94回 平成16年	安元 健	農学部	海洋生物毒の化学とそれらの毒物の海洋生態系における動態解析
第95回 平成17年	大野 英男	電気通信研究所	半導体ナノ構造による電子の量子制御と強磁性の研究(共同研究)
第96回 平成18年	鈴木 厚人	理学研究科	反ニュートリノ科学の研究
第97回 平成19年	加藤 康司	工学研究科	トライボロジーに関する研究(共同研究)
第97回 平成19年	平 朝彦	理学部	プレート沈み込み帯の付加作用による日本列島形成過程の研究
※第99回 平成21年	村上 哲見	文学部	宋詞に関する研究
第99回 平成21年	川人 貞史	法学研究科	「選挙制度と政党システム」および「日本の国会制度と政党政治」
第100回 平成22年	大類 洋	生命科学研究科	新規生物機能性分子の創製とその応用に関する研究(共同研究)
◎第100回 平成22年	西平 守孝	生命科学研究科	沖縄を中心とした我が国のサンゴ礁の形成と保全の研究
第103回 平成25年	中沢 正隆	電気通信研究所	エルビウム光ファイバ増幅器の実現とそれを用いた光通信の高度化に関する貢献
第103回 平成25年	佐藤 英明	農学研究科	哺乳動物における卵子形成の制御機構に関する研究
第104回 平成26年	山本 雅之	医学系研究科	生体の環境ストレス応答の分子機構の解明
第104回 平成26年	首藤 伸夫	工学部	津波防災の総合的研究
第105回 平成27年	鈴木 雅洲	医学部	ヒト体外受精・胚移植の確立と普及に関する研究
※第107回 平成29年	長谷川 昭	理学研究科	沈み込み帯のテクトニクスに関する地震学的研究
第107回 平成29年	横堀 壽光	工学研究科	メソスケール力学に基づく材料の疲労および時間依存型強度学の基礎理論とその実用に関する研究

○は恩賜賞のみ受賞

※は恩賜賞及び学士院賞両方を受賞

◎日本学士院賞エジソン公賞のみ受賞者

△日本学士院大阪毎日新聞東京日日新聞寄附東宮御成婚記念賞のみ受賞者

学内表彰

総長特別賞受賞者

学術文化の発展に特に顕著な成果を挙げ、かつ、本学の教育研究の発展に多大な功績があった本学在職教職員を表彰するものです。

授賞年月日	氏名	職名等	授賞理由
平成29年 3月24日	遠藤 哲郎	国際集積エレクトロニクス研究開発センター長 工学研究科 教授	平成28年8月26日に「高性能不揮発性メモリとその評価・製造装置の開発、及び国際産学連携集積エレクトロニクス研究開発拠点の構築」を対象として、産学官連携活動において、優れた成功事例を納めた研究者等に対して贈られる産学官連携功労者表彰の中で、最高権威である「内閣総理大臣賞」を受賞した。
平成26年 3月26日	山本 雅之	医学系研究科 教授 東北メディカル・メガバンク機構長	平成26年3月12日に「生体の環境ストレス応答の分子機構の解明」を受賞題目として、「平成26年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成25年 3月27日	佐藤 英明	農学 研究科 教授	平成25年3月12日に「哺乳動物における卵子形成の制御機構に関する研究」を受賞題目として、「平成25年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成25年 3月27日	中沢 正隆	電気通信研究所 所長・教授	平成25年3月12日に「エルビウム光ファイバ増幅器の実現とそれを用いた光通信の高度化に関する貢献」を受賞題目として、「平成25年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成21年 9月25日	中沢 正隆	電気通信研究所 教授	平成21年6月20日に「エルビウム光ファイバ増幅器(EDFA)の開発とその高度化」を対象として、産学官連携活動において、優れた成功事例をおさめた研究者等に対して贈られる産学官連携功労者表彰の中で、最高権威である「内閣総理大臣賞」を受賞したため。
平成21年 3月25日	川人 貞史	法学 研究科 教授	平成21年3月12日に「選挙制度と政党システム」および「日本の国会制度と政党政治」を受賞題目として、「平成21年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成19年 3月27日	加藤 康司	工学 研究科 教授	平成19年3月12日に「摩擦や磨耗、潤滑を包括するトライボロジーの研究」を受賞題目として、「平成19年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成18年 9月25日	井上 明久	金属材料研究所 所長・教授	平成18年6月11日に「革新的金属材料「金属ガラス」を用いた産業用小型・高性能デバイス」の開発を対象として、「内閣総理大臣賞」を受賞したため。
平成18年 7月31日	小柳 光正	工学 研究科 教授	平成18年6月24日に「材料とデバイス科学技術又は応用への多大な貢献」を対象として、「Jun-ichi Nishizawa Medal」を日本人として初めて受賞したため。
平成18年 3月24日	鈴木 厚人	副学長・理学研究科 教授	平成18年3月13日に「反ニュートリノ科学の研究」を受賞題目として、「平成18年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成17年11月26日	小谷 元子	理学 研究科 教授	平成17年5月28日に「離散幾何解析学による結晶格子の研究」を対象として、自然科学の分野で優れた業績を取った女性科学者に贈られる「第25回強橋賞」を受賞したため。
平成17年 6月29日	大野 英男	電気通信研究所 教授	平成17年6月13日に「半導体ナノ構造による電子の量子制御と強磁性の研究」を対象として、「平成17年日本学士院賞」を受賞したため。

総長教育賞受賞者

授業やその支援と、課外活動、国際交流等における指導、教育方法及びその支援等について優れた教育上の成果を挙げた教職員を表彰するものです。

平成28年度

氏名・団体名	職名等	授賞理由
スプリング・ライオン	高度教養教育・学生支援機構 講師	プロジェクト型外国語学習という先進的な外国語教授法に基づき、日本人学生と留学生が共修環境でのグループワークを通じ学生の自主性を育成しながら、speaking, reading, writing, listeningの英語スキルを伸ばす授業を実施し、多くの学生の英語能力を向上させるとともに学生からも高い評価を得ている。 また、ノースカロライナ大学シャーロット校と協力し、新たな教育プログラム「スカイブ・パートナー・プログラム」を開発するなど、本学の英語教育の発展に大きく寄与している。
石井 誠一	医学系研究科 准教授	医学科において、教育のニーズアセスメント、学習目標策定、カリキュラム開発、授業評価と学生の到達度評価、フィードバックシステム開発、並びにFD等を広く主導し、教育におけるPDCAサイクルを長きにわたり推進してきた。 また、文部科学省大学改革推進事業「世界で競い合うMD研究者育成プログラム」を起案し、採択後は事業運営を統轄するなど、教員と学生が相互に協調して教育環境を改善する機運を醸成した。
長坂 徹也 ウェベック・エリザベス	工学研究科 教授 工学研究科 特任准教授	工学部1年次学生を対象とした創造工学研修において、北京科技大学と海外共同研修を企画立案し、英語プレゼンテーション能力、海外機関の訪問、海外からの訪問者受入、諸アレンジメント等を経験・学修できる学術的国際交流導入教育プログラムを10年以上にわたって指導し、グローバル意識の高い学生を多数輩出してきた。本研修に参加した本学学生は延べ226名、北京科技大学生は延べ198名に上っており、国際交流の導入教育として学生のグローバルセンスの向上に優れた成果を挙げている。
農学研究科	東北復興農学センター	東北農業の復興を先導し、日本農業の新生をけん引する人材育成を目指すべく、本学内外の学部学生及び大学院生並びに社会人を対象とし、ディスカッションを重視した講義、被災地見学と役員職員や住民等との意見交換、農業復興に関連したフィールド実習等を実施し、3年間で238名を「マイスター」として資格認定した。これにより、マイスター自らが東北地域の復興・地方創成に向けて活動を開始する等、社会人や農産復興の観点においても高い効果を上げている。

総長賞受賞者 平成28年度

本学の教育目標にかなない、かつ、学業成績が特に優秀な学生を表彰するものです。

学士

齋藤 万里名	文学部	小嶋 あさか	医学部
貴嶋 未弥	文学部	工藤 葉子	歯学部
尾形 秀	教育学部	若原 裕子	薬学部
市川 逸孝	法学部	佐藤 芳樹	工学部
平川 英太	法学部	中村 光暹	工学部
岡崎 智洋	経済学部	清野 舜	工学部
上田 新	経済学部	平松 諒也	工学部
佐藤 悠平	経済学部	伊藤 康太	工学部
吉澤 研介	理学部	及川 大樹	工学部
伊東 直洋	理学部	川森 弘晶	工学部
鈴木 和磨	理学部	菊池 佳奈	工学部
坂本 量哉	医学部	半谷 明寛	農学部
武田 健一郎	医学部	國井 宏太	農学部

修士

陳 偉熙	工学研究科
岩 間 崇之	工学研究科
山岸 稜	工学研究科
後藤 天志郎	工学研究科
伊東 桂司	情報科学研究科
武田 航	医工学研究科
今田 貴也	法学研究科
博士	
毛塚 和宏	文学研究科
神林 寿幸	教育学研究科
田村 翔平	経済学研究科
世永 公輝	理学研究科
齋藤 雅典	理学研究科

高 梨 司	理学研究科
今野 明 咲香	理学研究科
加藤 浩 貴	医学系研究科
松永 雄太	医学系研究科
松山 祐輔	歯学研究科
篠田 康晴	薬学研究科
察 引 娣	工学研究科
菊地 亮太	工学研究科
田中 秀明	工学研究科
土屋 成輝	農学研究科
Ngo Duc Thuan	情報科学研究科
Paulina Sandra Mrozowska	生命科学研究科
菅野 佑介	環境科学研究科
一ノ瀬 智子	教育情報学教育部

総長優秀学生賞受賞者 平成28年度

日本学術振興会育志賞受賞者を表彰するものです。

小川由希子	工学研究科
-------	-------

総長研究支援技術賞受賞者

優れた研究支援を行い研究成果の創出に顕著な貢献があった技術職員を表彰するものです。

平成28年度

氏名・団体名	職名等	授賞題目	授賞理由
理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター 観測技術部		東北地方太平洋沖地震後の地殻活動に関する観測研究に対する支援	2011年東北地方太平洋沖地震発生後、困難な状況の中、観測点の迅速な復旧や臨時観測を行い、観測機器やプログラムの開発を行った。これらは本震発生後の地震・地殻変動・火山活動を的確に把握するうえで重要であり、この地震の発生に至る過程や周囲にもたらした影響を解明し減災に役立つ多くの研究成果に貢献した。
川村 一善	薬学研究科 再雇用職員	有機マススペクトロメトリーによる分子薬科学研究支援	特殊な測定技術・経験を必要とする質量分析装置の専任担当者として、依頼サンプルの測定、機器の管理・メンテナンスを行うとともに、新規有機化合物の分子構造決定に資する分析結果の提供を通して、薬学部・薬学研究科における過去42年間に発表されたほぼ全ての有機化学論文・学会発表に顕著な貢献を果たした。

学生会長賞受賞者 平成28年度

入部から卒部までの間の成績が優秀である当該年度卒業生を表彰するものです。

佐々木 颯清	映画部	本間 実季	オリエンテーリング部	佐々木 春菜	競技舞踏部
鈴木 雄大	奏楽部	阿部 啓一郎	競技舞踏部	鈴木 源汰	相撲部
善永 徹	体操部				

東北大学藤野先生記念奨励賞受賞者

東北大学に在籍する中国からの優秀な大学院留学生であって、今後飛躍的な活躍が期待される留学生を表彰するものです。

授賞年度	氏名	部局	授賞年度	氏名	部局	授賞年度	氏名	部局	
平成28年	せい 盛 福 剛	経済学研究科	平成26年	ち 連 皎 潔	文学研究科	平成24年	ほ 浦 正 寧	経済学研究科	
	り 李 静	理学研究科		う 干 磊	医学系研究科		けい 桂 沛 君	医学系研究科	
	りく 陸 雪 琴	工学研究科		りゅう 劉 恢 弘	工学研究科		ちん 陳 凱 幼	工学研究科	
	り 李 関 喬	環境科学研究科		りゅう 劉 家 佳	生命科学研究科		りゅう 劉 家 佳	情報科学研究科	
平成27年	う 于 凱 鴻	医工学研究科	うー 呉 曉 勇	環境科学研究科	か 果 崇 申	環境科学研究科	平成23年	しゅ 朱 華 宇	理学研究科
	り 李 月 珊	文学研究科	ほん 彭 寧 寧	理学研究科	は 浩 白 勤	医学系研究科			
	しゅえ 薛 嬌	理学研究科	そん 孫 詩 嵐	医学系研究科	ちやう 趙 曉 麗	工学研究科			
	くお 郭 威	工学研究科	しゅ 許 斌	工学研究科	うん 溫 磊	生命科学研究科			
	ほう 王 飛 騰	情報科学研究科							
	ふん 樊 滄 涌	環境科学研究科							

澤柳記念賞(澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画賞)受賞者

「澤柳記念賞」は、男女共同参画社会をめざす活発な取り組みの一助となるよう、アカデミアにおける男女共同参画の先駆として各分野で活躍し、多大な貢献をなした方々を選考し顕彰する制度です。

氏名・団体名	職名等	受賞部門	受賞課題名
平成28年 名古屋大学男女共同参画室	本賞	賞	大学における男女共同参画推進事業のモデル化による国際的拠点化
平成27年 大坪 久子	日本大学薬学部・薬学研究所 上席研究員	本賞	日本の理工系女性研究者支援を牽引した先導的活動
新大 Wits (しんだいういつつ)	奨励賞	賞	"新大 Wits" による出前授業活動から生まれた男女共同参画多世代キャリア教育
平成26年 辻村みよ子	明治大学法科大学院 教授	本賞	日本の男女共同参画社会の推進を牽引する先導的活動について
S A 輝友会 (エスエーきゆうかい)	奨励賞	賞	東北大学サイエンス・エンジェル (SA) 修了生による男女共同参画推進の取組み

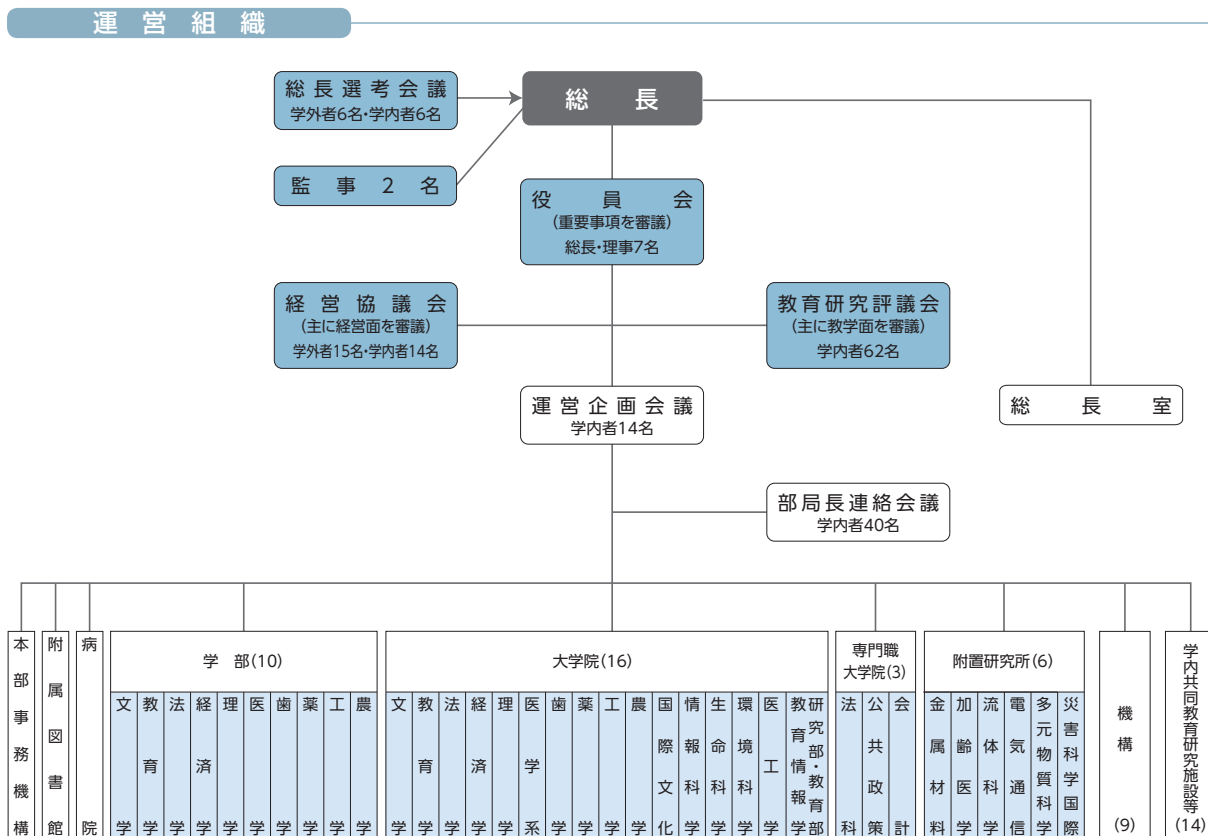
沢柳賞(東北大学男女共同参画奨励賞)受賞者

「沢柳賞」は、東北大学における男女共同参画を推進するため、男女共同参画に関連する研究や活動を行った人及び団体を表彰するものです。

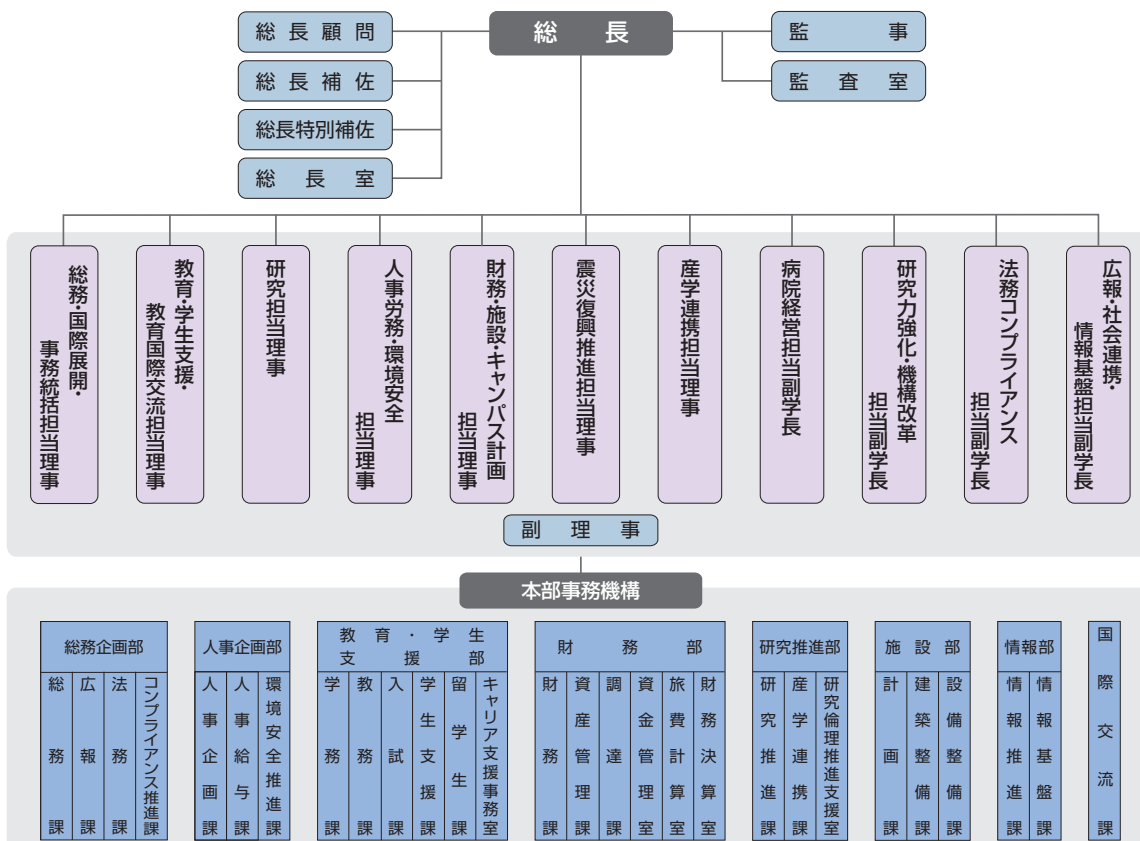
授賞年度	氏名・団体名	職名等	受賞部門
平成24年	アロナ	経済学研究科「留学生・研究者の産・育児を支援する地域・大学協働プロジェクトチーム」代表	活動部門
平成23年	朝倉 京子	医学系研究科教授	研究部門
平成22年	茂木 洋平	法学研究科博士課程後期	研究部門
	阿部 比佐久 久利 美和 村上 祐子	理学研究科再雇用職員 理学研究科助教 理学研究科准教授	プロジェクト部門(特別賞)
平成21年	下 夷 美 幸	文学研究科准教授	研究部門
	青葉理学振興会		活動部門
	女性と労働研究会		プロジェクト部門
平成20年	山崎 都	病院 医員	活動部門(特別賞)
	東北大学川内けやき保育園保護者会		活動部門
	トルムンフオドトヤ	環境科学研究科博士課程学生	プロジェクト部門(特別賞)
	齊藤 綾美	教育学研究科特別研究員	研究部門
平成19年	阿部 未央	法学研究科博士課程学生	研究部門(特別賞)
	工学研究科 機械・知能系男女共同参画推進委員会WGおよび女子学生交流会学生会スタッフ		活動部門
	尾崎 博美	教育学研究科博士課程学生	プロジェクト部門
	八木 美保子	教育学研究科博士課程学生	
	水原 克敏	教育学研究科教授	
	生田 久美子	教育学研究科教授	
ヤマモトシアエミコ	文学研究科専門研究員	プロジェクト部門(特別賞)	
平成18年	吉田 浩	経済学研究科助教	研究部門
	還山 智子	理学研究科教育研究支援者	活動部門
	鈴木 美智子	理学研究科教育研究支援者	
	玉江 京子	理学研究科助手	
	海老原 孝枝	病院「子育てに関する女性医師の会」代表	活動部門
橋本 鋺市	教育学研究科助教	プロジェクト部門	

運営組織

(平成29年5月1日現在)



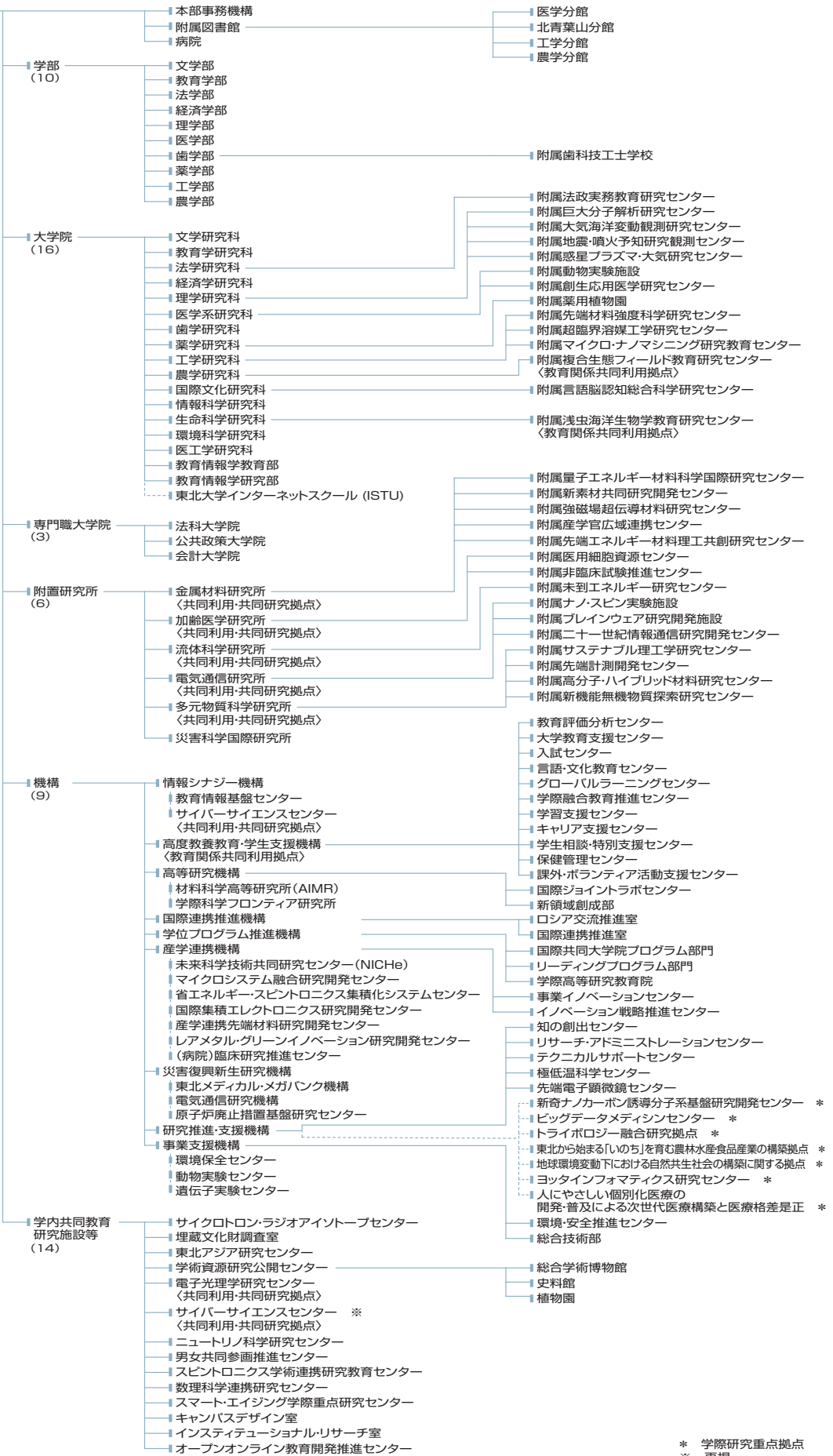
理事・副学長・副理事・本部事務機構



機構図

(平成29年5月1日現在)

国立大学法人東北大学
東北大学



* 学際研究重点拠点
※ 再掲

組
織

役員・主な役職者

総長	里見 進	総長特別補佐(教育改革担当)	静谷 啓樹
理事(総務・国際展開・事務統括担当)	植木 俊哉	総長特別補佐(学生支援担当)	菅原 俊二
理事(教育・学生支援・教育国際交流担当)	花輪 公雄	総長特別補佐(評価担当)	関内 隆
理事(研究担当)	伊藤 貞嘉	総長特別補佐(広報担当)	曾根 秀昭
理事(人事労務・環境安全担当)	大槻 達也	総長特別補佐(研究担当)	高田 昌樹
理事(財務・施設・キャンパス計画担当)	佃 良彦	総長特別補佐(震災復興推進担当)	中井 裕
理事(震災復興推進担当)	原 信義	総長特別補佐(入試担当)	長濱 裕幸
理事(産学連携担当)	矢島 敬雅	総長特別補佐(研究倫理担当)	羽田 貴史
監事	小林 邦英	総長特別補佐(経営企画担当)	早坂 忠裕
監事(非常勤)	牛尾 陽子	総長特別補佐(震災復興推進担当)	張替 秀郎
副学長(病院経営担当)	八重樫 伸生	総長特別補佐(業務改革担当)	藤本 雅彦
副学長(研究力強化・機構改革担当)	金井 浩	総長特別補佐(研究担当)	末永 智一
副学長(法務コンプライアンス担当)	兵頭 英治	総長特別補佐(利益相反マネジメント担当)	谷内 一彦
副学長(広報・社会連携・情報基盤担当)	青木 孝文	総長特別補佐(国際交流担当)	山口 昌弘
総長補佐	滝澤 博胤	総長特別補佐(社会連携担当)	吉澤 誠
総長補佐	大野 英男	総長特別補佐(IR総括担当)	米澤 彰純
総長顧問	天野 平八郎	総長特別補佐(震災復興推進担当)	渡邊 豊
総長顧問	大山 健太郎	副理事(国際交流担当)	山口 昌弘
総長顧問	高崎 康裕	副理事(利益相反マネジメント担当)	谷内 一彦
総長顧問	日野 正晴	副理事(経営企画担当)	伊豆 仁志
総長顧問	マーティ・キーナート	副理事(学生支援担当)	小田中 直樹
総長顧問	リチャード・ダッシャー	副理事(入試担当)	長濱 裕幸
総長特別補佐(教養教育担当)	安藤 晃	副理事(研究担当)	宮田 敏男
総長特別補佐(情報基盤担当)	伊藤 彰則	副理事(研究担当)	小谷 元子
総長特別補佐(男女共同参画担当)	大隅 典子	副理事(研究戦略マネジメント担当)	根本 靖久
総長特別補佐(学生支援担当)	小田中 直樹	副理事(震災復興推進担当)	今村 文彦
総長特別補佐(災害対策担当)	佐藤 健		

■ 本部

【総長室】		【財務部】	
総長室長	植木 俊哉	財務部長	伊豆 仁志
総長室副室長	兵頭 英治	財務課長	樋口 祐介
総長室副室長	青木 孝文	資産管理課長	熊谷 大
総長室副室長	伊豆 仁志	調達課長	高橋 智
総長室主任経営企画スタッフ	川口 悦生	【研究推進部】	
総長室主任経営企画スタッフ	菊田 克也	研究推進部長	佐藤 義幸
【総務企画部】		研究推進部次長	伊藤 保春
総務企画部長	齋藤 仁	研究推進課長	櫛引 加代子
総務課長	高木 雅弘	産学連携課長	三上 洋一
広報課長	谷口 善孝	研究倫理推進支援室長	白崎 隆典
法務課長	船田 正幸	【施設部】	
コンプライアンス推進課長	丸本 俊彦	施設部長	高橋 勝治
【人事企画部】		計画課長	森井 敦也
人事企画部長	成田 邦彦	建築整備課長	中西 康晴
人事企画課長	佐藤 龍彦	設備整備課長	佐藤 孝記
人事給与課長	目黒 尚美	【情報部】	
環境安全推進課長	柴田 一	情報部長	大川 俊治
【教育・学生支援部】		情報推進課長	大沼 忠弘
教育・学生支援部長	藤王 勉	情報基盤課長	大川 俊治
学務課長	安藤 正夫	【国際交流課】	
教務課長	志賀 紀行	国際交流課長	我妻 靖
入試課長	高橋 忠志	【本部事務機構付】	
学生支援課長	安達 雄一	課長	加藤 博
留学生課長	我妻 建史	【監査室】	
		監査室長	佐藤 功

(平成29年7月1日現在)

■ 学部・大学院研究科等及び附属施設	
【文学部・文学研究科】	
文学部長・文学研究科長	森 本 浩 一
文学部副学部長・文学研究科副研究科長	阿 部 恒 之
文学部副学部長・文学研究科副研究科長	佐 藤 嘉 倫
事務長	佐 藤 吉 和
【教育学部・教育学研究科】	
教育学部長・教育学研究科長	工 藤 与志文
教育学部副学部長・教育学研究科副研究科長	八 畷 友 広
事務長	渡 邊 真 好
【法学部・法学研究科】	
法学部長・法学研究科長	樺 島 博 志
法学部副学部長・法学研究科副研究科長	横 田 正 顕
法学部副学部長・法学研究科副研究科長	高 さやか
法科大学院長	中 原 茂 樹
公共政策大学院長	阿 南 友 亮
法政実務教育研究センター長	平 田 武
事務長	木 戸 龍 輔
【経済学部・経済学研究科】	
経済学部長・経済学研究科長	照 井 伸 彦
経済学部副学部長・経済学研究科副研究科長	三 宅 充 展
経済学部副学部長・経済学研究科副研究科長	守 健 二
会計大学院長	青 木 雅 明
事務長	佐々木 清 浩
【理学部・理学研究科】	
理学部長・理学研究科長	寺 田 真 浩
理学研究科副研究科長	小 原 隆 博
理学研究科副研究科長	日 笠 健 一
理学研究科副研究科長	川 勝 年 洋
巨大分子解析研究センター長	岩 本 武 明
大気海洋変動観測研究センター長	青 木 周 司
地震・噴火予知研究観測センター長	松 澤 暢
惑星プラズマ・大気研究センター長	小 原 隆 博
事務部長	村 岡 利 光
総務課長	穴 戸 和 良
教務課長	板 垣 毅
経理課長	及 川 勝 治
【医学部・医学系研究科】	
医学部長・医学系研究科長	五十嵐 和 彦
医学部副学部長・医学系研究科副研究科長	片 桐 秀 樹
医学部副学部長・医学系研究科副研究科長	中 山 啓 子
医学部副学部長・医学系研究科副研究科長	海 野 倫 明
医学部副学部長・医学系研究科副研究科長	吉 沢 豊 子
動物実験施設長	三 好 一 郎
創生応用医学研究センター長	大 隅 典 子
事務部長	畠 山 一 典
総務課長	佐 藤 敬 浩
教務課長	菅 原 昇 一
経理課長	杉 山 泰 啓
【歯学部・歯学研究科】	
歯学部長・歯学研究科長	佐々木 啓 一
歯学部副学部長・歯学研究科副研究科長	小 坂 健
歯学部副学部長・歯学研究科副研究科長	高 橋 信 博
歯科技工士学校長	菊 池 雅 彦
事務長	阿 部 昭
【薬学部・薬学研究科】	
薬学部長・薬学研究科長	根 東 義 則
薬学部副学部長・薬学研究科副研究科長	平 澤 典 保
薬学部副学部長・薬学研究科副研究科長	岩 淵 好 治
薬用植物園長	大 島 吉 輝
事務長	山 田 純 司
【工学部・工学研究科】	
工学部長・工学研究科長	滝 澤 博 胤
工学研究科副研究科長	植 松 康
工学研究科副研究科長	湯 上 浩 雄
工学研究科副研究科長	長 坂 徹 也
先端材料強度科学研究センター長	三 浦 英 生
超臨界溶媒工学研究センター長	猪 股 宏
マイクロ・ナノマシニング研究教育センター長	羽 根 一 博
マイクロ・ナノマシニング研究教育センター副センター長	戸 田 雅 也
事務部長	田 屋 修 一
総務課長	佐 藤 政 行
教務課長	高 橋 裕 之
経理課長	齋 藤 雅 樹
研究推進課長	小 松 誠
【農学部・農学研究科】	
農学部長・農学研究科長	牧 野 周
農学研究科副研究科長	伊 藤 房 雄
農学研究科副研究科長	高 橋 英 樹
複合生態フィールド教育研究センター長	尾 定 誠
複合生態フィールド教育研究センター副センター長	小 倉 振一郎
複合生態フィールド教育研究センター副センター長	伊 藤 豊 彰
事務長	志 田 昌 幸
【国際文化研究科】	
国際文化研究科長	小 野 尚 之
国際文化研究科副研究科長	岡 田 毅
国際文化研究科副研究科長	寺 本 成 彦
言語脳認知総合科学研究センター長	高 橋 大 厚
事務長	山 木 幸 一
【情報科学研究科】	
情報科学研究科長	徳 山 豪
情報科学研究科副研究科長	中 尾 光 之
情報科学研究科副研究科長	橋 本 浩 一
事務長	信 坂 健
【生命科学研究科】	
生命科学研究科長	東 谷 篤 志
生命科学研究科副研究科長	河 田 雅 圭
浅海海洋生物学教育研究センター長	熊 野 岳
事務長	及 川 良 房
【環境科学研究科】	
環境科学研究科長	吉 岡 敏 明
環境科学研究科副研究科長	高 橋 弘
【医工学研究科】	
医工学研究科長	厨 川 常 元
医工学研究科副研究科長	永 富 良 一
【教育情報学教育部】	
教育情報学教育部長	渡 部 信 一
【教育情報学研究部】	
教育情報学研究部長	渡 部 信 一

役員・主な役職者

■ 附置研究所及び附属施設			
【金属材料研究所】			
金属材料研究所長	高 梨 弘 毅		
金属材料研究所副研究所長	今 野 豊 彦		
金属材料研究所副研究所長	佐々木 孝 彦		
量子エネルギー材料科学国際研究センター長	永 井 康 介		
新素材共同研究開発センター長	古 原 忠 忠		
強磁場超伝導材料研究センター長	野 尻 浩 之		
産学官広域連携センター長	正 橋 直 哉		
先端エネルギー材料理工共創研究センター長	折 茂 慎 一		
事務部長	高 橋 嘉 典		
総務課長	千 葉 史 朗		
経理課長	小 澤 浩		
【加齢医学研究所】			
加齢医学研究所長	川 島 隆 太		
加齢医学研究所副研究所長	本 橋 ほづみ		
医用細胞資源センター長	松 居 靖 久		
非臨床試験推進センター長	山 家 智 之		
事務長	阿 部 芳 浩		
【流体科学研究所】			
流体科学研究所長	大 林 茂		
流体科学研究所副研究所長	小 林 秀 昭		
未到エネルギー研究センター長	寒 川 誠 二		
事務長	朝 倉 知 明		
【電気通信研究所】			
電気通信研究所長	大 野 英 男		
電気通信研究所副研究所長	石 山 和 志		
電気通信研究所副研究所長	羽 生 貴 弘		
ナノ・スピン実験施設長	末 光 眞 希		
ブレインウェア研究開発施設長	羽 生 貴 弘		
21世紀情報通信研究開発センター長	村 岡 裕 明		
事務長	金 子 雅 人		
【多元物質科学研究所】			
多元物質科学研究所長	村 松 淳 司		
多元物質科学研究所副研究所長	及 川 英 俊		
多元物質科学研究所副研究所長	福 山 博 之		
多元物質科学研究所副研究所長	垣 花 眞 人		
サステナブル理工学研究センター長	本 間 格		
先端計測開発センター長	寺 内 正 己		
高分子・ハイブリッド材料研究センター長	京 谷 隆		
新機能無機物質探索研究センター長	山 根 久 典		
事務部長	齋 藤 嘉 信		
総務課長	松 田 清		
経理課長	佐 藤 利 信		
【災害科学国際研究所】			
災害科学国際研究所長	今 村 文 彦		
災害科学国際研究所副研究所長	伊 藤 潔		
事務長	曾 根 芳 則		
■ 附属図書館及び分館			
図書館長	植 木 俊 哉	情報サービス課長	村 上 康 子
図書館副館長	西 尾 剛	医学分館長	北 本 哲 之
事務部長	加 藤 晃 一	北青葉山分館長	小 原 隆 博
総務課長	小 川 聡	工学分館長	高 橋 弘
情報管理課長	佐 藤 初 美	農学分館長	藤 井 智 幸
■ 病院			
病院長	八重樫 伸 生	事務部長	中 野 正 昭
総括副病院長	高 橋 哲	総務課長	芳 賀 昌 史
副病院長	五十嵐 薫	経営管理課長	菅 原 隆
副病院長	石 岡 千加史	経理課長	高 橋 孝 一
副病院長	富 永 悌 二	医事課長	前 田 光 男
副病院長	張 替 秀 郎	地域医療連携課長	渡 邊 サチ子
副病院長	福 本 敏		
■ 機構			
【情報シナジー機構】			
情報シナジー機構長	青 木 孝 文	材料科学高等研究所長	小 谷 元 子
情報シナジー機構副機構長	伊 藤 彰 則	材料科学高等研究所事務部門長	塚 田 捷
教育情報基盤センター長	早 川 美 徳	材料科学高等研究所副事務部門長	池 田 進
サイバーサイエンスセンター長	曾 根 秀 昭	学際科学フロンティア研究所長	佐 藤 正 明
サイバーサイエンスセンター副センター長	吉 澤 誠	国際ジョイントラボセンター長	伊 藤 貞 嘉
【高度教養教育・学生支援機構】			
高度教養教育・学生支援機構長	花 輪 公 雄	新領域創成部長	伊 藤 貞 嘉
高度教養教育・学生支援機構副機構長	安 藤 晃	高等研究機構等事務長	佐 藤 伸 一
高度教養教育・学生支援機構副機構長	関 根 勉	【国際連携推進機構】	
高等教育開発部門長	羽 田 貴 史	国際連携推進機構長	植 木 俊 哉
教育内容開発部門長	芳 賀 満	国際連携推進副機構長	山 口 昌 弘
学生支援開発部門長	木 内 喜 孝	ロシア交流推進室長	植 木 俊 哉
教養教育院長	花 輪 公 雄	ロシア交流推進室副室長	山 口 昌 弘
【高等研究機構】			
高等研究機構長	伊 藤 貞 嘉	国際連携推進室長	山 口 昌 弘
		【学位プログラム推進機構】	
		学位プログラム推進機構長	花 輪 公 雄
		学位プログラム推進機構副機構長	山 口 昌 弘

(平成29年7月1日現在)

学位プログラム推進機構副機構長	山 谷 知 行
学位プログラム推進機構副機構長	静 谷 啓 樹
国際共同大学院プログラム部門長	山 口 昌 弘
リーディングプログラム部門長	静 谷 啓 樹
学際高等研究教育院長	山 谷 知 行
【産学連携機構】	
産学連携機構長	矢 島 敬 雅
未来科学技術共同研究センター長	長谷川 史 彦
未来科学技術共同研究センター副センター長	阿 部 敬 悦
未来科学技術共同研究センター副センター長	植 松 康 康
未来科学技術共同研究センター副センター長	後 藤 昌 史
マイクロシステム融合研究開発センター長	小 野 崇 人
マイクロシステム融合研究開発センター副センター長	戸 津 健 太 郎
省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター長	大 野 英 男
省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター副センター長	遠 藤 哲 郎
国際集積エレクトロニクス研究開発センター長	遠 藤 哲 郎
国際集積エレクトロニクス研究開発センター副センター長	池 田 正 二
国際集積エレクトロニクス研究開発センター副センター長	品 田 賢 宏
産学連携先端材料研究開発センター長	大 林 茂 茂
産学連携先端材料研究開発センター副センター長	垣 花 眞 人
産学連携先端材料研究開発センター副センター長	寒 川 誠 二
産学連携先端材料研究開発センター副センター長	古 原 忠 忠
産学連携先端材料研究開発センター副センター長	吉 田 栄 吉
レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター長	杉 本 諭 諭
レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター副センター長	佐 藤 修 彰
レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター副センター長	吉 田 和 哉
(病院)臨床研究推進センター長	下 川 宏 明
事業イノベーションセンター長	矢 島 敬 雅
イノベーション戦略推進センター長	矢 島 敬 雅

【災害復興新生研究機構】	
災害復興新生研究機構長	原 信 義
災害復興新生研究機構副機構長	今 村 文 彦
東北メディカル・メガバンク機構長	山 本 雅 之
東北メディカル・メガバンク機構副機構長	木 下 賢 吾
東北メディカル・メガバンク機構副機構長	呉 繁 夫
東北メディカル・メガバンク機構事務長	近 藤 隆 隆
電気通信研究機構長	加 藤 寧 寧
電気通信研究機構副機構長	川 又 政 征
電気通信研究機構副機構長	塩 崎 充 博
原子炉廃止措置基盤研究センター長	渡 邊 豊 豊
【研究推進・支援機構】	
研究推進・支援機構長	伊 藤 貞 嘉
知の創出センター長	伊 藤 貞 嘉
知の創出センター副センター長	前 田 吉 昭
リサーチ・アドミニストレーションセンター長	伊 藤 貞 嘉
リサーチ・アドミニストレーションセンター副センター長	河 村 純 一
リサーチ・アドミニストレーションセンター副センター長	佐 藤 準 準
テクニカルサポートセンター長	伊 藤 貞 嘉
極低温科学センター長	佐 々 木 孝 彦
先端電子顕微鏡センター長	今 野 豊 彦
【事業支援機構】	
事業支援機構長	大 槻 達 也
環境保全センター長	服 部 徹 太 郎
動物実験センター長	清 水 律 子
遺伝子実験センター長	本 橋 ほづみ
環境・安全推進センター長	大 槻 達 也
総合技術部長	大 槻 達 也
総合技術部副部長	三 浦 重 幸

■ 学内共同教育研究施設等

【サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター】	
サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター長	谷 内 一 彦
サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター副センター長	田 代 学 学
サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター副センター長	渡 部 浩 司
【埋蔵文化財調査室】	
埋蔵文化財調査室長	藤 澤 敦 敦
【東北アジア研究センター】	
東北アジア研究センター長	高 倉 浩 樹
東北アジア研究センター副センター長	瀬 川 昌 久
東北アジア研究センター副センター長	千 葉 聡 聡
【学術資源研究公開センター】	
学術資源研究公開センター長	西 弘 嗣 嗣
総合学術博物館長	藤 澤 敦 敦
史料館長	柳 原 敏 昭
植物園長	牧 雅 之 之
【電子光理学研究センター】	
電子光理学研究センター長	濱 広 幸 幸
【ニュートリノ科学研究センター】	
ニュートリノ科学研究センター長	井 上 邦 雄
【男女共同参画推進センター】	
男女共同参画推進センター長	植 木 俊 哉
男女共同参画推進センター副センター長	大 隅 典 子

男女共同参画推進センター副センター長	田 中 真 美
男女共同参画推進センター副センター長	永 次 史
【スピントロニクス学術連携研究教育センター】	
スピントロニクス学術連携研究教育センター長	大 野 英 男
スピントロニクス学術連携研究教育センター副センター長	白 井 正 文
スピントロニクス学術連携研究教育センター副センター長	高 梨 弘 毅
【数理科学連携研究センター】	
数理科学連携研究センター長	小 川 卓 克
数理科学連携研究センター副センター長	都 築 暢 夫
【スマート・エイジング学際重点研究センター】	
スマート・エイジング学際重点研究センター長	川 島 隆 太
スマート・エイジング学際重点研究センター副センター長	瀧 靖 之
スマート・エイジング学際重点研究センター副センター長	本 橋 ほづみ
【キャンパスデザイン室】	
キャンパスデザイン室長	佃 良 彦
キャンパスデザイン室副室長	杉 山 丞
キャンパスデザイン室副室長	高 橋 勝 治
【インスティテューショナル・リサーチ室】	
インスティテューショナル・リサーチ室長	米 澤 彰 純
【オープンオンライン教育開発推進センター】	
オープンオンライン教育開発推進センター長	花 輪 公 雄
オープンオンライン教育開発推進センター副センター長	熊 井 正 之

総長選考会議

学外委員	
天 野 平八郎	一般社団法人宮城県自動車会議所最高顧問
小 野 元 之	学校法人城西大学理事長代理
	独立行政法人日本学術振興会顧問
黒 田 玲 子	学校法人東京理科大学研究推進機構総合研究院教授
清 野 智	東日本旅客鉄道株式会社取締役会長
高 橋 宏 明	東北経済連合会名誉会長
	東北電力株式会社相談役
	仙台フィルハーモニー管弦楽団理事長
遠 山 敦 子	公益財団法人トヨタ財団理事長
	元文部科学大臣

学内委員	
滝 澤 博 胤	総長補佐(工学研究科長)
大 野 英 男	総長補佐(電気通信研究所長)
寺 田 眞 浩	理学研究科長
五十嵐 和 彦	医学系研究科長
佐々木 啓 一	歯学研究科長
牧 野 周	農学研究科長

役員会

里 見 進	総 長
植 木 俊 哉	理 事
花 輪 公 雄	理 事
伊 藤 貞 嘉	理 事

大 槻 達 也	理 事
佃 良 彦	理 事
原 信 義	理 事
矢 島 敬 雅	理 事

経営協議会

学外委員	
天 野 平八郎	一般社団法人宮城県自動車会議所最高顧問
奥 正 之	三井住友フィナンシャルグループ取締役
小 野 元 之	学校法人城西大学理事長代理
	独立行政法人日本学術振興会顧問
小野寺 正	KDDI 株式会社取締役会長
帯 野 久美子	株式会社インターアクト・ジャパン代表取締役
鎌 田 宏	仙台商工会議所会頭
	七十七銀行代表取締役会長
黒 田 玲 子	学校法人東京理科大学研究推進機構総合研究院教授
杉 田 亮 毅	株式会社日本経済新聞社顧問
	公益社団法人日本経済研究センター特別顧問
鈴 木 茂 晴	株式会社大和証券グループ本社取締役最高顧問
清 野 智	東日本旅客鉄道株式会社取締役会長
高 橋 宏 明	東北経済連合会名誉会長
	東北電力株式会社相談役
	仙台フィルハーモニー管弦楽団理事長
中 鉢 良 治	国立研究開発法人産業技術総合研究所理事長
遠 山 敦 子	公益財団法人トヨタ財団理事長
	元文部科学大臣
東 哲 郎	東京エレクトロン株式会社取締役相談役
古 河 直 純	日本ゼオン株式会社代表取締役会長

学内委員	
里 見 進	総 長
植 木 俊 哉	理 事
花 輪 公 雄	理 事
伊 藤 貞 嘉	理 事
大 槻 達 也	理 事
佃 良 彦	理 事
原 信 義	理 事
矢 島 敬 雅	理 事
八重樫 伸 生	副学長(病院長)
金 井 浩	副学長
兵 頭 英 治	副学長
青 木 孝 文	副学長
滝 澤 博 胤	総長補佐(工学研究科長)
大 野 英 男	総長補佐(電気通信研究所長)

(平成29年5月1日現在)

教育研究評議会

里見進	総長	岩淵好治	薬学研究科教授
植木俊哉	理事	川又政征	工学研究科教授
花輪公雄	理事(高度教養教育・学生支援機構長)	伊藤房雄	農学研究科教授
伊藤貞嘉	理事	岡田毅	国際文化研究科教授
大槻達也	理事	中尾光之	情報科学研究科教授
佃良彦	理事	杉本亜砂子	生命科学研究科教授
原信義	理事	葛西栄輝	環境科学研究科教授
矢島敬雅	理事	西條芳文	医工学研究科教授
八重樫伸生	副学長(病院長)	今野豊彦	金属材料研究所教授
金井浩	副学長	本橋ほづみ	加齢医学研究所教授
兵頭英治	副学長	小原拓	流体科学研究科教授
青木孝文	副学長	塩入諭	電気通信研究所教授
滝澤博胤	総長補佐(工学研究科長)	及川英俊	多元物質科学研究科教授
大野英男	総長補佐(電気通信研究所長)	丸谷浩明	災害科学国際研究所教授
森本浩一	文学研究科長	関根勉	高度教養教育・学生支援機構教授
工藤与志文	教育学研究科長	西弘嗣	学術資源研究公開センター長
樺島博志	法学研究科長	曾根秀昭	サイバーサイエンスセンター長
照井伸彦	経済学研究科長		
寺田眞浩	理学研究科長		
五十嵐和彦	医学系研究科長		
佐々木啓一	歯学研究科長		
根東義則	薬学研究科長		
牧野周	農学研究科長		
小野尚之	国際文化研究科長		
徳山豪	情報科学研究科長		
東谷篤志	生命科学研究科長		
吉岡敏明	環境科学研究科長		
厨川常元	医工学研究科長		
高梨弘毅	金属材料研究所長		
川島隆太	加齢医学研究所長		
大林茂	流体科学研究科長		
村松淳司	多元物質科学研究科長		
今村文彦	災害科学国際研究所長		
高橋哲	病院総括副院長		
渡部信一	教育情報学研究部長		
高倉浩樹	東北アジア研究センター長		
小谷元子	材料科学高等研究所長		
山本雅之	東北メディカル・メガバンク機構長		
佐藤嘉倫	文学研究科教授		
野口和人	教育学研究科教授		
成瀬幸典	法学研究科教授		
三宅充展	経済学研究科教授		
山口昌弘	理学研究科教授		
谷内一彦	医学系研究科教授		
高橋信博	歯学研究科教授		

役員・職員数

(平成29年5月1日現在)

部 局	職 種	総長	理事	監事	教授	准教授	講師	助教	助手	教員計	事務・技術職員等	計
総長		1										1
理事			7									7
監事				2(1)								2
本部事務機構	総長室										7	7
	総務企画部							1	1	2	50	52
	人事企画部										59	59
	教育・学生支援部										97	97
	財務部										76	76
	研究推進部										22	22
	施設部										44	44
	情報部										21	21
	国際交流課										12	12
	監査室									6	6	
文学部・文学研究科					44	30		10	1	85	20	105
教育学部・教育学研究科					13	16	1	4		34	10	44
法学部・法学研究科					38	14	2	3	2	59	13	72
経済学部・経済学研究科					34	17	3	6	4	64	19	83
理学部・理学研究科					75	77	4	86	4	246	69	315
医学部・医学系研究科					89	62	27	109	26	313	41	354
歯学部・歯学研究科					21	17	11	53		102	17	119
薬学部・薬学研究科					18	12	7	24	7	68	15	83
工学部・工学研究科					116	110		116	9	351	113	464
農学部・農学研究科					43	42		38	3	126	27	153
国際文化研究科					22	15	2			39	14	53
情報科学研究科					31	34	1	30		96	11	107
生命科学研究科					29	13	2	39		83	14	97
環境科学研究科					17	15	1	19	3	55	6	61
医工学研究科					19	8	1	6		34	4	38
教育情報学研究部					3	2		3		8		8
金属材料研究所					26	34	2	62	5	129	38	167
加齢医学研究所					16	8	3	25		52	13	65
流体科学研究所					18	9		11		38	10	48
電気通信研究所					23	22		21		66	15	81
多元物質科学研究所					45	32	5	67	2	151	29	180
災害科学国際研究所					21	14	2	20	1	58	9	67
図書館	図書館										30	30
	医学分館										6	6
	北青葉山分館										5	5
	工学分館										7	7
	農学分館										4	4
病 院					9	23	61	229	66	388	1,810	2,198
情報シナジー機構											2	2
高度教養教育・学生支援機構					28	31	26	18	3	106	19	125
高等研究機構											11	11
国際連携推進機構								1		1	1	2
学位プログラム推進機構					1					1		1
産学連携機構					2					2	18	20
災害復興新生研究機構								1		1		1
研究推進・支援機構					1	1		2	2	6	12	18
事業支援機構					1	2	3	3	1	10	391	401
サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター					4	1	3	4	3	15		15
埋蔵文化財調査室											3	3
東北アジア研究センター					9	6		8		23		23
学術資源研究公開センター					3	4		6		13		13
電子光学研究センター					4	5		6		15		15
サイバーサイエンスセンター					4	4		2		10		10
ニュートリノ科学研究センター					2	4	1	6		13		13
男女共同参画推進センター									1	1	1	2
スピントロニクス学術連携研究教育センター						2		2		4		4
スマート・エイジング学際重点研究センター					1			2	1	4		4
キャンパスデザイン室											3	3
インスティテューショナル・リサーチ室					1					1	1	2
オープンオンライン教育開発推進センター											1	1
未来科学技術共同研究センター					21	16	1	13	1	52	6	58
材料科学高等研究所					16	9		17	17	59	5	64
教育情報基盤センター					2	3		2	1	8		8
遺伝子実験センター						1				1		1
東北メディカル・メガバンク機構					14	8	10	39	7	78	20	98
学際科学フロンティア研究所					5	5		52		62	1	63
マイクロシステム融合研究開発センター					2	3		3	3	11	1	12
省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター								1		1		1
国際集積エレクトロニクス研究開発センター					7	2				9	5	14
産学連携先端材料研究開発センター					1					1	1	2
電気通信研究機構					1					1	1	2
合 計		1	7	2(1)	900	733	179	1,170	174	3,156	3,266	6,432

※再雇用職員含む。 ※休職者含む。 ※()は非常勤で内数。

学部

文学部 1学科5学科目	学 科	人 文 社 会 学 科	学科目数	5	学科目	日本文化、東洋文化、西洋文化、人間文化、社会文化
	学 科	教 育 科 学 科	学科目数	2	学科目	教育学、教育心理学
法学部 1学科1学科目	学 科	法 学 科	学科目数	1	学科目	法学・政治学
	学 科	経 済 学 科 経 営 学 科	学科目数	3 3	学科目	基礎理論、応用経済、経済史 経営学、会計学、統計・数理科学
理学部 7学科7学科目	学 科	数 学 科	学科目数	1	学科目	数学
	学 科	物 理 学 科	学科目数	1	学科目	物理学
	学 科	宇 宙 地 球 物 理 学 科	学科目数	1	学科目	宇宙地球物理学
	学 科	化 学 科	学科目数	1	学科目	化学
	学 科	地 圏 環 境 科 学 科	学科目数	1	学科目	地圏環境科学
	学 科	地 球 惑 星 物 質 科 学 科	学科目数	1	学科目	地球惑星物質科学
	学 科	生 物 学 科	学科目数	1	学科目	生物学
医学部 2学科15学科目 7講座	学 科	医 学 科	学科目数	15	学科目	人体発生・構造学、分子生物・生化学、生理学、薬理学、病理学、感染・免疫学、 内科学、外科学、小児科学、精神医学、皮膚科学、泌尿・産婦人科学、感覚器病学、 麻酔・救急医学、社会医学
	学 科	保 健 学 科	学科目数	7 (講座)	学科目	基礎看護学、臨床看護学、地域保健看護学、放射線基礎技術学、 放射線医療技術学、基礎検査学、臨床検査学
歯学部 1学科5学科目	学 科	歯 学 科	学科目数	5	学科目	口腔基礎生物学、解剖生理歯科学、口腔機能再建学、口腔保健発育学、 口腔病態基礎外科学
	学 科	薬 学 科 創 薬 科 学 科	学科目数	1 1	学科目	薬学 創薬科学
工学部 5学科50学科目	学 科	機 械 知 能 ・ 航 空 工 学 科	学科目数	17	学科目	機能システム学、エネルギー学、材料メカニクス、ナノメカニクス、ロボットシステム、 ナノシステム、航空システム、宇宙システム、原子核システム安全工学、エネルギー物 理工学、粒子ビーム工学、太陽地球システム・エネルギー学、自然共生システム学、資 源循環プロセス学、環境創成計画学、バイオ・メディカルデバイス、バイオ・メディカル システム
	学 科	電 気 情 報 物 理 工 学 科	学科目数	11	学科目	エネルギーデバイス工学、電気エネルギーシステム工学、通信システム工学、 波動工学、電子物性工学、電子システム工学、計算機基礎工学、 知能情報処理工学、システム情報工学、応用物性物理学、応用材料物理学
	学 科	化 学 ・ バ イ オ 工 学 科	学科目数	9	学科目	環境資源化学、分子システム化学、有機材料合成化学、量子無機材料化学、 プロセス要素工学、プロセスシステム工学、超臨界流体工学、生体分子化学、生体機能化学
	学 科	材 料 科 学 総 合 学 科	学科目数	7	学科目	創形創質プロセス学、先端マテリアル物理化学、材料環境学、ナノ材料物性学、 情報デバイス材料学、マイクロシステム学、生体材料システム学
	学 科	建 築 ・ 社 会 環 境 工 学 科	学科目数	6	学科目	基盤構造材料学、社会基盤構造学、水環境学、地域システム学、建築計画学、 建築構成学
農学部 2学科13学科目	学 科	生 物 生 産 科 学 科	学科目数	8	学科目	植物生産科学、植物適応形質学、農業資源経済学、動物資源開発学、 動物生命科学、動物資源機能学、水圏生物機能学、水圏動物生産科学
	学 科	応 用 生 物 化 学 科	学科目数	5	学科目	分子生物学、生物化学、植物分子生理学、生命有機化学、食品機能科学

大学院

文学研究科
4専攻 20講座

専攻
文化科学
言語科学
歴史科学
人間科学

講座数
5
3
6
5
1

講座
日本文化学、中国文化学、インド文化学、西洋文化学、哲学
言語学、日本語学、日本語教育学
日本史学、東洋史学、ヨーロッパ史学、美術史学、○比較文化史学、※文化財科学
社会学、行動科学、心理学、人間文化科学、○科学技術社会論
◎実践宗教学

教育学研究科
2専攻 6講座

専攻
総合教育科学
教育設計評価

講座数
5
1

講座
人間形成論、教育政策科学、成人継続教育論、教授学習科学、人間発達臨床科学
教育設計評価

法学研究科
3専攻 8講座

専攻
綜合法制(法科大学院)
公共法政策(公共政策大学院)
法政理論研究(研究大学院)

講座数
3
2
3

講座
現代市民法、現代企業法、比較法社会論
行政法政策、ガバナンス研究
トランスナショナル法、グローバル政治分析、グローバル法文化分析

経済学研究科
2専攻 12講座

専攻
経済経営学
会計専門職(会計大学院)

講座数
8
4

講座
経済基盤、経営基盤、現代経済、システム科学、現代経営、医療福祉、地域政策、グローバルシステム
会計、経済と経営、ITと統計、法と倫理

理学研究科
6専攻 48講座

専攻
数学
物理学
天文学
地球物理学
化学
地学

講座数
5
16
3
7
10
7

講座
代数学、幾何学、解析学、多様体論、応用数理論
量子基礎物理学、素粒子・核物理学、電子物理学、量子物性物理学、固体統計物理学、関連物理学、領域横断物理学、○原子核物理学、○高エネルギー物理学、○結晶物理学、○金属物理学、○分光物理学、○核放射線物理学、※加速器科学、※強相関電子物理学、※量子計測
天文学、理論天体物理学、※スペース宇宙科学
固体地球物理学、太陽惑星空間物理学、流体地球物理学、地球環境物理学、○地殻物理学、○惑星圏物理学、※固体地球物理学
無機・分析化学、有機化学、物理化学、境界領域化学、先端理化学、○生体機能化学、○化学反応解析、○固体化学、※分離化学、※重元素化学
地圏進化化学、環境地理学、地球惑星物質科学、環境動態論、比較固体惑星学、※地圏物質循環学、※地球内部反応

医学系研究科
4専攻 55講座

専攻
医科学
障害科学
保健学
公衆衛生学

講座数
44
3
6
2

講座
細胞生物学、生体機能学、病理病態学、内科病態学、発生・発達医学、外科病態学、神経・感覚器病態学、情報健康医学、公共健康医学、○医用動物学、○加齢制御学、○腫瘍制御学、○加齢脳科学、○サイクロトロン核医学、※分子・神経イメージング、※がん医科学、※先進成育医学、※がん生命科学、※地域精神医療、※先進循環器医学、※消化器地域医療学、※グローバル感染症学、※臨床呼吸器・感染症学、※先進医薬品・医療機器開発レギュラトリーサイエンス、※宮城県北先制医療学、※次世代小児医療、※新興・再興感染症学、※腎臓病関連疾患総合医療、※地域先進医療学、※脳神経精神医学、※先進放射線核医学、○上肢運動器学、○先端画像・ナノ医科学、○予防精神医学、○視覚先端医療学、○統合腎不全医療、○網膜疾患制御学、○循環器 EBM 開発学、○循環器先端医療開発学、○多発性硬化症治療学、○大動脈疾患治療開発学、○難治性高血圧・内分泌代謝疾患地域連携、○漢方・統合医療学、○眼科画像情報解析学、○先進呼吸管理学
機能医科学、※高齢者認知・運動機能障害学講座、○先進感染症予防学
基礎・健康開発看護学、家族支援看護学、医用情報技術科学、生体応用技術科学、基礎検査医科学、臨床検査医科学
情報健康医学、公共健康医学

歯学研究科
1専攻 11講座

専攻
歯科学

講座数
11

講座
口腔生物学、口腔機能形態学、口腔修復学、口腔保健発育学、口腔病態外科学、顎口腔創建学、○口腔腫瘍病態学、※口腔免疫病態制御学、※長寿口腔科学、○生体適合性計測工学、◇次世代歯科材料工学

薬学研究科
3専攻 10講座

専攻
分子薬科学
生命薬科学
医療薬学

講座数
4
2
4

講座
分子制御化学、分子解析学、○分子動態解析学、※分子イメージング薬学
生命解析学、生命情報薬学
医療薬学、○病態分子薬学、※医薬品評価学、○医薬開発構想

工学研究科
18専攻 95講座

専攻
機械機能創成
ファインメカニクス
ロボティクス
航空宇宙工学
量子エネルギー工学
電気エネルギーシステム
通信工学
電子工学

講座数
6
8
4
5
12
4
4
7

講座
機能システム学、エネルギー学、先進機械機能創成、○破壊機構学、○知能流体システム学、○多元物質応用システム工学
材料メカニクス、ナノメカニクス、バイオメカニクス、先進ファインメカニクス、○破壊予知学、○ナノ流動学、○表面ナノ物理計測制御学、○損傷計測学
ロボットシステム、ナノシステム、先進ロボティクス、○知的メカノシステム工学
航空システム、宇宙システム、先進航空宇宙工学、○航空宇宙流体工学、※将来宇宙輸送工学
先進原子核工学、原子核システム安全工学、エネルギー物理学、粒子ビーム工学、○エネルギー材料工学、○エネルギー化学工学、○量子物性工学、○加速器放射線工学、※分子イメージング工学、※核融合炉システム工学、※核融合炉材料工学、※炉基盤工学
エネルギーデバイス工学、電気エネルギーシステム工学、○情報エネルギーシステム工学、◇先端電力工学
知的通信ネットワーク工学、通信システム工学、波動工学、○伝送工学
超微細電子工学、電子制御工学、物性工学、電子システム工学、○電子デバイス工学、○電子材料工学、○極限表面制御工学

工学研究科 18専攻95講座	専攻	講座数	講座
	応用物理学	5	応用界面物理学、応用物性物理学、応用材料物理学、○低温電子材料物性学、○電子・分光計測学
	応用化学	4	原子・分子制御工学、環境資源化学、分子システム化学、○反応設計学
	化学工学	4	プロセス解析工学、プロセス要素工学、プロセスシステム工学、○反応分離プロセス
	バイオ工学	4	応用生命化学、生体分子化学、生体機能化学、○生物有機化学
	金属フロンティア工学	6	金属プロセス工学、創形創質プロセス学、先端マテリアル物理学、○プロセス設計学、○プロセス制御学、◇先進鉄鋼材料組織制御学（JFE スチール）
	知能デバイス材料学	6	材料電子化学、ナノ材料物性学、情報デバイス材料学、○ナノ構造物質工学、○物質機能創製学、○材料表面機能制御学
	材料システム工学	5	接合界面制御学、マイクロシステム学、生体材料システム学、○物質構造評価学、○材料機能制御プロセス学
	土木工学	5	数理システム設計学、基盤構造材料学、社会基盤構造学、水環境学、地域システム学
	都市・建築学	4	都市・建築デザイン学、都市・建築計画学、サステナブル空間構成学、建築構造工学
技術社会システム	2	実践技術経営融合、先端社会工学	
農学研究科 3専攻19講座	専攻	講座数	講座
	資源生物学	9	植物生産科学、動物生産科学、水圏生物生産科学、資源環境経済学、○沿岸生物生産システム学、○栽培植物環境科学、※資源環境政策学、※緑辺深海生態系動態学、◎家畜生産機能開発学
	応用生命科学	5	環境生命科学、植物機能科学、動物機能科学、分子細胞科学、○応用遺伝子工学、
	生物産業創成科学	5	微生物機能開発科学、食品機能健康科学、天然物生物機能科学、生物産業情報科学、◎微生物資源学
国際文化研究科 1専攻8講座	専攻	講座数	講座
	国際文化研究	8	ヨーロッパ・アメリカ研究、アジア・アフリカ研究、国際日本研究、国際政治経済論、国際環境資源政策論、多文化共生論、言語科学研究、応用言語研究
情報科学研究科 4専攻31講座	専攻	講座数	講座
	情報基礎科学	9	情報基礎数理学、情報応用数理学、計算科学、ソフトウェア科学、○情報論理学、○コミュニケーション論、○超高速情報処理論、○情報セキュリティ論、○広域情報処理論
	システム情報科学	9	システム情報数理学、知能情報科学、生体システム情報学、知能ロボティクス学、○音情報科学、○高次視覚情報学、○情報コンテンツ学、○融合流体情報学、○ソフトウェア構成論
	人間社会情報科学	5	人間情報学、社会政治情報学、社会経済情報学、人間社会計画学、メディア情報学
	応用情報科学	8	応用情報技術論、応用生命情報学、○情報通信ソフトウェア学、○情報ネットワーク論、○流動システム情報学、○ブレインファンクション集積学、○健康情報学、※複雑統計科学
生命科学研究科 3専攻12講座	専攻	講座数	講座
	分子生命科学	3	生命有機情報科学、遺伝子システム学、○生体機能分子科学
	生命機能科学	4	細胞機能構築統御学、脳機能解析構築学、○海洋生物学、○分化制御学
	生態システム生命科学	5	環境遺伝生態学、進化生態科学、○植物多様性生物学、○保全生物学、※ゲノム生態学
環境科学研究科 2専攻19講座	専攻	講座数	講座
	先進社会環境学	5	資源戦略学、エネルギー資源学、環境政策学、○環境応用政策学、◎環境物質政策学（DOWA ホールディングス）
	先端環境創成学	14	都市環境・環境地理学、太陽地球システム・エネルギー学、自然共生システム学、資源循環プロセス学、環境創成計画学、○地殻環境システム創成学、○東北アジア地域社会論、○東北アジア地域文化論、○環境材料物理化学、○環境システム材料学、※環境適合材料創製学、※地球環境変動学、※環境リスク評価学、※バイオエコマネジメント学
医工学研究科 1専攻11講座	専攻	講座数	講座
	医工学	11	計測・診断医工学、治療医工学、生体機械システム医工学、生体再生医工学、社会医工学、○生体流動システム医工学、○人工臓器医工学、○生体材料学、○生体システム制御医工学、○生体情報システム学、◎糖尿病制御医工学
教育情報学教育部 1専攻3講座	専攻	講座数	講座
	教育情報学	3	IT教育デザイン論、IT教育ネットワーク論、○IT教育システム論
教育情報学研究部 5部門	専攻	部門数	部門
		5	IT教育システム原論、IT教育認知科学、IT教育アーキテクチャー、IT教育応用実践論、△比較IT教育論
専門職大学院 3専攻9講座	専攻	講座数	講座
	法科大学院	3	現代市民法、現代企業法、比較法社会論
	公共政策大学院	2	行政法政策、ガバナンス研究
	会計大学院	4	会計、経済と経営、ITと統計、法と倫理

注)○は協力講座を、※は連携講座を、◎は寄附講座を、◇は共同研究講座を、△は客員研究部門を表す。

附置研究所

金属材料研究所 (共同利用・共同研究拠点)	部門数 30	研究目的及びその研究部門 材料科学に関する学理及びその応用の研究 金属材料学、結晶物理学、磁気物理学、量子表面界面科学、低温物理学、低温電子物性学、量子ビーム金属物理学、△材質制御学、結晶欠陥物性学、金属組織制御学、計算材料学、材料照射工学、原子力材料物性学、原子力材料工学、電子材料物性学、△材料設計学、ランダム構造物質学、生体材料学、錯体物性化学、非平衡物質工学、磁性材料学、結晶材料化学、水素機能材料工学、複合機能材料学、加工プロセス工学、アクチノイド物質科学、不定比化合物材料学、分析科学、△材料プロセス評価学、◇非平衡軟磁性材料
加齢医学研究所 (共同利用・共同研究拠点)	部門数 5	研究目的及びその研究部門 加齢医学に関する学理及びその応用の研究 加齢制御、腫瘍制御、脳科学、◎抗感染症薬開発、◎認知機能発達(公文教育研究会)
流体科学研究所 (共同利用・共同研究拠点)	部門数 4	研究目的及びその研究部門 流動現象に関する学理及びその応用の研究 流動創成、複雑流動、ナノ流動、◇先端車輪基盤技術研究(ケーヒン)
電気通信研究所 (共同利用・共同研究拠点)	部門数 4	研究目的及びその研究部門 高次情報通信に関する学理およびその応用の研究 情報デバイス、ブロードバンド工学、人間情報システム、システム・ソフトウェア
多元物質科学研究所 (共同利用・共同研究拠点)	部門数 4	研究目的及びその研究部門 多元的な物質に関する学理及びその応用の研究 有機・生命科学、無機材料、プロセスシステム工学、計測
災害科学国際研究所	部門数 7	研究目的及びその研究部門 災害科学に関する学理及びその応用の研究 災害リスク、人間・社会対応、地域・都市再生、災害理学、災害医学、情報管理・社会連携、◎地震津波リスク評価(東京海上日動)

注) ◎は寄附研究部門を、◇は共同研究部門を、△は客員研究部門を表す。

研究施設・組織・機構等

機構

施設名	設置目的
情報シナジー機構	本学全体の情報基盤整備に係る企画立案、調整及び協議を行い、並びにその実施を担うとともに、情報システムに係る整備、運用、管理及び利用に関する調整を行い、並びに情報基盤に基づく各種のサービスを提供するとともに情報セキュリティ対策の推進に必要な措置を講ずることにより、本学の情報化の推進を図る。
高度教養教育・学生支援機構 (教育関係共同利用拠点)	高度教養教育及び学生支援に関する調査研究、企画及び提言並びにそれらの方法の開発及び実施を関係部局との連携の下、一体的に行うことにより、本学の教育の質の向上に寄与する。
高等研究機構	世界最高水準の研究者が集結する優れた国際的研究環境を構築し、既存の学問領域を超えた新しい学術分野を創出する。
国際連携推進機構	関係部局との連携の下、本学の国際化環境整備を促進し、職員及び学生の国際流動性の向上並びに教育研究における国際連携強化を一体的に行う。
学位プログラム推進機構	学問領域の壁を超え、かつ、国境の壁を超えた先進的な大学院の学位プログラム等の実施を関係部局との連携の下、一体的に行うことにより、これまでの本学の教育の質の向上に寄与し、国際的な指導者として活躍する人材を育成することを目的とする。
産学連携機構	産業界と連携して研究開発を行う関係部局との連携の下、世界標準の産学連携マネジメントを基盤とした本学の産学官連携の推進に関する業務を行うことにより、本学の研究成果の社会実装を図り、社会経済におけるイノベーションの推進に寄与する。
災害復興新生研究機構	関係部局との連携の下、本学が東日本大震災の被災地の中心に所在する総合大学として被災地域の課題を踏まえ、その特色及び資源を活用して行う研究、人材育成及び新産業創出等の取組を推進し、その成果を社会に発信し、及び実践を図ることにより、東日本大震災からの復興及び新生に寄与する。
研究推進・支援機構	本学における研究の推進及び支援を行うことにより、本学の研究の一層の発展に寄与し、分野融合及び新たな学問分野の創出を実現するとともに、その成果を社会に還元する。
事業支援機構	本学における適切な職場環境の形成及び教育研究に関する技術的支援を行うことにより、教育研究活動の一層の充実に資する。

研究施設・組織・機構等

学内共同教育研究施設

施設名	設置目的
サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	サイクロトロン設備を多目的利用に供し、高レベル及び短寿命のラジオアイソトープの取扱設備を共用させるとともに、放射線の安全管理に係る全学的業務を行い、併せて加速器並びに測定器に係る原子核物理学、核薬学、サイクロトロン核医学及び放射線管理に関する研究開発を行う。
埋蔵文化財調査室	本学の施設整備が円滑に行われるために、構内の埋蔵文化財に関する調査を行い、併せて資料の保管及びその活用を図る。
東北アジア研究センター	東北アジア（東アジア及び北アジア並びに日本をいう。）地域に関する地域研究を学際的及び総合的に行う。
学術資源研究公開センター	学術標本、歴史資料として重要な公文書その他の本学の歴史に関する資料、植物園の敷地内に生育する生物資源等、本学が所蔵する学術資料の収集、保管又は保全及び研究を行い、もって学内の教育研究に資するとともに、これらを広く一般に公開して社会教育の振興に寄与する。
電子光物理学研究センター (共同利用・共同研究拠点)	電子加速器から得られる様々なエネルギーの電子・光子ビームを主要な手段として、原子核物理学、加速器科学、物質科学等の物質諸階層の基礎と応用の研究を推進し、並びに新たな電子光ビームの開発を通じて、未踏研究分野の開拓及び新研究領域の創造を目指すとともに、電子光科学諸分野における研究者、技術者等の養成を行う。
サイバーサイエンスセンター (共同利用・共同研究拠点)	全国共同利用の学内共同教育研究施設等として、研究、教育等に係る情報化を推進するための研究開発並びに情報基盤の整備及び運用を行い、本学の情報化の推進において中核的な役割を担う。
ニュートリノ科学研究センター	低エネルギー・ニュートリノの観測及び極低放射能環境における実験的研究を通じて、素粒子物理学、宇宙物理学及び地球物理学の発展に寄与する。
男女共同参画推進センター	男女共同参画委員会の方針に基づき、女性研究者の育成支援等に係る施策を行うことにより、本学における男女共同参画を推進する。
スピントロニクス学術連携研究 教育センター	世界をリードする日本のスピントロニクス研究の国際競争力の向上、新産業の創出、現産業の強化及び次世代人材の育成を目指し、国内外の研究機関との共同研究を促進する連携ネットワークの拠点としての役割を担う。
数理工学連携研究センター	先端的な社会実現に向けたテクノロジー及びイノベーションの原動力となる数学・数理工学の基礎基盤構築を促進し、異分野連携研究による新分野の創出及び社会の要請に応える研究教育活動を含めた総合的な数理工学の進展を行う。
スマート・エイジング学際重点 研究センター	基礎生命科学、人文社会科学その他の加齢科学に関する広範な学問領域が重層的かつ融合的に協働し、社会での認知症予防実践を提言する文理融合の学際的国際共同研究を行うことにより、真に有機的な融合科学としての加齢科学の構築を図り、もって超高齢社会における個人及び社会の活力維持に向けたスマート・エイジングを実現する。
キャンパスデザイン室	本学の伝統を継承し、及び長期的視点に立ったキャンパスのデザインに関する調査及び研究を行い、専門的な観点から国立大学法人東北大学キャンパス総合計画委員会を支援する。
インスティテューショナル・ リサーチ室	教育、研究その他の本学の諸活動に関する多様なデータの効果的かつ効率的な集約及び分析等を行うことにより、本学の戦略的な大学経営の推進に資する。
オープンオンライン 教育開発推進センター	本学における大規模公開オンライン講座に関する研究開発、企画及び支援を関係部局との連携の下、一体的に行うとともに、本学の教育研究成果をオンライン教育により国内外へ発信及び公開することにより、本学の教育研究の一層の発展に寄与する。
施設名	設置目的
未来科学技術共同研究センター	社会の要請に応える新しい技術・製品の実用化並びに新しい産業の創出を社会へ提案することを目指し、産業界等との共同研究の推進を図り、先端的かつ独創的な開発研究を行う。
環境保全センター	本学の教育研究活動に伴って生ずる有害物質を含む排水、廃油及び廃有機溶剤（放射性物質を含む廃棄物を除く。）を適正に処理し、及びその処理に関する技術開発等を行うとともに、化学原料化において2次公害となる物質の排出を抑制する技術を確立することにより、環境の保全に資する。
材料科学高等研究所	革新的材料科学に関する国際的な研究拠点として、原子・分子レベルにおける学理の深化及び異文化融合を通じて新たな原子分子制御法の確立及びこれに基づく革新的な高度実用材料の創出を図り、もって我が国の産業経済の持続的発展並びに当該学術分野における先進性及び優位性の維持及び進展に資する。
教育情報基盤センター	本学における教育の情報化及び情報教育に関する研究開発及び支援を行うとともに、教育上の情報システムに関する管理運用を一元的に行い、もって本学における教育の高度化及び学生サービスの充実に資する。
動物実験センター	環境・安全委員会動物実験専門委員会が行う動物実験計画の審査、動物実験に係る法令遵守及び安全管理に関する事項並びに動物実験実施者等に対する教育訓練等の実施に関し支援することにより、本学における動物実験の適法性を確保し、及び動物実験に係る安全管理を推進する。
遺伝子実験センター	環境・安全委員会遺伝子組換え実験安全専門委員会が行う遺伝子組換え実験計画の審査、遺伝子組換え実験に係る法令遵守及び安全管理に関する事項並びに遺伝子組換え実験従事者等に対する教育訓練等の実施に関し支援することにより、本学における遺伝子組換え実験の適法性を確保し、及び遺伝子組換え実験に係る安全管理を推進する。
東北メディカル・メガバンク機構	東日本大震災における被災地の長期健康調査のための大規模コホート調査による医療健康福祉情報とゲノム情報をつなぐ新たな複合バイオバンクの構築及び次世代生命医療情報システムの研究拠点形成を通じた人材養成の推進により、医療資源の有効的活用等による医療課題の改善及び先進的ゲノム医療の実現を図り、もって東北地方の復興に資する。
学際科学フロンティア研究所	異分野融合による学際的研究を開拓し、及び推進するとともに、各研究科、各附置研究所及び学位プログラム推進機構学際高等研究院との連携を通じて若手研究者の研究を支援することにより新たな知と価値を創出し、より豊かな人類社会の発展に貢献する。
マイクロシステム融合研究開発 センター	集積化マイクロシステムの研究開発拠点として、企業等との連携によりマイクロシステム融合技術の開発を推進して半導体集積回路分野における我が国の国際的な競争力の強化に寄与するとともに、情報・通信、製造、医療等の多様な分野において当該技術の実用化を図る。
省エネルギー・スピントロニクス 集積化システムセンター	スピントロニクス素子と論理集積回路とを融合した革新的な省エネルギー論理集積回路を開発し、及びその技術に係る産学連携拠点の構築を図ることにより、次世代半導体分野における我が国の国際的な競争力の強化に寄与するとともに、低炭素・省エネルギー社会の実現に貢献する。
電気通信研究機構	本学の電気、通信、電子及び情報の各分野の研究者及び技術者の英知を結集し、災害に強い情報通信ネットワークの構築及び世界をリードする革新的研究開発を通じて、被災地である東北における情報通信・エレクトロニクス産業の興隆、さらに我が国における新しい情報通信・エレクトロニクス分野の新産業創出に寄与し、社会的課題にこたえる戦略的研究の推進、地域政策及び国家政策への貢献並びに産学連携研究の推進を行う。
国際集積エレクトロニクス 研究開発センター	集積エレクトロニクス技術を研究開発し、及びその技術に係る国際的産学連携拠点の構築を図ることにより、次世代集積エレクトロニクス分野における我が国の国際的な競争力の強化に寄与するとともに、当該分野の技術の実用化及び新産業の創出を目的とする。
産学連携先端材料 研究開発センター	産学官による連携体制を構築し、未来の社会を支える新しい材料に係る加工、製造、処理、分析及び評価の各プロセスにおける技術の研究開発及び実用化を促進することにより、東北地域の産業復興及び我が国の材料分野における国際競争力の強化に寄与する。
レアメタル・グリーンイノベー ション研究開発センター	産学官による共同研究とコンソーシアムの形成を通じ、レアメタルのサプライチェーンの構築ならびにグリーンイノベーションを推進して、レアメタルを効率的に利用する産業構造の構築及び省エネルギーによる低炭素社会の実現に資するとともに、これらの研究を通じて次代を担う研究者及び技術者の教育及び育成に貢献する。
原子炉廃止措置基盤 研究センター	東京電力株式会社福島第一原子力発電所における原子炉の安全かつ着実な廃止措置に資する基盤技術の研究開発及び原子炉の廃止措置等に関する基盤研究を行うことにより、東日本大震災からの復興及び我が国の原子力分野における国際競争力の強化に寄与する。

所蔵冊数

(平成29年3月31日現在)

区分	種別	本館	医学分館	北青葉山分館	工学分館	農学分館	計
蔵書冊数	和漢書	1,618,460	170,041	90,416	178,855	87,010	2,144,782
	洋書	1,173,031	244,103	306,496	182,780	58,382	1,964,792
	計	2,791,491	414,144	396,912	361,635	145,392	4,109,574
雑誌	和雑誌	27,130	5,391	2,613	4,004	3,887	43,025
	洋雑誌	18,113	9,401	8,361	4,372	1,811	42,058
	計	45,243	14,792	10,974	8,376	5,698	85,083

利用状況

(平成28年度)

区分	本館	医学分館	北青葉山分館	工学分館	農学分館	計
入館者	710,188	185,172	69,859	130,449	37,244	1,132,912
学外閲覧者	43,087	1,879	1,909	92	260	47,227
貸出図書	218,200	28,000	23,209	47,681	5,596	322,686
レファレンスサービス	8,193	3,552	2,880	5,218	1,489	21,332
情報検索サービス	18,255	7,568	1,152	2,348	670	29,993
文献複写	5,399	8,676	1,743	4,893	492	21,203

蔵書の特徴

1. 国宝	史記 孝文本紀第十(平安時代) 類聚國史 巻第二十五(平安時代)
2. 貴重図書	和漢書820点(うち狩野文庫574点)、西蔵大蔵經(デルゲ版)、漱石文庫、秋田家史料、洋書110点
3. 準貴重図書	狩野文庫(国宝・貴重図書を除く)、和算関係資料、晩翠文庫、櫛田(民蔵)文庫、ヴント文庫(Wilhelm Wundt)、ケーベル文庫(Raphael von Koeber)、シュタイン文庫(Friedrich Stein)、ゼッケル文庫(Emil Seckel)、チーテルマン文庫(Ernst Zitellmann)、古文書資料群、ヴィルヘルム・ヴィンデルバント直筆ノート(Wilhelm Windelband)
4. その他特殊文庫等	阿部(次郎)文庫、大類(伸)文庫、児島(喜久雄)文庫、石津(照鹽)文庫、梅原(末治)文庫、矢島(玄亮)文庫、和田(佐一郎)文庫、須永(重光)文庫、木下(彰)文庫、高柳(真三)文庫、宮田(光雄)文庫、伊東(信雄)文庫、河野(与一)文庫、中野(正)文庫、中村(吉治)文庫、平山(諦)文庫、松本(金寿)文庫、柳瀬(良幹)文庫、金谷(治)文庫、芹澤(長介)文庫、武内(義雄)文庫、ヴェルフェル文庫(Georg Würfel)、晴山文書、齋藤養之助家史料、第二特殊文庫資料群



ラーニング・commons



グローバル学習室



国宝(史記 孝文本紀 第十)

病院

(平成29年5月1日現在)

部門	診療科	病床数	
医科部門	内科	総合診療科、循環器内科、総合感染症科、腎・高血圧・内分泌科、血液・免疫科、糖尿病代謝科、消化器内科、加齢・老年病科、漢方内科、心療内科、呼吸器内科、腫瘍内科	1,225
	外科	肝・胆・膵外科、胃腸外科、移植・再建・内視鏡外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、呼吸器外科、麻酔科、緩和医療科、救急科	
	産婦人科・泌尿生殖器科	婦人科、産科、泌尿器科	
	脳・神経・精神科	神経内科、脳神経外科、精神科	
	小児科	小児科、遺伝科、小児外科、小児腫瘍外科、小児腫瘍科	
	感覚器・理学診療科	皮膚科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、肢体不自由リハビリテーション科、てんかん科、内部障害リハビリテーション科、高次脳機能障害科	
	放射線科	放射線治療科、放射線診断科	
歯科部門	口腔育成系診療科	予防歯科、小児歯科、矯正歯科、咬合機能成育室	
	口腔維持系診療科	口腔診断科、歯科顎口腔外科、歯科麻酔疼痛管理科	
	口腔修復系診療科	保存修復科、咬合修復科、歯内療法科	
	口腔回復系診療科	咬合回復科、歯周病科、口腔機能回復科	

患者数

(平成28年度)

部門／入院	延患者数	1日平均患者数
医科部門	372,681	1,021
歯科部門	10,898	30
部門／外来	延患者数	1日平均患者数
医科部門	545,343	2,244
歯科部門	149,580	616

先進医療

(平成29年5月1日現在)

- 泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術
- 定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価
- 重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病に対する心停止ドナーからの臍島移植
- パクリタキセル静脈内投与（一週間に一回投与するものに限る。）及びカルボプラチン腹腔内投与（三週間に一回投与するものに限る。）の併用療法
- 歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法
- 急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変（MRD）量の測定
- インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法
- FDGを用いたポジトロン断層・コンピュータ断層撮影による不明熱の診断（画像検査、血液検査及び尿検査により診断が困難なものに限る）
- LDL アフェレシス療法
- 初発中枢神経系原発性リンパ腫に対する照射前大量メトトレキサート療法後のテモゾロミド併用放射線治療＋テモゾロミド維持療法
- ウイルスに起因する難治性の眼感染症疾患に対する迅速診断（PCR法）
- 細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染症疾患に対する迅速診断（PCR法）
- テモゾロミド用量強化療法
- 自己心膜及び弁形成リングを用いた僧帽弁置換術
- リツキシマブ点滴注射後におけるミコフェノール酸モフェチル経口投与による寛解維持療法



学生数

(平成29年5月1日現在)

学生総数

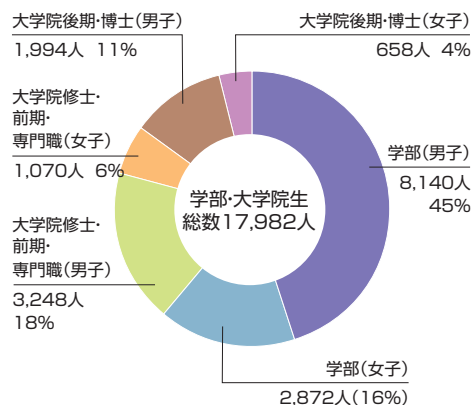
区分	学生定員	在籍者		内 留学生数			研究生 特別聴講学生 特別研究学生 科目等履修生 学部入学前教育受講生 日本語研修コース
				国費	私費	計	
学部学生	10,030	11,012	(2,872)	51	161	212	374
大学院学生(修士・前期・専門職)	3,840	4,318	(1,070)	111	639	750	196
大学院学生(後期・博士)	2,612	2,652	(658)	171	450	621	
計	16,482	17,982	(4,600)	333	1,250	1,583	570
附属学校	40	37	(28)	—	—	—	—
研究所	—	—	—	—	—	—	13
その他	—	—	—	—	—	—	19
合計	16,522	18,019	(4,628)	333	1,250	1,583	602

()の数は女子で内数。私費留学生については、政府派遣留学生を含む

学部

学部名	総定員	在籍者		
文学部	840	965	(486)	[17]
教育学部	280	311	(151)	[1]
法学部	640	734	(223)	[4]
経済学部	1,080	1,160	(237)	[9]
理学部	1,296	1,397	(206)	[41]
医学部	1,376	1,420	(569)	[3]
歯学部	318	322	(148)	[2]
薬学部	360	386	(135)	[3]
工学部	3,240	3,650	(447)	[114]
農学部	600	667	(270)	[18]
計	10,030	11,012	(2,872)	[212]

()の数は女子で内数、[]の数は留学生で内数



大学院

研究科等名	修士・前期・専門職				後期・博士			
	総定員	在籍者		総定員	在籍者			
文学研究科	178	177	(85)	[53]	135	182	(77)	[52]
教育学研究科	86	70	(42)	[8]	54	52	(23)	[5]
法学研究科	230	152	(33)	[14]	60	44	(12)	[20]
経済学研究科	180	228	(99)	[164]	60	48	(19)	[24]
理学研究科	524	581	(97)	[55]	390	278	(42)	[78]
医学系研究科	184	204	(109)	[28]	583	736	(196)	[51]
歯学研究科	12	15	(10)	[3]	168	173	(64)	[26]
薬学研究科	108	137	(30)	[13]	70	75	(15)	[8]
工学研究科	1,272	1,541	(188)	[158]	522	527	(63)	[178]
農学研究科	218	277	(117)	[37]	111	95	(28)	[18]
国際文化研究科	70	78	(50)	[62]	48	60	(35)	[37]
情報科学研究科	280	335	(50)	[71]	126	135	(22)	[45]
生命科学研究科	212	208	(84)	[14]	141	82	(17)	[17]
環境科学研究科	200	202	(43)	[39]	99	91	(27)	[49]
医工学研究科	62	84	(17)	[11]	30	48	(7)	[11]
教育情報学教育部	24	29	(16)	[20]	15	26	(11)	[2]
計	3,840	4,318	(1,070)	[750]	2,612	2,652	(658)	[621]

()の数は女子で内数、[]の数は留学生で内数

附属学校

学校名	定員	入学者	在籍者
歯学部附属歯科技工士学校	20×2学年	17 (12)	37 (28)

()の数は女子で内数

入学状況

(平成29年度)

学部

学部名	入学定員	入学志願者	入学者	
文学部	210	518 (254)	224 (124)	
教育学部	70	186 (87)	74 (42)	
法学部	160	417 (127)	172 (64)	
経済学部	260	944 (197)	272 (62)	
	20	58 (15)	10 (2)	
理学部	324	1426 (237)	323 (44)	
医学部	医学科	135	480 (96)	134 (22)
	保健学科	144	374 (271)	147 (113)
歯学部	53	179 (78)	57 (30)	
薬学部	80	281 (111)	88 (32)	
工学部	810	2,364 (318)	815 (91)	
農学部	150	435 (191)	154 (62)	
計	2,396	7,604 (1,967)	2,460 (686)	
	20	58 (15)	10 (2)	

()の数は女子で内数。下欄の数は3年次編入学に係る数字で外数、()の数は女子で内数

大学院

研究科等名	修士・前期・後期・博士・専門職別	入学定員	入学志願者	入学者
文学研究科	前期	89	145 (83)	89 (45)
	後期	45	43 (18)	37 (16)
教育学研究科	前期	43	72 (43)	31 (18)
	後期	18	20 (6)	14 (4)
法学研究科	前期	10	14 (5)	11 (4)
	後期	20	11 (7)	8 (4)
	専門職	80	150 (30)	67 (14)
経済学研究科	前期	50	75 (31)	31 (12)
	後期	20	5 (1)	4 (1)
	専門職	40	35 (7)	19 (1)
理学研究科	前期	262	347 (62)	268 (46)
	後期	130	54 (5)	53 (5)
医学系研究科	修士	40	58 (34)	43 (25)
	博士	130	136 (36)	133 (36)
	前期	52	60 (32)	50 (24)
	後期	21	24 (18)	22 (17)
歯学研究科	修士	6	6 (4)	6 (4)
	博士	42	45 (18)	35 (15)
薬学研究科	博士	4	3 (1)	2 (0)
	前期	54	70 (17)	60 (14)
	後期	18	10 (1)	10 (1)
工学研究科	前期	636	917 (117)	721 (79)
	後期	174	124 (15)	114 (13)
農学研究科	前期	109	181 (61)	128 (44)
	後期	37	31 (7)	31 (7)
国際文化研究科	前期	35	56 (36)	31 (21)
	後期	16	8 (4)	4 (2)
情報科学研究科	前期	140	205 (26)	155 (19)
	後期	42	28 (5)	26 (5)
生命科学研究科	前期	106	114 (42)	95 (34)
	後期	47	19 (2)	19 (2)
環境科学研究科	前期	100	115 (26)	89 (13)
	後期	33	16 (10)	14 (9)
医工学研究科	前期	31	61 (17)	47 (13)
	後期	10	6 (1)	5 (1)
教育情報学教育部	前期	12	19 (9)	14 (5)
	後期	5	8 (6)	5 (4)
計	修士	46	64 (38)	49 (29)
	博士	176	184 (55)	170 (51)
	前期	1,729	2,451 (607)	1,820 (391)
	後期	636	407 (106)	366 (91)
	専門職	120	185 (37)	86 (15)

()の数は女子で内数



平成29年度入学式 平成29年4月5日

入学状況

(平成29年4月1日現在)

出身都道府県別 学部入学志願者・入学者

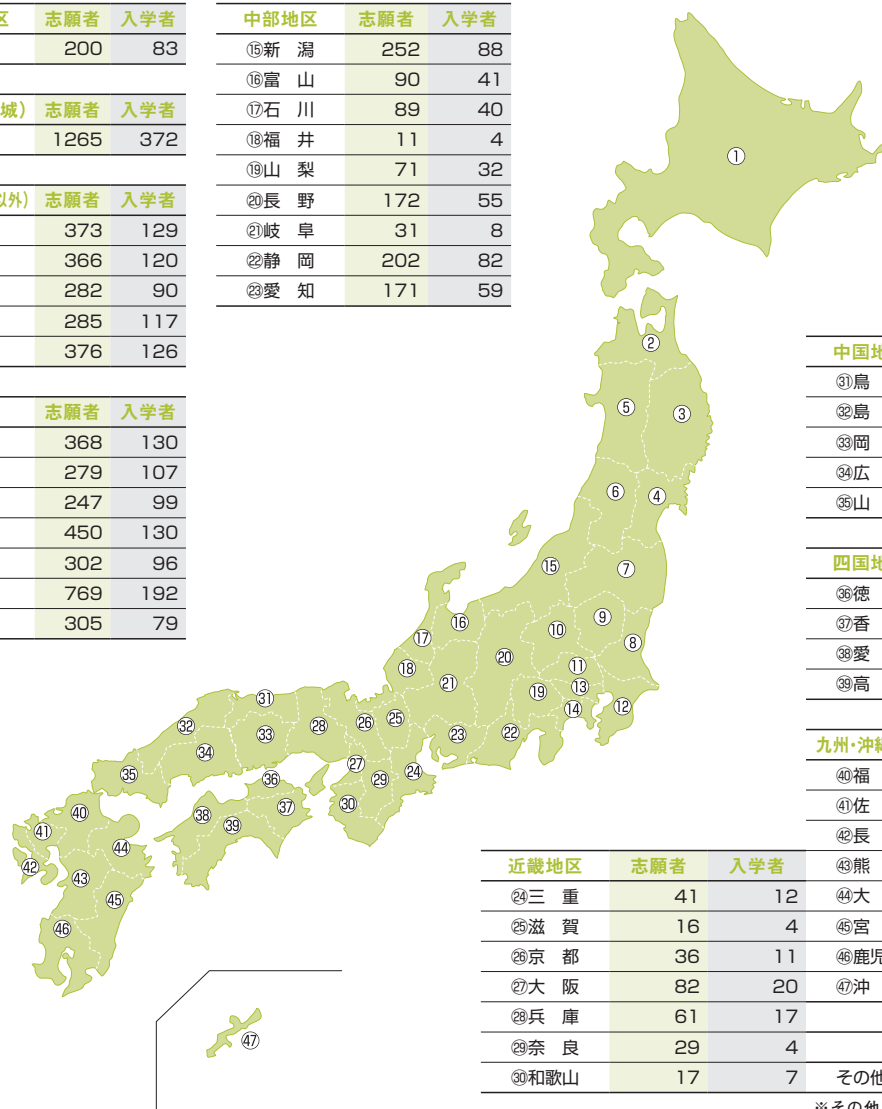
北海道地区	志願者	入学者
①北海道	200	83

東北地区(宮城)	志願者	入学者
④宮城	1265	372

東北地区(宮城以外)	志願者	入学者
②青森	373	129
③岩手	366	120
⑤秋田	282	90
⑥山形	285	117
⑦福島	376	126

関東地区	志願者	入学者
⑧茨城	368	130
⑨栃木	279	107
⑩群馬	247	99
⑪埼玉	450	130
⑫千葉	302	96
⑬東京	769	192
⑭神奈川	305	79

中部地区	志願者	入学者
⑮新潟	252	88
⑯富山	90	41
⑰石川	89	40
⑱福井	11	4
⑲山梨	71	32
⑳長野	172	55
㉑岐阜	31	8
㉒静岡	202	82
㉓愛知	171	59



中国地区	志願者	入学者
㉔鳥取	5	1
㉕島根	7	2
㉖岡山	20	5
㉗広島	46	12
㉘山口	16	6

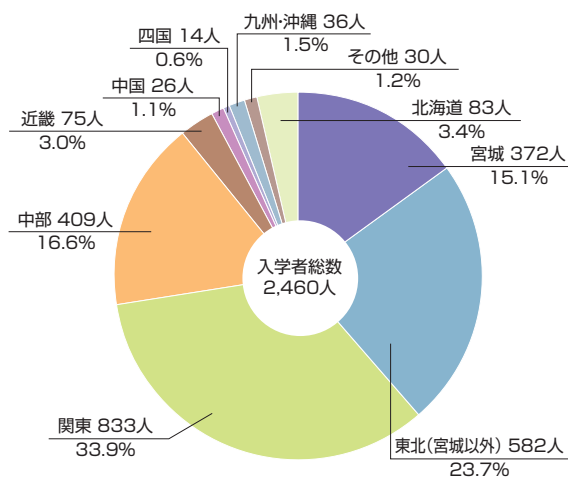
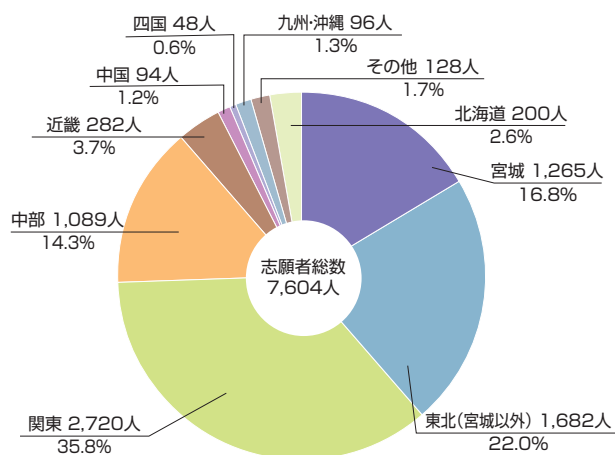
四国地区	志願者	入学者
㉙徳島	5	2
㉚香川	11	2
㉛愛媛	26	8
㉜高知	6	2

九州・沖縄地区	志願者	入学者
㉝福岡	31	11
㉞佐賀	8	2
㉟長崎	4	1
㊱熊本	6	1
㊲大分	5	1
㊳宮崎	16	8
㊴鹿児島	13	8
㊵沖縄	13	4

近畿地区	志願者	入学者
㊶三重	41	12
㊷滋賀	16	4
㊸京都	36	11
㊹大阪	82	20
㊺兵庫	61	17
㊻奈良	29	4
㊼和歌山	17	7

※その他は、帰国生徒、高等等の高校以外、高等学校卒業程度認定試験、私費外国人留学生及び国費外国人留学生等の数である。

平成29年度 学部入学志願者・入学者の出身地区別内訳



学部卒業生数・学位授与者数

学部卒業生数

(平成29年3月31日現在)

区分	旧制 (昭和24年4月 以前入学者)	新制 (昭和24年5月以降入学者)	
		平成28年度	累計
文学部	1,277	208	11,222
教育学部	—	73	6,873
法学部	3,844	170	12,676
経済学部	1,446	288	14,476
理学部	2,747	337	16,838
医学部	3,290	256	8,068
歯学部	—	45	2,606
薬学部	—	82	3,973
工学部	3,953	874	48,239
農学部	679	151	9,173
計	17,236	2,484	134,144

※農学部の旧制には、林学士59名を含む

学位授与者数(修士)

(平成29年3月31日現在)

区分	平成28年度	累計
文学研究科	65	3,517
教育学研究科	32	1,245
法学研究科	6	593
経済学研究科	57	1,395
理学研究科	264	10,058
医学系研究科	90	1,026
歯学研究科	7	79
薬学研究科	55	2,389
工学研究科	712	24,585
農学研究科	122	4,160
国際文化研究科	16	840
情報科学研究科	127	3,053
生命科学研究科	90	1,450
環境科学研究科	98	1,255
医工学研究科	33	290
教育情報学教育部	14	161
計	1,788	56,096

学位授与者数(専門職)

(平成29年3月31日現在)

区分	平成28年度	累計
公共法政策修士(専門職)	24	280
法務博士(専門職)	26	814
会計修士(専門職)	27	369
計	77	1,463

学位授与者数(博士)

(平成29年3月31日現在)

区分	旧制 (昭和28年3月 以前入学者)	新制(課程) (昭和28年4月以降入学者)		新制(論博)	
		平成28年度	累計	平成28年度	累計
文学研究科	96	24	525	7	302
教育学研究科	—	14	194	1	131
法学研究科	38	3	128	0	53
経済学研究科	50	10	290	0	115
理学研究科	944	78	3,073	4	1,266
医学系研究科	3,715	147	3,892	4	3,505
歯学研究科	—	32	795	1	210
薬学研究科	—	20	593	6	583
工学研究科	554	130	5,389	1	2,240
農学研究科	152	22	1,180	0	795
国際文化研究科	—	8	189	0	10
情報科学研究科	—	23	675	0	65
生命科学研究科	—	18	337	1	28
環境科学研究科	—	15	314	1	20
医工学研究科	—	10	60	0	3
教育情報学教育部	—	3	40	0	3
計	5,549	557	17,674	26	9,329



平成29年3月学位記授与式 平成29年3月24日



卒業後の状況 進路状況調(平成28年度卒業・修了)

(平成29年5月1日現在)

学部

区分	卒業者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他	
					県内	県外		
文学部	208 (118)	36 (13)	— —	145 (93)	38 (29)	107 (64)	27 (12)	
教育学部	73 (45)	14 (9)	— —	54 (33)	14 (10)	40 (23)	5 (3)	
法学部	170 (52)	33 (11)	— —	124 (39)	24 (9)	100 (30)	13 (2)	
経済学部	288 (59)	16 (2)	— —	246 (53)	44 (14)	202 (39)	26 (4)	
理学部	337 (60)	286 (52)	— —	37 (7)	3 (1)	34 (6)	14 (1)	
医学部	6年	115 (18)	0 (0)	107 (18)	— —	0 (0)	8 (0)	
	4年	141 (98)	36 (20)	— —	102 (77)	58 (47)	44 (30)	3 (1)
歯学部	45 (15)	0 (0)	39 (13)	0 (0)	— —	0 (0)	6 (2)	
薬学部	6年	20 (7)	2 (0)	— —	16 (5)	3 (2)	13 (3)	2 (2)
	4年	62 (13)	59 (12)	— —	2 (1)	— —	2 (1)	1 (0)
工学部	874 (95)	777 (75)	— —	67 (16)	7 (1)	60 (15)	30 (4)	
農学部	151 (58)	117 (41)	—	28 (14)	5 (3)	23 (11)	6 (3)	
計	2,484 (638)	1,376 (235)	146 (31)	821 (338)	196 (116)	625 (222)	141 (34)	

()は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、試験準備、未就職者等

研究科：前期2年の課程

区分	修了者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他
					県内	県外	
文学研究科	65 (35)	22 (10)	— —	32 (19)	8 (3)	24 (16)	11 (6)
教育学研究科	32 (18)	6 (1)	— —	17 (11)	9 (5)	8 (6)	9 (6)
法学研究科	6 (1)	3 (1)	— —	1 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)
経済学研究科	57 (36)	4 (2)	— —	21 (16)	0 (0)	21 (16)	32 (18)
理学研究科	264 (47)	70 (13)	— —	185 (32)	11 (0)	174 (32)	9 (2)
医学系研究科	50 (32)	9 (5)	— —	39 (26)	14 (11)	25 (15)	2 (1)
薬学研究科	55 (11)	10 (3)	— —	36 (3)	1 (0)	35 (3)	9 (5)
工学研究科	712 (81)	74 (12)	— —	609 (64)	26 (2)	583 (62)	29 (5)
農学研究科	122 (49)	19 (3)	— —	93 (40)	4 (1)	89 (39)	10 (6)
国際文化研究科	16 (9)	2 (0)	— —	8 (4)	2 (1)	6 (3)	6 (5)
情報科学研究科	127 (20)	20 (4)	— —	98 (11)	5 (1)	93 (10)	9 (5)
生命科学研究科	90 (36)	18 (4)	— —	63 (27)	1 (1)	62 (26)	9 (5)
環境科学研究科	98 (15)	15 (6)	— —	75 (7)	1 (0)	74 (7)	8 (2)
医工学研究科	33 (3)	3 (0)	— —	30 (3)	1 (0)	29 (3)	0 (0)
教育情報学教育部	14 (11)	1 (1)	— —	3 (2)	0 (0)	3 (2)	10 (8)
計	1,741 (404)	276 (65)	0 (0)	1,310 (265)	84 (25)	1,226 (240)	155 (74)

()は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、試験準備、未就職者等

研究科：後期3年の課程

区 分	修了者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他	修了者のうち ポストドクター
					県内	県外		
文学研究科	24 (5)	0 (0)	— —	8 (3)	2 (1)	6 (2)	16 (2)	16 (3)
教育学研究科	14 (7)	0 (0)	— —	9 (4)	6 (3)	3 (1)	5 (3)	3 (2)
法学研究科	3 (1)	0 (0)	— —	2 (1)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	— —
経済学研究科	10 (2)	0 (0)	— —	5 (0)	2 (0)	3 (0)	5 (2)	2 (1)
理学研究科	78 (18)	0 (0)	— —	48 (9)	8 (2)	40 (7)	30 (9)	13 (4)
医学系研究科	17 (8)	0 (0)	— —	11 (4)	5 (3)	6 (1)	6 (4)	2 (1)
薬学研究科	18 (4)	1 (0)	— —	14 (2)	1 (0)	13 (2)	3 (2)	2 (0)
工学研究科	130 (12)	0 (0)	— —	92 (5)	12 (0)	80 (5)	38 (7)	10 (0)
農学研究科	22 (6)	0 (0)	— —	18 (5)	6 (3)	12 (2)	4 (1)	4 (3)
国際文化研究科	8 (7)	0 (0)	— —	4 (3)	0 (0)	4 (3)	4 (4)	4 (4)
情報科学研究科	23 (4)	4 (0)	— —	10 (2)	0 (0)	10 (2)	9 (2)	4 (1)
生命科学研究科	18 (7)	0 (0)	— —	10 (4)	5 (1)	5 (3)	8 (3)	5 (2)
環境科学研究科	15 (7)	0 (0)	— —	11 (3)	3 (2)	8 (1)	4 (4)	2 (1)
医工学研究科	10 (3)	0 (0)	— —	8 (2)	3 (1)	5 (1)	2 (1)	1 (0)
教育情報学教育部	3 (1)	0 (0)	— —	3 (1)	2 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
計	393 (92)	5 (0)	0 (0)	253 (48)	56 (17)	197 (31)	135 (44)	68 (22)

()は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、試験準備、未就職者等

研究科：修士課程

区 分	修了者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他
					県内	県外	
医学系研究科	40 (23)	14 (8)	— —	16 (8)	6 (2)	10 (6)	10 (7)
歯学研究科	7 (5)	1 (0)	— —	6 (5)	5 (4)	1 (1)	0 (0)
計	47 (28)	15 (8)	0 (0)	22 (13)	11 (6)	11 (7)	10 (7)

()は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、試験準備、未就職者等

研究科：博士課程

区 分	修了者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他	修了者のうち ポストドクター
					県内	県外		
医学系研究科	130 (39)	0 (0)	— —	101 (22)	71 (20)	30 (2)	29 (17)	2 (0)
歯学研究科	32 (12)	0 (0)	— —	18 (6)	13 (3)	5 (3)	14 (6)	4 (0)
薬学研究科	2 (0)	0 (0)	— —	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)
計	164 (51)	0 (0)	0 (0)	120 (28)	84 (23)	36 (5)	44 (23)	6 (0)

()は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、試験準備、未就職者等

研究科：専門職学位課程

区 分	修了者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他
					県内	県外	
法学研究科	24 (4)	0 (0)	— —	23 (4)	5 (1)	18 (3)	1 (0)
法学研究科(法科大学院)	26 (7)	0 (0)	— —	1 (1)	— —	1 (1)	25 (6)
経済学研究科	27 (8)	0 (0)	— —	12 (4)	2 (0)	10 (4)	15 (4)
計	77 (19)	0 (0)	0 (0)	36 (9)	7 (1)	29 (8)	41 (10)

()は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、試験準備、未就職者等

産業別就職者数

(平成29年5月1日現在)

学部

区分	文学部	教育学部	法学部	経済学部	理学部	医学部	歯学部	薬学部	工学部	農学部	計
農業、林業、漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	3	0	5	4	0	0	0	0	7	0	19
製造業	11	1	9	43	1	0	0	3	28	4	100
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	5	7	1	0	0	0	2	0	15
情報通信業	21	9	11	23	10	0	0	0	9	1	84
運輸業、郵便業	6	1	1	4	0	0	0	0	3	0	15
卸売業、小売業	8	3	2	12	0	0	0	3	0	3	31
金融業、保険業	19	12	26	68	11	0	0	0	0	4	140
不動産業、物品賃貸業	2	0	2	7	1	0	0	0	1	0	13
学術研究、専門・技術サービス業	6	0	1	2	4	0	0	3	3	2	21
宿泊業、飲食サービス業	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
生活関連サービス業、娯楽業	4	0	1	2	0	0	0	0	0	0	7
教育、学習支援業	15	3	1	2	6	0	0	0	2	0	29
医療、福祉	2	1	1	0	0	102	0	7	0	0	113
複合サービス事業	3	0	3	7	0	0	0	0	0	1	14
サービス業(他に分類されないもの)	2	2	3	14	1	0	0	0	2	1	25
公務(国家公務)	15	5	17	19	1	0	0	1	3	2	63
公務(地方公務)	28	17	36	31	0	0	0	1	5	8	126
その他	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	3
計	145	54	124	246	37	102	0	18	67	28	821

大学院

区分	文学研究科	教育学研究科	法学研究科	経済学研究科	理学研究科	医学系研究科	歯学研究科	薬学研究科	工学研究科	農学研究科	国際文化研究科	情報科学研究科	生命科学研究科	環境科学研究科	医工学研究科	教育情報学教育部	計
農業、林業、漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	3
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3
建設業	0	0	0	0	2	0	0	0	51	0	0	2	0	3	0	0	58
製造業	2	0	1	7	98	4	1	43	443	54	2	44	34	56	23	0	812
電気・ガス・熱供給・水道業	0	1	1	1	3	0	0	0	46	0	0	1	0	8	0	0	61
情報通信業	6	1	4	8	50	1	0	1	35	2	0	39	9	1	4	3	164
運輸業、郵便業	0	0	1	1	0	0	0	0	24	1	0	2	0	3	1	0	33
卸売業、小売業	1	0	0	4	2	0	0	1	3	6	3	1	2	2	0	0	25
金融業、保険業	0	0	6	3	7	0	0	0	4	0	0	0	1	0	1	0	22
不動産業、物品賃貸業	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	5
学術研究、専門・技術サービス業	2	2	4	4	37	13	0	2	36	21	1	4	11	5	3	0	145
宿泊業、飲食サービス業	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
生活関連サービス業、娯楽業	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	9
教育、学習支援業	15	13	1	4	19	20	4	0	17	4	5	2	5	2	2	3	116
医療、福祉	4	1	0	0	1	125	19	1	0	1	0	0	3	0	3	0	158
複合サービス事業	0	0	0	2	0	1	0	1	5	5	0	2	1	0	0	0	17
サービス業(他に分類されないもの)	1	0	1	0	0	0	0	0	5	0	0	6	3	1	0	0	17
公務(国家公務)	1	2	4	2	7	1	0	0	9	3	0	0	2	0	1	0	32
公務(地方公務)	5	3	4	1	3	2	0	2	16	11	0	0	0	2	0	0	49
その他	0	3	0	0	0	0	0	0	3	1	1	0	0	2	0	0	10
計	40	26	27	38	233	167	24	51	701	111	12	108	73	86	38	6	1,741

学友会

大学の学問以外に、文化、体育などに関する自発的な活動のための全学的な組織が学友会です。

学友会は、本学の教職員・学生の全員で組織され、会員の会費により、その運営（大学祭、新入生歓迎会、海上運動会、サークル活動等の援助）が行われています。

中央各部

部名	部長名	部局	職名
総務部	小田中直樹	経済学研究科	教授
文化部	末光 真希	電気通信研究所	教授
体育部	永富 良一	医工学研究科	教授
報道部	尾崎 彰宏	文学研究科	教授

文化部

部名	部長名	部局	職名
1 男声合唱部	小原 隆博	理学研究科	教授
2 混声合唱部	八畷 友広	教育学研究科	教授
3 交響楽部	福島 洋	災害科学国際研究所	教授
4 文芸部			
5 美術部	芳賀 京子	文学研究科	教授
6 映画部	佐野健太郎	情報科学研究科	准教授
7 演劇部	荻原 理	文学研究科	准教授
8 写真部	長岡 龍作	文学研究科	教授
9 茶道部	工藤 純一	東北アジア研究センター	教授
10 能楽部	片岡 龍	文学研究科	准教授
11 邦楽部	長谷川 晃	工学研究科	教授
12 放送研究部	村岡 裕明	電気通信研究所	教授
13 アマチュア無線部	菅沼 拓夫	サイバーサイエンスセンター	教授
14 落語研究部	山崎 武	理学研究科	准教授
15 E. S. S. 部	木村 敏明	文学研究科	教授
16 囲碁部	徳山 豪	情報科学研究科	教授
17 奇術部	金子 俊郎	工学研究科	教授
18 軽音楽部	亀田 卓	電気通信研究所	准教授
19 マンドリン楽部	川又 政征	工学研究科	教授
20 化学部	飛田 博実	理学研究科	教授
21 オーディオ研究部	金崎 芳輔	経済学研究科	教授
22 吹奏楽部	木村 邦博	文学研究科	教授
23 将棋部	高瀬 圭	医学系研究科	教授
24 書道部	猪股 宏	工学研究科	教授
25 生活部	井上 千弘	環境科学研究科	教授
26 アカペラコーラス部	末松 和子	高度教養教育・学生支援機構	教授



男子バスケットボール部

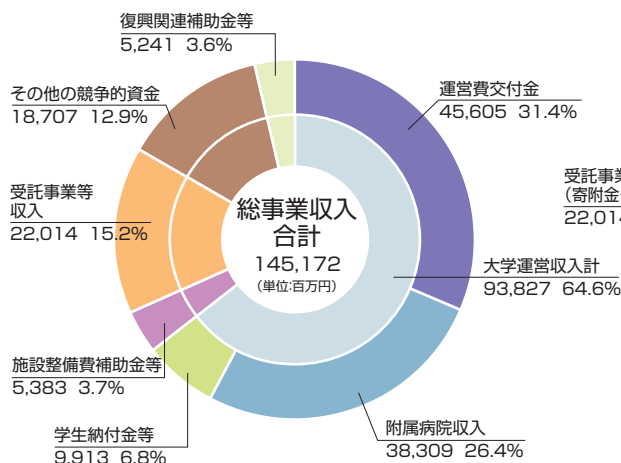
体育部

部名	部長名	部局	職名
1 陸上競技部	佐藤 源之	東北アジア研究センター	教授
2 硬式野球部	長谷川史彦	未来科学技術共同研究センター	教授
3 準硬式野球部	西村 太志	理学研究科	教授
4 硬式庭球部	宮澤 陽夫	未来科学技術共同研究センター	教授
5 軟式庭球部	須藤 祐司	工学研究科	准教授
6 ラグビー部	荒井 陽一	医学系研究科	教授
7 男子バレーボール部	長坂 徹也	工学研究科	教授
女子バレーボール部			
8 蹴球部	亀井 尚	医学系研究科	教授
9 男子バスケットボール部	須藤 彰三	理学研究科	教授
女子バスケットボール部			
10 卓球部	篠田 弘造	多元物質科学研究所	准教授
11 山岳部	押谷 仁	医学系研究科	教授
12 水泳部	永富 良一	医工学研究科	教授
13 漕艇部	石井 誠一	医学系研究科	准教授
14 ヨット部	田中 真美	医工学研究科	教授
15 スケート部	永富 良一	医工学研究科	教授
16 乗馬部	水田健太郎	歯学研究科	准教授
17 バドミントン部	玉川 明朗	医学系研究科	准教授
18 柔道部	落合 芳博	農学研究科	教授
19 スキー部	日出間 純	生命科学研究所	准教授
20 ハンドボール部	風間 基樹	工学研究科	教授
21 航空部	伊藤 高敏	流体科学研究所	教授
22 剣道部	福土 審	医学系研究科	教授
23 弓道部	笹野 泰之	歯学研究科	教授
24 空手道部	大滝 精一	経済学研究科	教授
25 自動車部	田中 秀治	工学研究科	教授
26 ワンダーフォーゲル部	植松 康	工学研究科	教授
27 ゴルフ部	西澤 松彦	工学研究科	教授
28 合気道部	珠玖 仁	工学研究科	教授
29 フェンシング部	佐藤 明	医学系研究科	准教授
30 応援団	八重樫伸生	病院	教授
31 サイクリング部	中井 裕	農学研究科	教授
32 ボディビル部	宮腰 英一	教育学研究科	教授
33 少林寺拳法部	米山 裕	農学研究科	准教授
34 体操部	綿村 哲	理学研究科	准教授
35 アメリカンフットボール部	池尾 恭一	教育学研究科	准教授
36 オリエンテーリング部	窪 俊一	情報科学研究科	准教授
37 競技舞蹈部	福山 博之	多元物質科学研究所	教授
38 アーチェリー部	中山 亨	工学研究科	教授
39 トライアスロン部	宗政 昭弘	情報科学研究科	教授
40 男子ラクロス部	吉岡 敏明	環境科学研究科	教授
女子ラクロス部			
41 レーシングカート部	中村 智樹	理学研究科	教授
42 新極真カラテ部	石井 圭一	農学研究科	准教授
43 相撲部	阿部 宏	文学研究科	教授
44 ソフトボール部	徳山 豪	情報科学研究科	教授
45 中国武術部	佐竹 保子	文学研究科	教授
46 防具空手道部	高橋 英志	環境科学研究科	准教授
47 人力飛行部	中村 寿	流体科学研究所	准教授
48 フットサル部	堀井 明	医学系研究科	教授

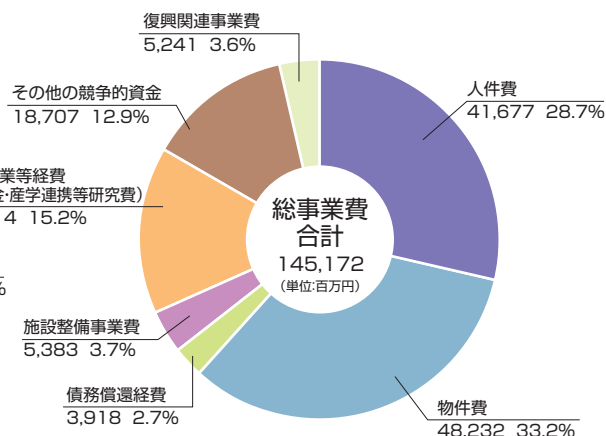
他 準加盟・登録 98 団体

■ 平成28年度収入・支出予算

収入予算総額



支出予算総額



■ 研究費等受入状況

(平成28年度)

科学研究費助成事業交付実績

研究種目	採択件数 (件)	交付額 (千円)		
		直接経費	間接経費	計
特別推進研究	6	497,150	149,145	646,295
新学術領域研究	146	1,231,470	369,420	1,600,890
基盤研究 (S・A・B・C) ※	1,319	4,443,270	1,330,410	5,773,680
挑戦的萌芽研究 ※	447	538,800	161,640	700,440
若手研究 (S・A・B) ※	473	900,200	270,060	1,170,260
研究活動スタート支援	67	71,400	21,420	92,820
奨励研究	9	4,510	0	4,510
研究成果公開促進費 (学術図書・データベース)	3	7,500	0	7,500
特別研究員奨励費	329	292,400	15,870	308,270
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化)	25	264,700	79,410	344,110
計	2,824	8,251,400	2,397,375	10,648,775

※基金、一部基金分を含む

寄附金・受託研究等契約実績

区分	件数 (件)	受入金額 (千円)		
寄附金	3,243	4,652,344		
民間等との共同研究	1,106	3,877,812		
一般	410	6,186,765		
受託研究等経費	受託研究	競争的資金	348	7,450,802
小計	758	13,637,567		
小計	1,864	17,515,379		
学術指導	270	156,237		
計	5,377	22,323,960		

研究費等受入状況

その他補助金交付実績

経費	採択件数(件)	交付額(千円)		
		直接経費	間接経費	計
科学技術人材育成費補助金	4	126,639	0	126,639
地域産学官連携科学技術振興事業費補助金	1	344,237	0	344,237
先導的創造科学技術開発費補助金	1	38,900	0	38,900
厚生労働科学研究費補助金	9	137,762	41,222	178,984
国際研究拠点形成促進事業費補助金	1	1,241,101	0	1,241,101
研究拠点形成費等補助金	5	788,684	0	788,684
戦略的国際研究交流推進事業費補助金	1	29,990	200	30,190
環境研究総合推進費補助金	4	42,835	11,935	54,769
環境技術等研究開発推進事業費補助金	1	341,765	0	341,765
大学改革推進等補助金	2	17,514	0	17,514
海洋生態系研究開発拠点機能形成事業費補助金	1	224,000	0	224,000
国際化拠点整備事業費補助金	3	32,120	0	32,120
国際化拠点整備事業費補助金(スーパーグローバル大学創成支援)	1	295,608	32,600	328,208
加速器科学総合支援事業	2	1,200	0	1,200
情報知能システム研究センター支援補助金	1	26,954	0	26,954
医薬品等審査迅速化事業費補助金	2	63,000	0	63,000
原子力人材育成等推進事業費補助金	2	19,426	0	19,426
中小企業経営支援等対策費補助金	19	146,037	17,795	163,832
医療施設運営費等補助金	2	807	0	807
実践的な手術手技向上研修事業	1	7,423	0	7,423
研究大学強化促進費補助金	1	344,741	0	344,741
新人看護職員研究事業補助金	1	1,820	0	1,820
地域医療再生事業補助金	3	129,216	0	129,216
地域医療復興事業補助金	2	1,226,560	0	1,226,560
東日本大震災復興地域産学官連携科学技術振興事業費補助金	2	362,754	0	362,754
素材技術研究開発拠点形成事業費補助金	1	736,793	0	736,793
国立大学改革強化推進事業	1	176,000	0	176,000
地域医療介護総合確保基金	12	187,494	0	187,494
医療研究開発推進事業費補助金	14	4,828,147	26,636	4,854,784
感染症予防事業費等国庫負担(補助)金	3	76,541	0	76,541
老人保健健康増進等事業	1	15,000	0	15,000
地域経済産業活性化対策費補助金	1	347	0	347
宮城県地域災害拠点病院施設整備事業費補助金	1	11,961	0	11,961
我が国周辺水産資源調査・評価推進事業	1	961	0	961
事業所内保育施設助成金	1	4,739	0	4,739
移植対策(造血幹細胞)事業費補助金	1	24,543	0	24,543
事業所内保育施設設置・運営等助成金	1	4,998	0	4,998
病院内保育所運営事業補助金	1	2,334	0	2,334
大学教育再生戦略推進費	1	73,039	6,961	80,000
被災者支援総合交付金	1	4,880	0	4,880
地産地消型再生可能エネルギー面的利用等推進事業費補助金	1	1,061	0	1,061
地域ひとつくり総合推進費	1	24,000	0	24,000
木の香る公共建築・おもてなし普及促進事業補助金	1	1,000	0	1,000
湯沢市ゆざわジオパーク学術研究等奨励補助金	1	253	0	253
山梨県若手研究者奨励事業費補助金	1	1,000	0	1,000
地域復興実用化開発等促進事業費補助金	1	10,780	530	11,310
企業主導型保育事業助成金	1	4,335	0	4,335
医療提供体制推進事業費補助金	1	51	0	51
宮城県受入困難事案受入医療機関支援事業補助金	1	1,065	0	1,065
宮城県モバイル・アセスメント・システム導入促進事業補助金	1	4,919	0	4,919
肝炎情報センター戦略的強化事業委託費	1	690	0	690
計	124	12,188,025	137,879	12,325,904

(平成29年5月1日現在)

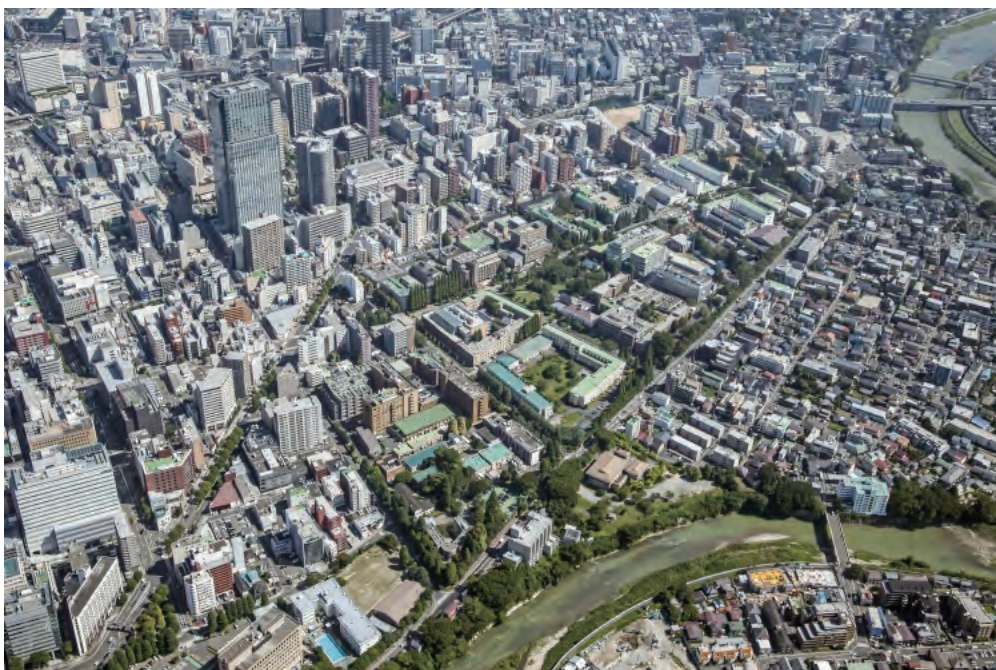
(単位：㎡)

地区名／面積		土地			建物				
		所有	借入	計	所有	借入	計		
宮城県	仙台市	片平地区	229,582	31	229,613	200,105	—	200,105	
		米ヶ袋地区	3,231	—	3,231	512	—	512	
		川内・青葉山地区	2,561,166	15,901	2,577,067	586,575	—	586,575	
		星陵地区	179,155	59	179,214	317,203	—	317,203	
		雨宮地区	92,746	—	92,746	30,847	—	30,847	
		三条地区	52,911	—	52,911	26,145	—	26,145	
		富沢地区	113,877	—	113,877	9,078	—	9,078	
		評定河原地区	18,668	—	18,668	781	—	781	
		東仙台地区	3,705	—	3,705	2,026	—	2,026	
		郷六地区	—	399	399	26	—	26	
		南吉成地区	—	3,287	3,287	2,509	—	2,509	
		秋保地区	—	4	4	—	20	20	
		北中山地区	—	58	58	—	—	—	
		芋沢地区	—	30	30	—	—	—	
		柏木地区	4,402	—	4,402	—	—	—	
		長町地区	—	—	—	—	38	38	
		八幡地区	1,327	—	1,327	—	—	—	
		茂庭地区	—	1,825	1,825	—	—	—	
		仙台市内各所 (地震観測点)	—	—	—	—	5	5	
		学生寄宿舎	28,308	—	28,308	23,313	—	23,313	
		職員宿舎	80,439	—	80,439	42,708	—	42,708	
		小計	3,369,517	21,594	3,391,111	1,241,828	63	1,241,891	
		仙台市外	蔵王地区	—	30,405	30,405	399	9	408
			七ヶ浜地区	—	528	528	383	3	386
			女川・牡鹿地区	25,312	43,341	68,653	2,864	—	2,864
			鹿島台地区	10,077	—	10,077	270	1	271
			鳴子・川渡地区	18,541,862	3,613	18,545,475	20,227	5	20,232
	岩沼地区		—	812	812	—	533	533	
	釜房地区		—	3,557	3,557	691	763	1,454	
	気仙沼地区		—	112	112	—	371	371	
	米山地区		—	2,000	2,000	101	—	101	
	若柳地区		—	100	100	12	—	12	
その他の地区	—		463	463	—	4,187	4,187		
職員宿舎	3,562		—	3,562	59	—	59		
小計	18,580,813		84,931	18,665,744	25,006	5,872	30,878		
計	21,950,330		106,525	22,056,855	1,266,834	5,935	1,272,769		

(平成29年5月1日現在)

(単位：㎡)

地区名／面積	土 地			建 物		
	所 有	借 入	計	所 有	借 入	計
宮城県外						
青森県	28,506	77,035	105,541	2,687	491	3,178
秋田県	1,049	7,071	8,120	627	—	627
山形県	—	1,523	1,523	298	13	311
岩手県	10,014	16,094	26,108	873	18	891
福島県	990	26,052	27,042	154	122	276
新潟県	—	315	315	6	4	10
東京都	—	—	—	—	5,266	5,266
埼玉県	660	1	661	739	—	739
茨城県	4,541	12,161	16,702	5,787	—	5,787
栃木県	—	695	695	70	—	70
岐阜県	—	716	716	424	—	424
福井県	—	107	107	—	—	—
兵庫県	—	—	—	—	287	287
計	45,760	141,770	187,530	11,665	6,201	17,866
合計	21,996,090	248,295	22,244,385	1,278,499	12,136	1,290,635



片平キャンパス 上空から

災害復興新生研究機構

東北大学災害復興新生研究機構は、東日本大震災からの復興に寄与する研究・教育・社会貢献等に全学を挙げて取り組み、その成果を社会に発信・実践するため、震災直後の平成23年4月に設置された組織です。東北大学は、被災地域の中心にある総合大学として、復興に全力を傾けていく歴史的使命があります。行政・地域との連携を図りながら、東北復興・日本新生の先導を目指して、8つのプロジェクトと復興アクション100⁺を展開しています。

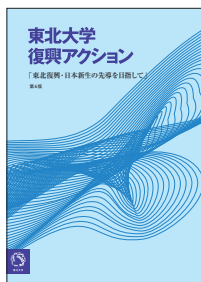
災害復興新生研究機構 8つのプロジェクト

プロジェクト	内 容
災害科学国際研究推進プロジェクト	世界的災害科学研究の拠点である災害科学国際研究所(IRIDeS)は、東日本大震災の経験と教訓を踏まえ、災害に強い社会を構築するための調査研究と社会貢献活動を展開しています。従来の災害研究を発展させた、巨大地震・津波の発生メカニズムの解明のほか、災害後の生活再建や災害教訓の語り継ぎなど、文系・理系の垣根を越えた「実践的防災学」研究に取り組んでいます。
地域医療再構築プロジェクト	総合地域医療研修センターは、東日本大震災で被災した医療従事者を受け入れ、先端医療に携わる機会を提供することにより、地域医療を担う人材の育成と生涯教育に貢献しています。また、東北メディカル・メガバンク機構では、被災地住民の長期健康調査を行うとともに、同意のもとで収集された医療情報をデータベース化し、ゲノム医療や創薬研究に向けた基盤形成を目指しています。
環境エネルギープロジェクト	東日本大震災の被災地の復興と我が国のエネルギー問題克服のため、東北大学が中心となり、参画する大学と被災自治体の協力を得て、地域の風土・特性に合った次世代エネルギー、エネルギー管理システムの構築を目指しています。
情報通信再構築プロジェクト	東日本大震災では、通信回線の途絶、情報収集不能、発信情報の不足など情報通信(ICT)の課題が明らかになりました。電気通信研究機構は、独立行政法人情報通信研究機構(NICT)と連携し、災害に強い情報通信ネットワークの開発・実証拠点を形成します。
東北マリンサイエンスプロジェクト	地震・津波が東北沿岸域の海洋環境・海洋生態系に与えた影響と回復過程を科学的に明らかにし、東北の海の復興に貢献することを目指しています。東北大学、東京大学大気海洋研究所、独立行政法人海洋研究開発機構が中心となり、全国の研究者の参画と、漁業関係者等の協力を得て調査研究に取り組んでいます。
放射性物質汚染対策プロジェクト	生活環境早期復旧技術研究センターは、土壌の除染や汚染検査技術の開発など、放射性物質によって汚染された生活環境の復旧技術の開発を推進しています。また、被災動物の包括的線量評価事業では、原子力事故に関連して殺処分された家畜や野生動物における放射性物質の体内分布の調査とアーカイブの構築を行っています。
地域産業復興支援プロジェクト	地域社会にインパクトを与えるための調査研究として、東北の水産業(特に水産加工業)のイノベーションに取り組む「東北発水産業イノベーションプロジェクト」を推進するとともに、地域中小企業の若手経営者等を育成する「地域イノベーションプロデューサー塾」「地域イノベーションアドバイザー塾」を通して、東北地域の産業・社会の復興を支援しています。
復興産学連携推進プロジェクト	被災地の経済復興の基本となる産業基盤の革新・強化のためには、産・学・官の連携が欠かせません。宮城県の産業界や自治体との連携をより強くし、文部科学省、経済産業省等の復興施策を十分に活用しながら、大学がもつ技術シーズを被災地企業において活用・実用化することにより、復興に貢献します。

復興アクション100⁺

復興アクション100⁺は、東北大学教職員が自発的に取り組む100以上の復興支援プロジェクトです。災害復興新生研究機構では、それらのプロジェクトの情報集約・活動支援を行っています。

災害復興新生研究機構は、パンフレットの発行やウェブサイト、シンポジウムの開催を通して、復興に向けた東北大学の取り組み状況とその成果を学内外に発信しています。



パンフレット



災害復興新生研究機構ウェブサイト



平成29年3月 災害復興新生研究機構シンポジウムの開催

革新的イノベーション創出プログラム (COI STREAM)

事業実施期間：平成25年度～平成33年度

研究開発テーマ	拠点名称	拠点概要
センター・オブ・イノベーション (COI) プログラム	さりげないセンシングと日常人間ドックで実現する理想自己と家族の絆が導くモチベーション向上社会創出拠点	超小型高性能で安全な、飲みみ型、絆創膏型、非接触型等のセンサを開発し、日常生活の中から行動や心身の情報をさりげなく収集することによって、常に自分や家族の生活様や健康状態がわかり、周囲が見守り支援することにより「強い絆」を構築することを通じて、不安のない安寧な、生きがいにあふれた社会を創ります。

○実現の鍵となる研究開発テーマ

- 日常生活から常に体調や環境などのデータをさりげなく収集する先進的なセンサ技術 (自律駆動型超低電力・MEMS)
- 個人の膨大な健康情報を一元管理して個人の健康に活用したり、セキュリティ下で二次利用することを通じ健康に限らず、広く社会の利便性向上や種々の課題解決に役立つ新産業創出を加速化する技術 (プライベートクラウド PHR)
- 個人のゲノム情報による体質やセンサによって得られたデータから健康的なライフスタイルを「見える化」して提案したり、離れた家族を間近で見守る高度な手法 (週刊健康予報)

研究大学強化促進事業

事業実施期間：平成25年度～平成34年度

プログラム名	プログラム概要
研究大学強化促進事業	近年、我が国の論文数等の国際的シェアは相対的に低下傾向にあり大学等における研究体制・研究環境の全学的・継続的な改善や、研究マネジメント改革などによる国際競争力の向上が課題となっています。このような状況を踏まえ、世界水準の優れた研究活動を行う大学群を増強し、我が国全体の研究力の強化を図るために文部科学省が行う、大学等による研究マネジメント人材群の確保や集中的な研究環境改革等の研究力強化の取組を支援する平成25年度から平成34年度までの事業です。

○実現の鍵となる研究開発テーマ

- 研究推進・支援機構に設置されているリサーチ・アドミニストレーションセンターを充実し、世界の研究・社会動向と本学の研究力を解析することで、研究戦略を“見える化”によって立案支援するとともに、ベンチマーク大学や研究機関・研究者を選定し、それらの大学等からの訪問・滞在研究者を増加させる。
- 人類社会の共通課題解決に貢献し、東北大学発の先駆的研究領域を開発するため、訪問滞在型研究センター「東北大学知のフォーラム」を設置する。

名称	フォーラム概要
東北大学知のフォーラム	知のフォーラムは国際的に開かれた訪問滞在型研究プログラムとして平成25年より開始。人類共通の課題や世界動向を踏まえた多様な分野の中から戦略研究テーマを設定し、そのテーマを牽引するノーベル賞級の研究者を招いて1～3カ月間じっくり研究を進め、新たな知見や融合領域の研究を創出するものです。また、滞在研究者と学生を含む若手研究者との交流の機会を広く設けることにより、研究の進展を図り、国際的人材育成にも貢献します。

- 「海外リサーチ・ステーション」を置き、将来のグローバル・リーダーとなる若手研究者を中長期海外の研究機関に滞在させ、そこで生まれたアイデアを熟成するための国際共同研究・国際共同プロジェクトを格段に増加させる。
- 訪問滞在研究者が円滑に定着するための支援を行う「リサーチ・レセプションセンター」や「国際対応事務部門」などの受入れ体制を整備し、リサーチ・レセプションセンター機能を有する高等研究機構等事務部国際推進係等を核に東北大学の事務国際化を加速する。

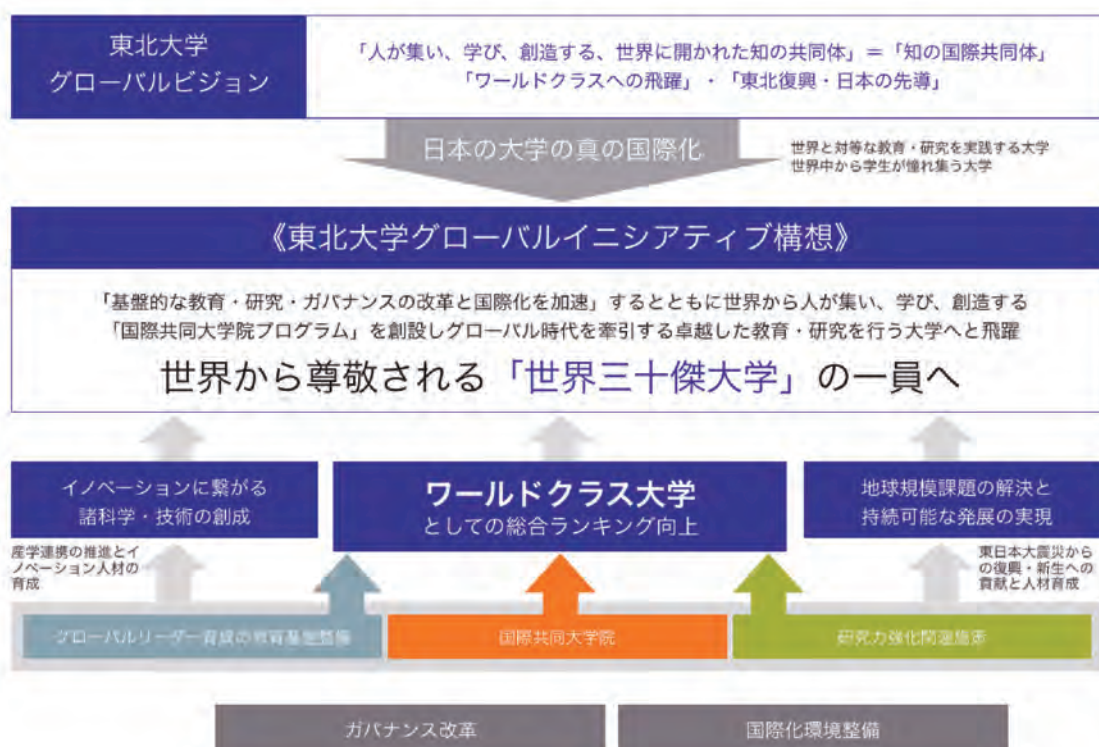
■ スーパーグローバル大学創成支援

東北大学は、グローバル30や経済社会の発展をけん引するグローバル人材育成支援をはじめとする教育の国際化と、知のフォーラムやAIMRをはじめとする研究の国際化に関する先進的な取組を推進してきた実績をさらに加速するため、平成26年度に文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援(トップ型)」に申請し採択されました。この事業は、我が国の高等教育の国際競争力の向上を目的に、海外の卓越した大学との連携や大学改革により“徹底した国際化”を進める大学に対し重点支援が行われ、トップ型には本学を含む13大学が採択されています。

本学が掲げる「東北大学グローバルイニシアティブ構想」は、グローバル時代を牽引する卓越した教育・研究を行う大学へと飛躍し、世界がその実力や実績を認め、敬意を持って評される大学となることを目指すためのものです。本構想実現のために、総長のリーダーシップによる機動的体制整備の一環として「機構化」による運営を取り入れ、機能結集型ガバナンスの実行を伴いながら主に以下の取組を行います。

グローバルイニシアティブ構想の 主な取組	事業概要
国際共同大学院プログラム	東北大学の強みや潜在性の分析をもとに、本学が力を発揮し世界を牽引できる分野、今後の発展が期待できる分野、人類が直面している課題・地球規模の問題に挑戦する分野において海外有力大学との強い連携のもと共同教育を実施する7つの「国際共同大学院プログラム」群を創出するものです。平成28年度には、環境・地球科学国際共同大学院プログラム(Graduate Program in Earth and Environmental Sciences :GP-EES)が開始され、ドイツ・バイロイト大学等と連携し世界的な視野でアカデミアならびに産業界を牽引する人材を育成します。
グローバルリーダー育成の教育基盤整備(FGLプログラム、TGLプログラム、国際共同教育)	「国際化拠点整備事業(グローバル30)」より推進してきた“Future Global Leadership (FGL) Program”をさらに発展させ、この10年に全ての研究科が英語で学位取得できる国際コースへ参画することを目指します。 「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援(全学推進型)」により進めてきた「東北大学グローバルリーダー育成プログラム(TGLプログラム)」を継続・発展させ、グローバルリーダーとしての素養を身に付けた学部学生の育成を推進します。
	海外の大学との組織的・継続的な教育連携を構築するため、国際共同大学院プログラム以外にも、複数の研究科で行っているダブルディグリープログラム等を積極的に推進します。

Ⅰ 東北大学スーパーグローバル大学構想



教育

文部科学省が行っている「国公立大学を通じた大学教育再生の戦略的推進」の各プログラム等に、本学での以下の取組が採択されています。

博士課程教育リーディングプログラム

優秀な学生を広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、専門分野の枠を超えて世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進する事業です。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内 容
平成24年度～平成30年度	工学研究科、理学研究科、文学研究科、災害科学国際研究所等 12部局	グローバル安全学トップリーダー育成プログラム	東日本大震災に代表されるグローバルデザスターから人命・社会・産業を守ることに貢献できるグローバル安全学リーダーをアカデミアのみならず、世界的企業や国際機関などの多様な分野に輩出することを目指します。
平成25年度～平成31年度	工学研究科、理学研究科等 11部局	マルチディメンション物質理工学リーダー養成プログラム	多角的な視点や手法で物質・材料を理解し、新しい物質デザイン思想を現実化するだけの広く確かな基礎知識と幅の広い研究経験を有する物質リーダーとして、主に産業界で即戦力として活躍できる人財育成を目指します。

未来医療研究人材養成拠点形成事業

急速に進展する高齢化等に伴う医療課題の解決に貢献し、国内外の医学・医療の発展を強力に推進するため、新規性・独創性の高い特色ある取組を支援します。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内 容
平成25年度～平成29年度	病院	コンダクター型総合診療医の養成	従来、大学病院と地域病院とでそれぞれ独立に行われてきた先端臨床医学教育、実践的総合診療トレーニング、医療マネジメント学習を大学病院と地域病院とが一体で実施し、地域医療に従事しながら医療スキル、医師・研究者キャリアアップを可能にします。

成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成(enPiT)

情報技術を高度に活用して社会の具体的な課題を解決できる人材の育成機能を強化するため、産学協働の実践教育ネットワークを形成し、課題解決型学習(PBL)等の実践的な教育を推進し広く全国に普及させることを目的としています。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内 容
平成28年度～平成32年度	情報科学研究科	情報セキュリティ分野の実践的人材育成コースの開発・実施	成長分野であり国家的に喫緊の課題であるサイバーセキュリティ分野の人材として、先進技術の知識に加え、理解・応用できる実践的能力の育成を指向して、教育コースを開発し実施します。

本学でも独自に以下の取り組みを行っています。

特色ある教育への取り組み

実践的英語能力をさらに高めることを目的に、学部学生及び大学院学生を対象とした課外授業を実施しています。また、平成25年度より東北大学グローバルリーダー育成プログラムの一つとなり、このコースに参加し修了することでTGLポイントを取得できます。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内 容
平成17年度～	高度教養教育・学生支援機構	プラクティカル・イングリッシュコース	ネイティブスピーカーを講師とし、ディスカッションやプレゼンテーションを中心に実践の場で必要とされる英語能力取得を目指します。

若手研究者の養成を推進するため、優れた学生を「修士研究教育院生」「博士研究教育院生」として選抜し、各種支援を行っています。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内 容
平成19年度～	学位プログラム推進機構 学際高等研究教育院	修士・博士研究教育院生制度	各研究科等との連携を通じて、異分野の融合領域における新たな研究分野の研究成果を基盤とした教育に関する研究開発、企画及び支援を行うことにより、新たな総合的知を創造し、かつ、国際的に通用する若手研究者の育成を目指します。

■ 寄附講座・寄附研究部門

寄附講座・寄附研究部門は、企業などからの寄附金によって、大学における教育・研究の豊富化、活性化を図ることを目的として、「寄附講座」(大学院研究科・専攻に置く場合)又は「寄附研究部門」(附置研究所などに置く場合)を設置し、運営する制度です。

(平成29年5月1日現在)

寄附講座

設置年度	部局名	名称	設置期間
平成29年度(継続)	医学系研究科	先進感染症予防学	平成29年4月1日～平成32年3月31日
平成29年度	医学系研究科	スポーツ・運動機能再建医学	平成29年4月1日～平成32年3月31日
平成29年度(継続)	環境科学研究科	環境物質政策学(DOWA ホールディングス)	平成29年4月1日～平成32年3月31日
平成29年度(継続)	文学研究科	実践宗教学	平成29年4月1日～平成31年3月31日
平成28年度	医学系研究科	神経電磁気生理学	平成29年2月1日～平成31年3月31日
平成28年度	生命科学系研究科	微生物進化機能開発	平成28年10月1日～平成34年3月31日
平成28年度(継続)	医学系研究科	大動脈疾患治療開発学	平成28年4月1日～平成31年3月31日
平成28年度(継続)	医学系研究科	多発性硬化症治療学	平成28年5月1日～平成31年4月30日
平成28年度	医学系研究科	漢方・統合医療学	平成28年4月1日～平成31年3月31日
平成28年度	医学系研究科	眼科画像情報解析学	平成28年4月1日～平成31年3月31日
平成28年度	医学系研究科	先進呼吸管理学	平成28年4月1日～平成31年3月31日
平成27年度	医学系研究科	難治性高血圧・内分泌代謝疾患地域連携	平成27年6月1日～平成30年5月31日
平成27年度(継続)	医学系研究科	視覚先端医療学	平成27年4月1日～平成30年3月31日
平成27年度(継続)	医学系研究科	統合腎不全医療	平成27年4月1日～平成30年3月31日
平成27年度(継続)	医学系研究科	網膜疾患制御学	平成27年4月1日～平成30年3月31日
平成27年度	農学研究科	家畜生産機能開発学	平成27年4月1日～平成30年3月31日
平成27年度	農学研究科	微生物資源学	平成27年4月1日～平成32年3月31日
平成26年度(継続)	医学系研究科	予防精神医学	平成26年10月1日～平成29年9月30日
平成26年度(設置部局変更)	医工学研究科	糖尿病制御医工学	平成26年4月1日～平成30年3月31日
平成25年度(継続)	薬学研究科	医薬開発構想	平成25年4月1日～平成30年3月31日
平成24年度(継続)	医学系研究科	循環器先端医療開発学	平成24年10月1日～平成29年9月30日
平成24年度(継続)	医学系研究科	循環器 EBM 開発学	平成24年10月1日～平成29年9月30日

寄附研究部門

設置年度	部局名	名称	設置期間
平成29年度(継続)	加齢医学研究所	抗感染症薬開発	平成29年4月1日～平成30年3月31日
平成29年度(継続)	加齢医学研究所	認知機能発達(公文教育研究会)	平成29年4月1日～平成32年3月31日
平成29年度(継続)	東北アジア研究センター	上廣歴史資料学	平成29年4月1日～平成34年3月31日
平成29年度(継続)	サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	高齢者高次脳医学	平成29年4月1日～平成31年3月31日
平成28年度	東北メディカル・メガバンク機構	災害交通医療情報学	平成28年5月1日～平成31年3月31日
平成27年度(継続)	災害科学国際研究所	地震津波リスク評価(東京海上日動)	平成27年4月1日～平成30年3月31日
平成26年度	東北メディカル・メガバンク機構	コホートゲノム情報解析	平成26年10月1日～平成31年3月31日
平成26年度	東北メディカル・メガバンク機構	ゲノム医学普及啓発	平成26年10月1日～平成31年3月31日
平成26年度(継続)	加齢医学研究所	高齢者薬物治療開発	平成26年7月1日～平成29年6月30日

■ 共同研究講座・共同研究部門

共同研究講座・共同研究部門は、企業などから資金の他に研究者などを受け入れて、大学教員と目的を共有し、研究成果の実用化などを見据えた共同研究を促進することを目的として、「共同研究講座」(大学院研究科・専攻に置く場合)又は「共同研究部門」(附置研究所などに置く場合)を設置し、運営する制度です。

(平成29年5月1日現在)

共同研究講座

設置年度	部局名	名称	設置期間
平成29年度	医学系研究科	抗体創薬	平成29年4月1日～平成34年3月31日
平成29年度	歯学研究科	次世代歯科材料工学	平成29年4月1日～平成32年3月31日
平成29年度(継続)	工学研究科	先進鉄鋼材料組織制御(JFE スチール)	平成29年4月1日～平成31年3月31日
平成27年度	工学研究科	先端電力工学	平成27年4月1日～平成30年3月31日

共同研究部門

設置年度	部局名	名称	設置期間
平成28年度	病院	慢性腎臓病透析治療	平成28年10月1日～平成31年9月30日
平成28年度	病院	造血管病理学	平成28年4月1日～平成30年3月31日
平成27年度	金属材料研究所	非平衡軟磁性材料	平成27年8月1日～平成29年7月31日
平成27年度	流体科学研究科	先端車輪基盤技術研究(ケーヒン)	平成27年4月1日～平成30年3月31日
平成27年度	電子光物理学研究センター	凝縮系核反応	平成27年4月1日～平成31年3月31日
平成27年度	工学研究科	電力エネルギー未来技術	平成27年4月1日～平成30年3月31日
平成26年度	サイバーサイエンスセンター	高性能計算技術開発(NEC)	平成26年7月1日～平成30年6月30日

産学連携

産学官連携ポリシー

東北大学は、建学以来、「研究第一主義」「門戸開放」「実学尊重」の理念を掲げ、世界トップレベルの研究・教育を創造してきました。また、研究成果は社会の直面する諸課題の解決に応えるとともに、社会の指導的人材を育成することで、人類社会の平和と繁栄に貢献してきました。東北大学は100年の歴史の中で継承してきた知の蓄積と、次の100年に向けて、絶えざる研究・教育の創造を通じ、人類社会に貢献する「世界リーディング・ユニバーシティ」を目指しています。

また、東北大学は「世界と地域に開かれた大学」の方針の下、大学の人的・知的資源及び総合力と地域や国際社会との連携により、人類社会全体の発展に貢献します。その一つであります産学官連携は、教育・研究に次ぐ大学の第3の使命である社会貢献の中核を成し、知の成果の社会還元を果たす要素として重要であり、大学として、以下の産学官連携ポリシーに基づき、積極的に取り組みます。

1. 建学以来の「実学尊重」の伝統と実践を礎に、学術成果を広く社会に還元すべく、産業界への技術移転を推進し、本学における教育と研究の社会的付加価値を高めます。
2. 国際的な産学官連携においては、技術移転や共同研究等に止まらず、世界をリードする技術革新を導く研究を推進します。
3. 地域が抱える諸課題の解決に向けた持続的な産学官連携を進め、地域イノベーションの原動力となることを目指し、我が国の経済・社会の発展に貢献します。
4. 大学に産学官連携を推進するための組織をおき、学内リソースの結集と国内外関係機関との連携により、国際的な視点に立つて産学官連携活動を進めます。
5. 産学官連携を推進するにあたり、透明性を確保し、国内外の法令や国際間の条約等を遵守するなどの社会的説明責任を果たすことを基本とします。

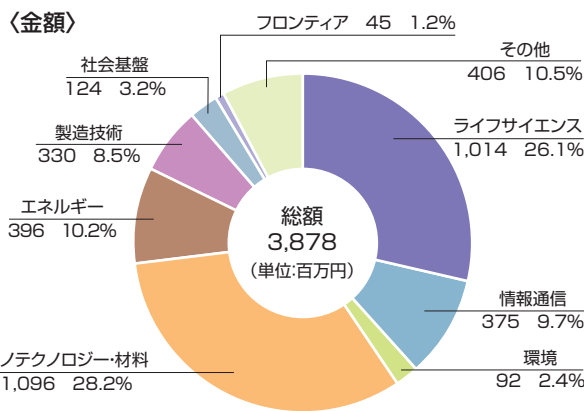
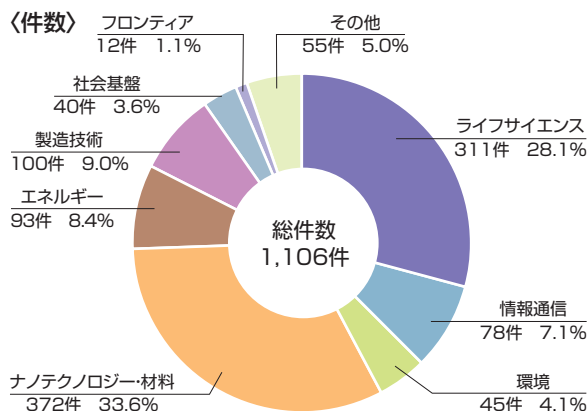
民間等との共同研究実施状況の推移

年度	受入件数(件)	受入金額(単位:百万円)
平成28年度	1,106	3,878
平成27年度	1,012	4,040
平成26年度	974	3,549
平成25年度	897	4,127
平成24年度	831	3,084
平成23年度	862	2,840
平成22年度	854	2,956
平成21年度	837	2,692
平成20年度	786	2,459
平成19年度	698	2,086
平成18年度	519	2,028
平成17年度	479	1,827
平成16年度	392	1,675
平成15年度	284	1,129

受託研究の受入状況の推移

年度	受入件数(件)	受入金額(単位:百万円)
平成28年度	758	13,638
平成27年度	731	12,963
平成26年度	692	11,140
平成25年度	661	9,216
平成24年度	666	9,587
平成23年度	742	11,397
平成22年度	589	10,008
平成21年度	611	9,563
平成20年度	596	9,131
平成19年度	554	9,101
平成18年度	591	7,927
平成17年度	483	7,358
平成16年度	456	6,149
平成15年度	373	3,450

平成28年度 民間等との共同研究実施状況



官民イノベーションプログラム(国立大学に対する出資事業)

平成24年度に予算計上された本プログラムについては、大学の研究開発成果の事業化・実用化を推進するため、本学に対して政府出資金125億円、特別運営交付金25億円が予算措置されています。

これを受けて、本学では「産学共同・事業化推進委員会」及び事業担当部署である「事業イノベーションセンター」を整備した上で、事業化の候補案件を「事業化推進事業型共同研究事業」として推進しています。

また、大学発ベンチャーに対して、資金供給等を行う事業(特定研究成果活用支援事業)を実施するベンチャーキャピタルとして、本学100%出資により東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社を平成27年2月に設立しました。

平成27年8月には、同社を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合(ファンド)が組成され、東北大学発研究成果の事業化を目指すベンチャー企業への投資活動が開始されています。

特色ある研究・教育・社会貢献活動

産学連携

組織的連携

本学では、研究開発、人材育成、地域社会への責任、など相互の協力が可能な全ての分野において、大学全体として民間企業等と組織的連携を行い、具体的な協力を有機的に推進しています。

(平成29年7月1日現在)

協定締結日	民間企業等名称	目的
平成18年1月19日	(株)日立製作所	電気、情報、材料、機械分野における共同研究や相互交流を目指す。
平成18年1月31日	産業技術総合研究所(AIST)	環境、材料、情報通信、エレクトロニクス分野等における共同研究および、「産総研・東北大 数理先端材料モデリングオープンイノベーションラボラトリー(MathAM-OIL)」の推進を目指す
平成18年7月27日	セイコーエプソン(株)	共同研究の推進、研究者の相互交流、教育及び人材の育成、留学生への奨学金支援業務及び国際交流助成を目指す。
平成18年12月26日	(株)河北新報	共同研究・調査、イベント共催・協力、人材育成などの面で協力を軸に、教育・研究機能と、報道・情報発信機能を連携させることを目指す。
平成19年1月31日	(株)七十七銀行	東北大学発ベンチャー企業に関する情報交換・支援、東北大学シーズと地域企業とのマッチングコーディネート、技術相談、相互人材交流を目指す。
平成19年3月6日	DOWAホールディングス(株)	共同研究の推進、研究者の相互交流、若手研究者の育成、研究施設、研究設備の相互利用を目指す。
平成19年8月3日	宇宙航空研究開発機構(JAXA)	宇宙及び航空科学分野を中心に、生命科学など他分野を含めた共同研究や教育・人材育成を目指す。
平成20年7月25日	実験動物中央研究所	ライフサイエンス分野、生命科学、材料科学並びに心理学、社会科学など相互協力が可能な全ての分野での共同研究、人材の教育・交流を目指す。
平成21年2月19日	高エネルギー加速器研究機構(KEK)	素粒子原子核物理、物質生命科学、加速器科学の研究領域における共同研究のさらなる深化、共同研究体制の強化、人材の教育・交流を目指す。
平成21年3月9日	自然科学研究機構核融合科学研究所	核融合炉に関する研究の更なる推進、人材の教育・交流を目指す。
平成21年4月14日	理化学研究所	理論と実験、計算科学と計算機科学の融合など、広範な学術領域の開拓を図り、計算科学によるイノベーションの創出、国際的に活躍できる人材の育成、人材交流を目指す。
平成22年2月12日	NTT、NTT東日本	情報通信分野における連携協力の更なる拡大、教育・研究活動の拡充、活性化、異分野融合型の研究開発の推進を目指す。
平成22年6月4日	住友金属鉱山(株)	非鉄金属素材に関する研究推進を図るため、さらなる共同研究、相互交流、人材育成の推進を目指す。
平成23年7月26日	東京海上日動火災保険(株)	地震・津波のリスク評価に関連して、研究開発、人材育成等相互協力が可能な事項について、連携・協力を推進する。
平成23年11月10日	仙台市・筑波大学	生活排水を吸収して石油成分を生産する藻類バイオマスの研究・開発を推進する。燃料生産モデルと新しい循環型システムの実現を目指す。
平成23年11月22日	日本アイ・ビー・エム(株)	巨大地震・津波のリスク評価・減災技術に関連して、研究開発、人材育成等相互協力が可能な事項について、連携・協力を推進する。
平成24年1月19日	情報通信研究機構(NICT)	災害により強い社会の構築に向けて、情報通信ネットワーク及びその利活用の耐災害性強化のための情報通信技術の研究を効果的かつ効率的に推進する。
平成24年10月16日	海洋研究開発機構(JAMSTEC)	共同研究・プロジェクトの推進、人材交流、人材育成、学術資料・リサーチレポート等学術情報の交換、施設・設備等の利用等について、連携・協力を推進する。
平成25年8月1日	(株)東芝	「ヘルスケアビッグデータに関する研究開発」に関連する研究領域において、研究開発、人材育成等の相互協力が可能な事項について、連携・協力を実施する。
平成25年11月12日	物質・材料研究機構(NIMS)	物質・材料分野において、両機関で連携・協力して研究開発や研究設備の相互利用・共同運営、人材交流等を行い、我が国の学術及び科学技術の振興と、社会の発展に寄与することを目指す。
平成25年12月18日	国土交通省東北地方整備局	双方が長年にわたり培ってきた信頼関係を基盤に、防災機能の向上及び地域社会の持続的発展に寄与することを目的に連携・協力の推進・強化を図る。
平成26年8月1日	日本医療研究開発機構(AMED)	革新的医薬品の創出を目指して、新規創薬シーズ発掘のための連携・協力を推進する。
平成28年10月31日	医薬品医療機器総合機構(PMDA)	双方が築き上げてきた資産、能力、人材等を相互に活用し合い、互恵の精神に基づき連携・協力することで我が国のレギュラトリーサイエンスの振興に資する。
平成28年11月9日	量子科学技術研究開発機構(QST)	PET(陽電子断層撮影法)を利用した分子イメージング研究の高度専門人材育成を目指す。
平成29年2月14日	中小企業基盤整備機構	大学発ベンチャーの創出、地域イノベーションの推進等を行うことを目的とした産学連携強化を目指す。
平成29年3月1日	東北活性化研究センター	東北地域における産業の活性化と人材育成に貢献するため、あらゆる分野での連携・協力により地域の活力向上と人材育成を行うことで、持続的な発展に寄与する。
平成29年3月28日	アルプス電気(株)	先端技術新事業の創出を目指し、地域産業の持続的成長促進に向けたイノベーションを担う創業人材の育成を図り、電子部品産業の振興と社会全体への発展に寄与する。
平成29年4月20日	JFEスチール(株)	鉄鋼産業の振興と社会全体の発展に寄与する。
平成29年6月29日	日本貿易振興機構(JETRO)	グローバル人材育成、農林水産業・食品産業海外展開支援、大学シーズのグローバル社会実装支援等の連携プログラムにおいて連携協力を行う。

社会との連携協力

サイエンスカフェ

高校生など一般の方々と科学者が、コーヒーカップを片手にサイエンスについて気軽に話し合い、社会の広い範囲の方達にサイエンスの楽しさに触れてもらう場です。

講師	所属	テーマ	開催日(平成28年度)
昆陽 雅司 准教授	東北大学大学院情報科学研究科	触角を伝えるインタフェース～触れる・体感する未来の情報通信～	4月22日(金)
内田 隆史 教授	東北大学大学院農学研究所	ちりも積もれば病気になる? 生体応答の鈍化と加齢疾患	5月27日(金)
虫明 元 教授	東北大学大学院医学系研究科	心の働き多様性を科学する～目から脳の働きを探る試み～	6月24日(金)
寺田 眞浩 教授	東北大学大学院理学研究科	取説「カガクブシツ」～正しく知ろう化学物質～	7月6日(水)
齊藤 英治 教授	東北大学 AIMR	みんなが知らない「磁石の世界」	8月26日(金)
富重 圭一 教授	東北大学大学院工学研究科	触媒の作り方と使い方～触媒は身の回りでひそかに働いている～	9月30日(金)
鈴木 陽一 教授	東北大学電気通信研究所	音響学と音楽のひとつき	10月1日(土)
木村 芳孝 教授	東北大学大学院医学系研究科	産まれる前から心電図 ～胎児心電図を病室内で測れるようにする～	10月21日(金)
久田 真 教授	東北大学大学院工学研究科	インフラって何だろう? ～暮らしを支える縁の下の力持ち～	11月18日(金)
須賀 利雄 教授	東北大学大学院理学研究科	Cubic Earth ～もしも地球が立方体だったら～	12月14日(水)
張山 昌論 教授	東北大学大学院情報科学研究科	知的コンピューティングが拓く医療の世界	1月13日(金)
平澤 保典 教授	東北大学大学院薬学研究科	アルルギーになる仕組み、くすりが効く仕組み	2月24日(金)
辻森 樹 教授	東北大学東北アジア研究センター	プレートテクトニックな宝石～美しく輝ける「石」と地球史～	3月17日(金)

社会との連携協力

リベラルアーツサロン

文系の幅広い分野から、身近なテーマ・知識欲をかき立てるテーマを取り上げ、気軽に会話に興じるサロンの雰囲気でお話し合う場です。

講師	所属	テーマ	開催日(平成28年度)
島田 明夫 教授	東北大学大学院法学研究科	地球の成り立ちと地球環境問題に関する学際的検討	5月13日(金)
吉田 浩 准教授	東北大学大学院経済学研究科	男女共同参画の経済学	6月17日(金)
村山 達也 准教授	東北大学大学院文学研究科	動物と倫理学	7月15日(金)
佐藤 克美 准教授	東北大学大学院教育情報学研究所	郷土芸能×デジタル	10月7日(金)
八畝 友広 教授	東北大学大学院教育学研究科	江戸の学び～近世庶民の学習世界～	11月11日(金)
山下 博司 教授	東北大学大学院国際文化研究科	なぜグローバル企業のトップに抜擢されるのか?～インド人の「能力」と「脳力」～	1月20日(金)

産学官連携フェアみやぎ2016

開催日	内容	開催地
平成28年11月29日	みやぎ産業振興機構主催の同フェアに特別共催機関として参画し、ものづくり、医療機器、ナノテク・材料、環境、エネルギーなどの各分野における地域社会に資する研究の紹介とプレゼンテーションを実施した。	仙台国際センター

公開講座

部局主催

講座の名称	実施部局
第51回東北大学教育指導者講座	教育学研究科
近代技術史学	工学研究科
エネルギーデバイス工学	工学研究科
社会基盤施設の現状と課題	工学研究科
電気エネルギーシステム工学	工学研究科
応用物理学特論	工学研究科
地球の未来を拓くグリーンナノテクノロジー	工学研究科
技術適応計画特論	工学研究科
建築構造における最新の設計法	工学研究科
福島事故以降の安全学に向けて	工学研究科
軽水炉安全セミナー	工学研究科
第23回公開講座「国際文化基礎講座」 ことばは面白い!	国際文化研究科
地球環境計測学	環境科学研究科

みやぎ県民大学大学開放講座

講座の名称	実施部局
革新的ビジネスの設計と実践	経済学研究科 (地域イノベーション研究センター)
私たちの食料と健康と環境	農学研究科
環境への化学アプローチ	環境科学研究科
地球にやさしいエネルギーと環境・省エネルギー技術 ～太陽電池・半導体・超伝導・植物の品種改良～	金属材料研究所
ながれ	流体科学研究所
生命と化学の接点	多元物質科学研究所
生活習慣から病気を予測・未来の医療を垣間見よう!	東北メディカル・メガバンク機構

「学都仙台コンソーシアム」サテライトキャンパス公開講座

講座の名称	実施部局
仙台の都市構造	理学研究科
地形から見る南東北の土木遺産	工学研究科
南東北の土木遺産と遊ぶ～南東北口～カル三線の旅～	工学研究科
仙台の食の安全と健康	農学研究科
仙台の魚貝歳時記	農学研究科
遺伝子組換え作物とは? ～遺伝子の基礎から作り方まで～	生命科学研究所
あなたの血管は何歳?～地球の上での日本人の血管	加齢医学研究所
科学と技術の今日を支え、明日を拓く、東北放射光	多元物質科学研究所
ビールの泡から最先端ナノ材料創製	多元物質科学研究所
スーパーレントゲン! ～リウマチや乳がんの早期診断が変わるか?～	多元物質科学研究所
仙台のスポーツとボランティア	多元物質科学研究所
最新天文学による現在の宇宙の姿	学際科学フロンティア研究所
最新天文学による宇宙の誕生と進化	学際科学フロンティア研究所
女性の職業生活について考えよう	男女共同参画推進センター

高校生のための公開授業

講座の名称	実施部局
大学生のレポート作成入門	全学教育
図書館を活用したスタディスキル	
時代の文脈からみた「食」と「農」	
くらしのなかの化学	
環境とエネルギー問題	
秋冬野菜を盆栽として育ててみよう	
災害の科学(災害の発生と波及)	
経済学超入門	
電気情報物理学特別講義	
電気情報物理学特別講義	

高校生のための公開講座

講座の名称	実施部局【講師派遣先高校】
回帰する問いー哲学の使命とその現在	文学部
コンピュータで分子の振る舞いを探る	理学部
応用物理って何だろう? ー固体物理から生物物理までのお話ー	工学部
溶液中で積み上げて作るナノ構造体 ー新しい材料開発に向けてー	工学部
大学で学ぶ中国史ー明朝と上杉景勝ー	文学部
教育臨床心理学	教育学部
日本の立憲主義について	法学部
会社の誕生ー世界が会社に支配されるときー	経済学部
地域社会から考える現代社会	文学部
東日本大震災の企業とNPOの協働について	経済学部
経済学と金融のトピックス	経済学部
いかなる時でも人の健康にかかわる看護	医学部
世界を結ぶ光ファイバ通信	工学部
世界初の火星飛行機の実現を目指して	工学部
まちづくりとデザイン	工学部
家畜・家禽の体の仕組み	農学部
文学の世界	文学部
教育学の世界	教育学部
物理学の世界	理学部
生物学の世界	理学部
看護学の世界	医学部
工学の世界	工学部
環境経済学の世界	農学部
「建築・社会環境工学」分野の広がり 「技術大国・日本」を支える素材産業	工学部
経済学と金融のトピックス	経済学部
原子・分子で観る化学反応	工学部
人間関係は犯罪を防げるか?ー東京を事例としてー	文学部
津波災害をめぐる法的責任	法学部
経済学と金融のトピックス	経済学部
アトム(原子)の中心ー極微の世界と宇宙創成の謎ー	理学部
放射光を利用した地球惑星内部研究について	理学部
脳科学から見た学びのメカニズム	医学部
日常診療の中で果たすお薬の役割	薬学部
ミクロな機械が切り拓く次世代の医療とヘルスケア	工学部
脳と機械を直接つなぐ技術 ーブレイン・マシン・インターフェイスー	工学部
化学・バイオ工学科における教育と超臨界流体の研究事例	工学部
タンパク質のリサイクルと私たちの健康を維持するしくみについて	農学部
幽霊の発生～日本のホラー文化の源流～	文学部
世界を変える授業を体験してみよう!	教育学部
日本の立憲主義について	法学部
政府、議会、裁判所の比較政治学	法学部
ビッグデータは世界を変えるか? ー社会の中でのデータサイエンスー	経済学部
有機化学は世界を変える	理学部
ランダム・ウォークからの確率入門	理学部
知っておきたい医学研究と医療の関係	医学部
化学合成を駆使した創薬の最先端	薬学部
モータがないロボット!?安全な人間支援ロボットの 研究開発	工学部
スピンをを用いた最先端デバイスの開発 ー工学とは、医工学とはー	工学部
溶液中で積み上げて作るナノ構造体 ー新しい材料開発に向けてー	工学部
材料科学についてー粉末を用いたものづくりについてー	工学部
津波に強い社会の為の東日本大震災後の津波研究と 今後の課題	工学部
ほ乳類の精巣を通して明らかとなった組織幹細胞の実体	農学部

特色ある研究・
教育・社会貢献活動

学術交流協定締結等

大学間協定

35ヶ国・地域 213機関

オーストリア

- * Ge4 - Global Education: Exchanges for Engineers and Entrepreneurs(2002.11.14)
- * ウィーン大学 (2010.2.24)

ベルギー

- ベルギー原子力研究センター (2005.6.16)

チェコ

- * チェコ工科大学プラハ校 (2016.5.9)

フィンランド

- * アアルト大学 (2001.11.5)
- * オウル大学 (2004.8.9)
- * タンペレ工科大学 (2006.1.31)
- * トゥルク大学 (2016.11.29)

フランス

- * ビエール・マリー・キュリー大学 (1999.8.19)
- * レンヌ第2大学 (1999.12.3)
- * グルノーブル・アルプ大学連合 (2000.3.31)
- * ストラスブール大学 (2000.3.31)
- * レンヌ第1大学 (2000.12.20)
- * 国立応用科学院リヨン校 (2004.7.13)
- * ボルドー大学 (2005.7.28)
- * 国立中央理工工学校 (2006.2.13)
- リール校
- リヨン校
- マルセイユ校
- ナント校
- パリ校
- * アルピュッシュ山大学 (2006.9.12)
- * リヨン政治学院 (2008.6.6)
- * リヨン高等師範学校 (2008.8.11)
- * リヨン第2大学 (2009.10.20)
- * コンピエヌ工科大学 (2010.3.15)
- * サンティエヌ国立高等鉱山学校 (2012.4.5)
- * ボルドー工科大学 (2013.7.5)
- リヨン大学 (2013.9.9)
- * 国立東洋言語文化研究大学 (INALCO) (2017.1.31)

ドイツ

- * アーヘン工科大学 (1998.5.19)
- * ドルトムント工科大学 (1999.3.2)
- * ザールラント大学 (1999.10.5)
- * ダルムシュタット工科大学 (2003.4.30)
- * ゲッティンゲン大学 (2003.10.23)
- * ドレスデン工科大学 (2006.6.26)
- * ベルリン工科大学 (2009.8.26)
- * ミュンヘン工科大学 (2010.8.3)
- * カールスルーエ工科大学 (2011.1.18)
- * カイザースラウテルン工科大学 (2012.2.1)
- * ハイデルベルク大学 (2012.2.2)
- * ヨハネスグーテンベルク大学マインツ (2012.2.6)
- ドイツ航空宇宙センター (2013.3.1)
- * バダボン大学 (2013.8.21)
- * ケムニッツ工科大学 (2013.10.31)
- * レーゲンスブルク大学 (2017.3.16)

イタリア

- ローマ大学「ラ・サピエンツァ」(1990.9.27)
- * フィレンツェ大学 (2009.8.21)
- * トリノ工科大学 (2010.11.24)
- * ナポリ大学 (2012.3.28)
- * ペローナ大学 (2013.5.13)
- * ミラノ工科大学 (2013.5.14)

オランダ

- * グローニンゲン大学 (2011.11.17)
- * トゥウェンテ大学 (2015.8.21)
- * デルフト工科大学 (2016.1.11)

ポーランド

- ポーランド科学アカデミー・触媒表面化学研究所 (1999.8.4)

ロシア

- ロシア科学アカデミー・シベリア支部 (1992.8.10)
- * モスクワ国立大学 (1998.2.19)
- * ノボシビルスク国立大学 (2003.7.4)
- ロシア科学アカデミー・極東支部 (2012.1.23)
- * ニジェゴロド国立大学 (2012.3.19)
- * 極東連邦大学 (2012.3.19)
- * ロシア国立高等経済学院 (HSE) (2014.9.30)
- * サンクトペテルブルク国立総合大学 (2014.10.1)

スペイン

- * グラナダ大学 (2012.9.27)
- * バリャドリッド大学 (2014.6.11)

スウェーデン

- * ウーメオ大学 (1997.8.18)
- * 王立工科大学 (2000.9.20)
- * ウプサラ大学 (2002.3.20)
- * ストックホルム大学 (2003.1.14)
- * チャルマース工科大学 (2006.4.19)

スイス

- * スイス連邦工科大学ローザンヌ校 (2000.11.20)
- * スイス連邦工科大学チューリッヒ校 (2010.7.21)
- * ジュネーブ大学 (2015.10.20)

ウクライナ

- * ウクライナ国立工業大学 (キエフ工科大学) (2004.6.2)

イギリス

- インペリアル・カレッジ・ロンドン (1988.5.4)
- ロンドン大学 "The School of Oriental and African Studies" (1989.4.10)
- ノッティンガム大学 (2001.5.15)
- * ヨーク大学 (2004.06.07)
- * シェフィールド大学 (2009.8.21)
- ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン (2013.11.21)

モロッコ

- * ムハンマド5世大学 - ラバト (2001.4.30)

南アフリカ

- * クワズールー・ナタール大学 (2010.12.20)
- * ヨハネスブルグ大学 (2016.8.19)

イラン

- * テヘラン大学 (1999.8.25)

トルコ

- * イスタンブール工科大学 (2011.10.3)

中国

- * 東北大学 (1983.8.5)
- * 中国科学技術大学 (1998.6.15)
- * 清華大学 (1998.8.31)
- * 南京大学 (1999.9.1)
- * 北京大学 (1999.11.10)
- * 吉林大学 (2001.3.1)
- * 浙江大學 (2001.4.9)
- * 復旦大学 (2001.4.19)
- * 武漢理工大學 (2001.4.30)
- * 重慶大学 (2001.7.4)
- * 同濟大学 (2002.8.13)
- * 中国海洋大学 (2002.10.21)
- * 北京科技大学 (2002.10.25)
- * 南京航空航天大学 (2003.3.10)
- * 廈門大学 (2005.6.29)
- * 華中科技大学 (2005.10.12)
- * 西安交通大学 (2006.8.31)
- * 華東師範大学 (2006.9.20)
- * 北京航空航天大学 (2006.12.16)
- * 蘭州大学 (2007.4.17)
- * 天津大学 (2007.6.8)
- * 大連理工大学 (2007.6.16)
- * 揚州大学 (2008.6.20)
- 中国社会科学院 (2008.10.15)
- * 東南大学 (2009.6.29)
- * 上海交通大学 (2009.10.15)
- * 北京工業大学 (2010.10.16)
- * 北京郵電大学 (2010.10.17)
- * 香港科技大学 (2011.2.1)
- * 上海海洋大学 (2011.12.5)
- * 中国地質大学 (武漢) (2012.2.6)
- * 香港城市大学 (2012.3.17)
- * 東北財経大学 (2013.3.19)
- * 上海大学 (2014.5.7)

インド

- * インド工科大学ボンベイ校 (2000.8.21)
- * インド科学大学 (2008.12.18)

インドネシア

- * インドネシア大学 (2004.3.19)
- * ガジャマダ大学 (2006.12.16)
- * バンドン工科大学 (2008.6.4)
- * ボゴール農科大学 (2010.3.23)
- * プラウイジャヤ大学 (2014.9.24)
- バジャジャラン大学 (2016.1.21)

マレーシア

- * マラヤ大学 (2016.1.21)

モンゴル

- モンゴル科学アカデミー (2000.8.21)
- * モンゴル科学技術大学 (2001.11.16)

(平成29年5月現在)

シンガポール

- *シンガポール国立大学(2000.9.16)

韓国

- *全北大学校(1991.11.12)
- *ソウル大学校(1998.7.8)
- *光州科学技術院(2000.8.21)
- *釜慶大学校(2000.8.21)
- *浦項工科大学校(2000.9.22)
- *韓国科学技術院(2001.4.24)
- *忠南大学校(2001.7.9)
- *慶北大学校(2002.9.2)
- *嶺南大学校(2003.12.3)
- *東義大学校(2003.12.19)
- *朝鮮大学校(2004.3.18)
- *高麗大学校(2004.3.31)
- *国立昌原大学校(2005.10.2)
- *西江大学校(2007.2.2)
- *延世大学校(2007.5.29)
- *釜山大学校(2007.7.26)
- *国立公州大学校(2007.7.29)
- *中央大学校(2008.3.27)
- *慶熙大学校(2010.3.5)
- *成均館大学校(2012.3.15)
- *国民大学校(2012.4.10)
- *韓国科学技術研究院(2016.8.23)

スリランカ

- *モラトゥワ大学(2015.9.16)

台湾

- *国立台湾大学(2000.11.18)
- *国立台湾海洋大学(2002.3.8)
- *国立中正大学(2003.11.14)
- *国立成功大学(2005.8.9)
- *国立交通大学(2005.12.15)
- *国立中興大学(2009.3.30)
- *国立清華大学(2009.12.2)
- *国立政治大学(2011.4.22)
- *東呉大学(2014.8.8)
- *国立中央大学(2015.2.24)

タイ

- *アジア工科大学院(1998.11.9)
- *スラナリー工科大学(2001.3.1)
- *キングモンクット工科大学ラカパン校(2004.4.15)
- *チュロンコン大学(2011.2.3)
- *タマサート大学(2012.4.5)
- *チェンマイ大学(2012.4.10)
- *キングモンクット工科大学トンブリ校(2012.11.26)
- *泰日工業大学(2014.8.19)

ベトナム

- *ベトナム国立大学ハノイ校(2009.7.6)
- *貿易大学(2013.8.15)
- *ホーチミン市工科大学(2014.10.14)

オーストラリア

- *シドニー大学(1993.1.8)
- *ニューサウスウェールズ大学(2001.4.7)
- *オーストラリア国立大学(2002.7.16)
- *メルボルン大学(2014.11.7)

ニュージーランド

- *オークランド大学(2002.11.15)

カナダ

- *ウォータールー大学(2006.10.30)
- *オタワ大学(2009.6.26)
- *クイーンズ大学(2016.8.24)

アメリカ

- *ペンシルベニア州立大学(1988.11.29)
- *カリフォルニア大学(1990.3.15)
 - バークレー校
 - デービス校
 - アーヴィン校
 - ロサンゼルス校
 - マーセド校
 - リバーサイド校
 - サンディエゴ校
 - サンフランシスコ校
 - サンタバーバラ校
 - サンタクルス校
- *ワシントン大学(シアトル)(1996.7.3)
- *パーデュー大学(1997.9.23)
- *アラスカ大学(1999.1.12)
- *コロラド鉱山大学(2004.1.7)
- *シラキュース大学(2008.11.19)
- *国際教育協会(2009.1.27)
- *テンブル大学(2010.6.7)
 - ハーバード大学(2010.7.22)
- *テキサス A&M 大学(2011.9.13)
- *ハワイ大学マノア校(2012.3.11)
 - 保健社会福祉省国立衛生研究所(2013.5.9)
- *ニューヨーク州立大学オールバニー校(2014.5.1)
- *ノースカロライナ大学シャーロット校(2014.12.25)
- *ケースウェスタンリザーブ大学(2015.7.29)
- *ミシガン州立大学(2015.9.25)
- *メリーランド大学カレッジパーク校(2016.2.22)
- *モンタナ大学(2016.9.22)

ベネズエラ

- *シモン・ボリバル大学(2008.1.8)

国際機関

- ITER 国際核融合エネルギー機構(2013.12.24)

注1) *印は、授業料等を不徴収とする交流協定を締結している機関を示す。
注2) 協定機関名の後の括弧は協定締結年月日。



モンタナ大学(アメリカ)との調印式

学术交流協定締結等

部局間協定

56ヶ国・地域 469機関

エリア	国・地域	機 関	部 局	締結年月日
アジア	パングラディッシュ (2)	* ダッカ大会計・情報システム学部 ダッカ大学生物科学部	経済学部・経済学研究所 農学部・農学研究所	2015/04/24 2014/04/27
	中国 (89)	北京航空航天大学材料学院	金属材料研究所	2005/11/25
		* 北京师范大学教育学部	教育学部・教育学研究所	2013/05/08
		中国医科大学	医学部・医学系研究所	1982/09/29
		北京医院	医学部・医学系研究所	1994/11/16
		* 中国政法大学商学院	経済学部・経済学研究所	2015/06/10
		* 中国政法大学政治学・公共管理学院	経済学部・経済学研究所	2015/05/15
		中国科学院長春光學精密機械物理研究所	多元物質科学研究所	2000/12/26
		* 中国科学院化学研究所	工学部・工学研究所	2006/11/06
		中国科学院化学研究所	材料科学高等研究所	2010/04/12
		中国科学院金属研究所	金属材料研究所	1997/11/26
		* 中国科学院物理研究所	金属材料研究所	1993/02/17
		中国科学院物理研究所	流体科学研究所	2001/05/21
		中国科学院半導体研究所	電気通信研究所	2007/04/12
		中国科学院固体物理研究所	金属材料研究所	1985/01/01
		中国科学院上海硅酸塩研究所	金属材料研究所	1998/12/03
		中国科学院上海有機化学研究所	農学部・農学研究所	2005/06/07
		中国社会科学院法学研究所	法学部・法学研究所	2003/07/03
		* 重慶理工大学重慶自動車部	流体科学研究所	2012/07/09
		大連市口腔医院	歯学部・歯学研究所	2013/04/01
		* 大連理工大学研究生院	工学部・工学研究所	2000/06/12
		* 東北財経大会計学院	経済学部・経済学研究所	2005/05/01
		* 華東師範大学教育科学学院	教育学部・教育学研究所	2013/11/29
		* 華東師範大学与認知科学院	教育学部・教育学研究所	2013/11/29
		* 華東理工大学機械・動力工学部	工学部・工学研究所	2010/07/25
		福建医科大学口腔医学院	歯学部・歯学研究所	2013/04/01
		広東省民族宗教研究院	東北アジア研究センター	2001/06/25
		* 貴州大学管理学院	経済学部・経済学研究所	2015/06/30
		杭州師範大学教育科学学院	教育学部・教育学研究所	2013/03/29
		* ハルビン工業大学	工学部・工学研究所	1996/08/03
		ハルビン工業大学計算機科学・技術学院	情報科学研究所	2010/07/05
		* ハルビン医科大学	医学部・医学系研究所	2000/06/21
		* 河北師範大学商学院	経済学部・経済学研究所	2016/01/11
		* 河北連合大学	工学部・工学研究所	2009/02/20
		華僑大学材料科学工程学院	多元物質科学研究所	2001/06/05
		* 湖南大学金融学院	経済学部・経済学研究所	2009/04/26
		内蒙古師範大学蒙古学学院	東北アジア研究センター	2008/04/01
		内蒙古師範大学旅游学院	東北アジア研究センター	2011/09/28
		内蒙古大学蒙古学学院	東北アジア研究センター	2008/09/22
		* 江南大学 Junyuan 学院	工学部・工学研究所	2016/03/10
		遼寧省腫瘤病院・遼寧省腫瘤研究所	加齢医学研究所	1998/12/07
		中央民族大学蒙古学文学系	東北アジア研究センター	2014/02/25
		* 南京監査大学監査会計学院	経済学部・経済学研究所	2015/04/15
		* 南京師範大学教育科学学院	教育学部・教育学研究所	2010/11/25
		* 南京師範大学心理学院	教育学部・教育学研究所	2013/11/27
		* 南京大学化学・化学工学科	理学部・理学研究所	2014/03/28
		* 南開大学外国語学院	文学部・文学研究所	2015/12/16
		* 南開大学外国語学院	国際文化研究所	2015/12/16
		* 南開大学日本研究院	文学部・文学研究所	2016/02/25
		国家ナノ科学センター	医学部・医学系研究所	2015/01/18
		東北大学	工学部・工学研究所	1981/11/23
		東北大学	多元物質科学研究所	1981/11/23
		* 東北師範大学教育学部	教育学部・教育学研究所	2014/11/14
		* 東北師範大学 MBA 教育センター会計専門職大学院	経済学部・経済学研究所	2015/09/29
		* 東北師範大学商学院	経済学部・経済学研究所	2015/03/17
		* 中国海洋大学	農学部・農学研究所	2001/12/25
		北京大学ナノ科学技術研究センター	多元物質科学研究所	1998/11/05
		北京大学日本研究センター	教育学部・教育学研究所	1999/05/18
		* 青島科技大学環境及び安全工学部	工学部・工学研究所	2017/02/24
		* 中国人民大学商学院	経済学部・経済学研究所	2004/10/14
		* 中国人民大学公共管理学院	情報科学研究所	2008/10/27
		* 上海交通大学口腔医学院	歯学部・歯学研究所	2016/05/12
		* 上海交通大学環境科学・工程学院	環境科学研究所	2013/11/12
		* 上海海洋大学	農学部・農学研究所	2002/10/31
		* 四川商学院	経済学部・経済学研究所	2015/08/14
		* 四川大学经济学院	経済学部・経済学研究所	2015/09/08
		* 四川大学公共管理学院	経済学部・経済学研究所	2015/09/06
		四川大学華西薬学院	薬学部・薬学研究所	2010/02/17
		四川大学華西口腔医学院	歯学部・歯学研究所	2006/09/28
		* 蘇州大学薬学部	薬学部・薬学研究所	2014/12/22
		* 華南理工大学 電子・情報学院、建築学院、機械・自動車工程学院	工学部・工学研究所	2016/07/07
		* 東南大学経済管理学院	経済学部・経済学研究所	2010/07/27
		* 西南交通大学公共管理学院	経済学部・経済学研究所	2015/04/16
		西南大学材料・エネルギー学部	多元物質科学研究所	2017/03/22
		西南大学心理学部	加齢医学研究所	2012/11/05
		* 西南政法大学	法学部・法学研究所	2016/06/07
		香港科技大学	金属材料研究所	1996/10/01
		香港科技大学科学部	材料科学高等研究所	2010/04/01
		* 香港大学歯学部	歯学部・歯学研究所	2015/11/16
		* 香港大学 LI KA SHING 医学部	医学部・医学系研究所	2013/11/01
		* 天津医科大学口腔医学院	歯学部・歯学研究所	2010/07/08
		* 天津医科大学および TEDA 国際心血管病院	医学部・医学系研究所	2015/05/05
		天津大学材料学院	金属材料研究所	2006/07/21
		清華大学近代物理研究所及び応用物理系	金属材料研究所	1994/08/10
		清華大学水利水電工程系	流体科学研究所	1993/09/20
		* 電子科技大学	工学部・工学研究所	2009/06/22
		* 武漢大学哲学院	文学部・文学研究所	2015/03/19
		* 西安建築科技大学 環境・市政工程学院	環境科学研究所	2013/12/19
		* 西安電子科技大学	工学部・工学研究所	1999/08/12
		鄭州大学材料工程学院	多元物質科学研究所	2003/06/16
	インド (3)	* インド工科大学マドラス校	工学部・工学研究所	2013/12/16
		ブネ国立化学研究所	工学部・工学研究所	1999/04/28

(平成29年5月現在)

エリア	国・地域	機関	部局	締結年月日
アジア	インドネシア (19)	* ボックカリガラー・サンガ・デンタルカレッジ	歯学部、歯学研究科	2014/07/01
		* アチエ津波博物館	災害科学国際研究所	2016/11/22
		* アイルランガ大学歯学部	歯学部、歯学研究科	2015/02/16
		* ガジャマダ大学農学部	環境科学研究科	2014/06/11
		* ガジャマダ大学文化研究学部	文学部、文学研究科	2016/02/10
		* ガジャマダ大学大学院	文学部、文学研究科	2016/06/30
		* ハサヌディン大学農学部	農学部、農学研究科	2015/03/16
		* インドネシア科学院	工学部、工学研究科	2006/03/14
		* 国立インドネシア教育大学教育学部・大学院研究科	教育学部、教育学研究科	2017/03/10
		* ハンドン工科大学 ハンドン工科大学	工学部、工学研究科 環境科学研究科	2000/03/24 2008/01/17
* シャリフ・ヒダーヤットウラ国立イスラム大学 (UIN) ジャカルタ医療・健康科学学部	医学部、医学系研究科	2016/09/29		
* パジャジャラン大学数学・自然科学部	工学部、工学研究科	2011/01/31		
* パジャジャラン大学医学部	医学部、医学系研究科	2012/02/03		
* パジャジャラン大学大学院	農学部、農学研究科	2010/03/18		
* セブル・ノーベンハー工科大学	工学部、工学研究科	2006/12/21		
* シャクアラ大学数理学部	災害科学国際研究所	2014/06/01		
* シャクアラ大学津波災害軽減研究センター	災害科学国際研究所	2016/11/22		
* ブラウイジャヤ大学 数学・自然科学部	理学部、理学研究科	2013/11/17		
* マタラム大学	工学部、工学研究科	2016/08/16		
マレーシア (2)	モナシユ大学サンウェイ校 マレーシア工科大学土木工学研究科	医工学研究科 環境科学研究科	2014/01/06 2015/12/21	
モンゴル (5)	* マンダフバートル大学	経済学部、経済学研究科	2015/04/16	
	* モンゴル医学アカデミー	医学部、医学系研究科	2010/03/24	
	* モンゴル国立医療科学大学歯学部	歯学部、歯学研究科	2015/01/05	
	* モンゴル農業大学大学院	農学部、農学研究科	2013/02/28	
モンゴル科学技術大学ジオサイエンスセンター	東北アジア研究センター	2000/10/02		
ネパール (1)	トリバンチ大学医学部	災害科学国際研究所	2016/11/01	
フィリピン (5)	アンヘラス大学	災害科学国際研究所	2014/11/03	
	* ミンダナオ州立大学イリガン工科大 国立熱帯医学研究所 (RITM)	工学部、工学研究科 医学部、医学系研究科	1999/09/09 2013/01/25	
	サンラザロ病院	医学部、医学系研究科	2003/09/17	
	フィリピン大学マニラ校	災害科学国際研究所	2014/06/20	
シンガポール (5)	* ナンヤン工科大学工学部	工学部、工学研究科	2010/10/12	
	ナンヤン工科大学機械・航空宇宙工学部	流体科学研究所	2000/04/14	
	シンガポール生産技術研究所	金属材料研究所	2005/05/06	
	シンガポールスピントロニクスコンソーシアム	スピントロニクス学術連携研究教育センター	2017/03/27	
	デマセック・ポリテクニク	加齢医学研究所	2013/07/15	
韓国 (41)	国立昌原大校基礎科学研究所	金属材料研究所	2004/04/09	
	* 全南大校工科大学	工学部、工学研究科	2007/11/12	
	全南大校歯医学専門大学院	歯学部、歯学研究科	1991/08/30	
	忠北大校薬学大学	薬学部、薬学研究科	1998/11/23	
	* 忠南大校工科大学	工学部、工学研究科	2000/07/20	
	東義大校電子セラミックス研究センター	金属材料研究所	2002/05/31	
	* 東国大校文科大学	文学部、文学研究科	2012/07/04	
	韓南大校ハイブリッド材料研究所	多元物質科学研究所	2003/01/17	
	漢陽大校セラミックス工程研究センター	金属材料研究所	1999/05/13	
	* 漢陽大校工科大学及び大学院	工学部、工学研究科	2007/01/09	
	* 漢陽大校工科大学	流体科学研究所	2012/04/03	
	仁荷大校工科大学	金属材料研究所	2000/06/21	
	済州大校農科大学	農学部、農学研究科	1984/08/07	
	* 建国大校大学院、工学部、建築学部、情報通信学部、生命環境科学部	工学部、工学研究科	2010/07/22	
	* 国民大校社会科学部	法学部、法学研究科	2004/07/22	
	韓国科学技術院電子部品・材料設計人力教育センター	金属材料研究所	2000/05/11	
	韓国科学技術研究院 (KIST)	金属材料研究所	1989/11/15	
	* 韓国科学技術研究院 (KIST) 未来融合技術研究部	医学部、医学系研究科	2014/11/10	
	韓国国立海洋大校工科大学	金属材料研究所	2009/04/15	
	高麗大校日本学研究センター	東北アジア研究センター	2008/04/25	
	高麗大校中国学研究所	東北アジア研究センター	2008/04/25	
	* 高麗大校師範大学	教育学部、教育学研究科	2011/12/10	
	高麗大校・工科大学・材料工学科	金属材料研究所	2005/11/26	
	* 金烏工科大学校	工学部、工学研究科	2015/04/27	
	明知大校社会科学部大学院	教育学部、教育学研究科	2000/03/17	
	浦項工科大学先端材料科学機構	材料科学高等研究所	2010/03/27	
	* 釜慶大校	工学部、工学研究科	1995/02/13	
	釜山大校素材技術研究所	金属材料研究所	2007/02/26	
	釜山大校生産技術研究所	金属材料研究所	1996/10/28	
	産業科学技術研究所	金属材料研究所	1996/04/21	
	* ソウル大校師範大学	教育学部、教育学研究科	2014/03/28	
	ソウル大校自然科学部	金属材料研究所	1993/07/14	
	ソウル大校機械・航空宇宙工学部	流体科学研究所	2013/06/20	
順天大校農業生命科学部	生命科学研究所	2002/08/07		
成均館大校情報通信用新機能性素材及び工程研究センター	多元物質科学研究所	2003/06/09		
成均館大校技術革新センター	金属材料研究所	2000/06/20		
* 又松大校保健福祉大学	教育学部、教育学研究科	2010/04/23		
* 又松大校保健福祉大学	医学部、医学系研究科	2007/08/06		
延世大校原子スケール表面研究所	金属材料研究所	1996/11/14		
* 延世大校歯科大学	歯学部、歯学研究科	2016/09/08		
* 延世大校工科大学	工学部、工学研究科	1999/08/24		
台湾 (36)	中央研究院中国文哲研究所	文学部、文学研究科	2004/09/24	
	中央研究院地球科学研究所	理学部、理学研究科	2008/12/04	
	中央研究院歴史語言研究所	文学部、文学研究科	2003/08/05	
	中央研究院物理研究所	サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	2008/02/27	
	中央研究院社会学研究所	文学部、文学研究科	2013/04/15	
	* 長庚大校工学部	流体科学研究所	2011/07/20	
	* 天主教輔仁大学外語学院	文学部、文学研究科	2008/12/24	
	工業技術研究院情報通信研究所	電気通信研究機構	2013/11/22	
	工業技術研究院材料興化工研究所	金属材料研究所	2002/10/29	
	工業技術研究院南分院	工学部、工学研究科	2010/01/25	
	工業技術研究院南分院	多元物質科学研究所	2009/11/27	
	* 開南大学資訊学院	情報科学研究科	2009/05/05	
	* 国立高雄大学人文社会科学部	文学部、文学研究科	2012/04/01	
	財団法人金属工業研究開発センター	金属材料研究所	2015/12/18	

注) *印は、授業料等を不徴収とする交流協定を締結している機関を示す。

学術交流協定締結等

部局間協定

エリア	国・地域	機 関	部 局	締結年月日	
アジア		国立応用研究所ナノデバイス研究所	流体科学研究所	2004/07/21	
		* 国立彰化師範大学理学院	工学部・工学研究科	2008/03/28	
		* 国立政治大学教育学院	教育学部・教育学研究科	2012/09/03	
		* 国立政治大学社会科学院	経済学部・経済学研究科	2010/06/10	
		* 国立東華大学管理学院	経済学部・経済学研究科	2015/07/13	
		* 国立中山大学文学院中国文学系	文学部・文学研究科	1999/04/03	
		* 国立中山大学物理系	電気通信研究所	2013/05/08	
		国立台北大学社会科学学院	情報科学研究科	2007/10/08	
		* 国立台北大学商学院	経済学部・経済学研究科	2010/07/26	
		* 国立台北科技大学工程学院	理学部・理学研究科	2015/05/02	
		* 国立台湾師範大学教育学院	教育学部・教育学研究科	2008/12/05	
		* 国立台湾師範大学教育学院	教育学部・教育学研究科	2011/03/04	
		国立台湾大学気象災害研究センター	災害科学国際研究所	2015/03/17	
		国立台湾大学工学院	金属材料研究所	1998/03/23	
		* 国立台湾大学社会科学院	経済学部・経済学研究科	2015/03/23	
		* 国立台湾大学歯学部	歯学部・歯学研究科	2016/10/07	
		* 国立陽明大学歯学部	歯学部・歯学研究科	2016/10/07	
		* 東興大学商学院	経済学部・経済学研究科	2007/09/27	
		* 台北医学大学薬学科	薬学部・薬学研究科	2013/11/15	
		* 台北医学大学医学科	医学部・医学系研究科	2013/05/27	
		台北医学大学公衆衛生栄養学院	農学部・農学研究科	2006/04/28	
	* 淡江大学	工学部・工学研究科	2015/12/10		
	タイ (14)	* チェンマイ大学理学部	多元物質科学研究所	2008/06/09	
		* チュラロンコーン大学歯学部	歯学部・歯学研究科	2014/12/09	
		* カセサート大学工学部	工学部・工学研究科	2013/11/11	
		カセサート大学工学部	環境科学研究科	2017/02/24	
		* カセサート大学水産学部	農学部・農学研究科	2002/02/24	
		コンケン大学歯学部	歯学部・歯学研究科	2015/02/19	
		* コンケン大学管理科学学部	経済学部・経済学研究科	2010/08/02	
		* マヒドン大学医学部 Ramathibodi 病院	医学部・医学系研究科	2013/11/01	
		* プリンス・オブ・ソングラー大学歯学部	歯学部・歯学研究科	2015/01/05	
		* プリンス・オブ・ソングラー大学工学部	工学部・工学研究科	2001/01/16	
		* サイアム大学教養学部	文学部・文学研究科	2016/02/24	
		泰日工業大学	経済学部・経済学研究科	2007/10/23	
* タマサート大学シリントーン国際工学部		情報科学研究科	2008/01/21		
* タマサート大学シリントーン国際工学部	工学部・工学研究科	2015/12/22			
ベトナム (5)	* 貿易大学国際経済学部	経済学部・経済学研究科	2010/01/14		
	* ハノイ工科大学	工学部・工学研究科	2009/03/27		
	* チュイロイ大学	工学部・工学研究科	2007/01/30		
	* ベトナム国家大学ホーチミン市・理科大学	工学部・工学研究科	2009/07/20		
	* ベトナム科学技術アカデミー・材料科学研究所	工学部・工学研究科	2008/02/14		
中東	イラン (1)	* シラス大学工学部	工学部・工学研究科	2002/03/01	
	クウェート (1)	クウェート科学研究所	多元物質科学研究所	2013/02/18	
アフリカ	アラブ首長国連邦 (1)	アラブ首長国連邦大学薬学・健康科学学部	加齢医学研究所	2016/07/10	
	エジプト (2)	アジウト大学	金属材料研究所	1996/01/02	
		* エジプト日本科学技術大学	工学部・工学研究科	2013/05/12	
	ケニア (1)	* KCA 大学経営・公共管理学院	経済学部・経済学研究科	2015/05/05	
	ナイジェリア (1)	* ナイジェリア大学 (ヌスカ) 物理学部	理学部・理学研究科	2016/02/26	
	南アフリカ (2)	* ローズ大学理学部	理学部・理学研究科	2013/09/16	
		* ウィットウォーターズランド大学	理学部・理学研究科	2017/04/19	
オセアニア	オーストラリア (7)	* グリフィス大学工学・情報学部	工学部・工学研究科	2006/01/10	
		グリフィス大学医学部	医学部・医学系研究科	2015/07/02	
		* マッコリー大学	工学部・工学研究科	2015/06/17	
		マッコリー大学・オーストラリアン・スクール・オブ・アドバンスド・メディシン	加齢医学研究所	2014/04/15	
		クイーンズランド工科大学衛生保健学部看護学科	医学部・医学系研究科	2006/04/10	
		メルボルン大学微粒子流体プロセスセンター	材料科学高等研究所	2011/10/26	
		シドニー大学	加齢医学研究所	2017/02/14	
	ニュージーランド (2)	ニュージーランド地質・核科学研究所	理学部・理学研究科	2008/03/19	
		ニュージーランド地質・核科学研究所	災害科学国際研究所	2014/09/01	
北米	カナダ (8)	コンコーディア大学エドモントン	医学部・医学系研究科	2016/02/08	
		マギル大学金属プロセス研究センター	多元物質科学研究所	1998/11/30	
		マギル大学モントリオール神経研究所	加齢医学研究所	2010/06/08	
		プリティッシュコロンビア大学歯学部	歯学部・歯学研究科	2001/04/23	
		トロント大学金属・材料科学科	多元物質科学研究所	1998/12/01	
		* トロント大学応用理工学部	工学部・工学研究科	2016/09/07	
		トロント大学航空宇宙研究所	流体科学研究所	1994/06/20	
		* ビクトリア大学工学部	情報科学研究科	2009/12/21	
		アメリカ (34)	カーネギー研究機構地球物理学研究所	理学部・理学研究科	2008/12/01
			コロンビア大学化学科	多元物質科学研究所	1995/11/22
			コロンビア大学理工学部地球・環境工学科	多元物質科学研究所	1998/10/15
	ハーバード大学理工学部	金属材料研究所	2002/05/31		
	ハーバード大学ライシャワー日本研究所	災害科学国際研究所	2014/06/13		
	マサチューセッツ工科大学電子工学研究所およびマイクロシステム技術研究所	工学部・工学研究科	2015/01/09		
	マサチューセッツ工科大学電子工学研究所およびマイクロシステム技術研究所	金属材料研究所	2015/01/09		
	マサチューセッツ工科大学電子工学研究所およびマイクロシステム技術研究所	電気通信研究所	2015/01/09		
	マサチューセッツ工科大学電子工学研究所およびマイクロシステム技術研究所	多元物質科学研究所	2015/01/09		
	ノースウェスタン大学工学部	流体科学研究所	2013/09/19		
	ポートランド州立大学	経済学部・経済学研究科	2014/12/09		
	ライス大学工学部	金属材料研究所	2012/01/30		
	ライス大学工学部	流体科学研究所	2009/02/18		
	ラトガース大学ワイヤレスネットワーク研究所 (WINLAB)	電気通信研究所	2009/12/09		
	ニューヨーク州立大学ナノスケール科学技術カレッジ	電気通信研究所	2011/07/01		
	* ニューヨーク州立大学オールバニー校	経済学部・経済学研究科	2012/08/06		
	シラキュース大学工学部	流体科学研究所	2001/06/15		
	* ニューヨーク市立大学シティカレッジ工学部	工学部・工学研究科	2010/12/13		
	フォーサイス研究所	歯学部・歯学研究科	2005/12/09		
	* オハイオ州立大学文理学部	文学部・文学研究科	2016/08/01		
	国連開発計画	災害科学国際研究所	2015/08/04		
	カリフォルニア大学ロサンゼルス校純粋応用数学研究所	材料科学高等研究所	2012/08/02		
	カリフォルニア大学リバーサイド校ボーンズ・カレッジ・オブ・エンジニアリング	工学部・工学研究科	2017/03/22		
	カリフォルニア大学サンタバーバラ校工学部	金属材料研究所	2004/03/12		
	* ハワイ大学マノア校社会科学部	経済学部・経済学研究科	2017/03/27		
	イリノイ大学工学部・バイオアクティクス研究所	工学部・工学研究科	1988/08/29		
	イリノイ大学工学部・バイオアクティクス研究所	加齢医学研究所	1988/08/29		

(平成29年5月現在)

エリア	国・地域	機関	部局	締結年月日
北米		イリノイ大学シカゴ校	理学部・理学研究科	2000/05/01
		* イリノイ大学アーバナ・シャンペン校工学部電気・コンピューター工学科	医工学研究科	2013/07/29
		ケンタッキー大学工学部	流体科学研究所	2008/11/17
		ペンシルベニア大学工学部	金属材料研究所	1997/04/25
		ユタ大学金属工学科	多元物質科学研究所	1998/11/15
	ワイオミング大学	工学部・工学研究科	2016/12/01	
	* ワイオミング大学工学部	工学部・工学研究科	2005/06/22	
中南米	アルゼンチン (1)	アルゼンチン国立乳酸菌研究所 (CERELA-CONICET)	農学部・農学研究科	2016/10/17
	ブラジル (1)	リオ・グランジド・スル州立大学法学部及び法学修士課程	法学部・法学研究科	2002/09/02
	チリ (2)	* アタカマ大学	工学部・工学研究科	2006/03/22
		* コンセプシオン大学	工学部・工学研究科	2009/04/07
	キューバ (1)	キューバ・ニューロサイエンス・センター	加齢医学研究所	2008/03/11
メキシコ (1)	* メキシコ国立工科大学	工学部・工学研究科	2000/03/30	
ヨーロッパ	ペラルーシ (1)	ペラルーシ国立科学アカデミーコフ熟物質輸送研究所	流体科学研究所	2016/02/05
	ベルギー (6)	ベルギー原子力研究センター材料研究部	金属材料研究所	2004/04/15
		* ヘント大学文哲学部	文学部・文学研究科	2014/12/16
		* ルーヴェン・カトリック大学工学科学部	工学部・工学研究科	2015/04/30
		* ルーバンカトリック大学理学研究科	理学部・理学研究科	2007/08/29
		* ブリュッセル自由大学工学部	工学部・工学研究科	2016/10/12
		* ブリュッセル自由大学ラ・カンブル＝オルタ建築学部	工学部・工学研究科	2010/09/02
	クロアチア (1)	* プーラ大学	文学部・文学研究科	2016/04/01
	チェコ (6)	チェコ科学アカデミー・物理研究所	金属材料研究所	2017/03/24
		チェコ科学アカデミー・プラズマ物理研究所	流体科学研究所	2000/01/25
		* マサリク大学医学部	医学部・医学系研究科	2008/05/28
		マサリク大学医学部	加齢医学研究所	2008/05/28
		マサリク大学理学部	生命科学研究所	2002/10/22
		* VSB -オストラバ工科大学	工学部・工学研究科	1997/11/10
	デンマーク (5)	* オールボー大学通信基礎研究センター	工学部・工学研究科	2010/11/26
		* デンマーク工科大学	工学部・工学研究科	2000/04/13
		* コペンハーゲン大学	理学部・理学研究科	1999/09/20
		コペンハーゲン大学ヘルシーエイジング研究センター	加齢医学研究所	2012/09/26
		* コペンハーゲン大学経済学部	経済学部・経済学研究科	2014/06/12
	エストニア (1)	* タリン工科大学経済経営学院	経済学部・経済学研究科	2015/05/27
	フィンランド (5)	* アアルト大学経済学研究科	経済学部・経済学研究科	2011/07/07
		* トゥルク応用科学大学電気通信・e ビジネス学部	工学部・工学研究科	2010/02/22
		* 東フィンランド大学	薬学部・薬学研究科	2016/07/13
		オウル大学歯学部	歯学部・歯学研究科	2007/04/13
	* トゥルク大学社会科学部	文学部・文学研究科	2011/11/01	
フランス (24)	アルピュル大学	多元物質科学研究所	1999/10/04	
	* 国立ポルドー高等電気情報通信大学	工学部・工学研究科	2008/04/23	
	サンティエニスアルピュル大学材料構造センター	金属材料研究所	1997/04/29	
	* オパール海岸大学 オパール海岸工学校	工学部・工学研究科	2017/02/14	
	* 国立高等レンヌ化学学校	理学部・理学研究科	2016/01/04	
	* 国立高等電子応用大学院	工学部・工学研究科	2016/09/19	
	* 国立高等産業・企業情報科学大学	工学部・工学研究科	2013/05/29	
	グルノーブル国立理工科大学熱力学物理化学冶金研究所	金属材料研究所	2001/02/05	
	* 国立応用科学院トゥールーズ校	工学部・工学研究科	2006/06/13	
	* トゥールーズ国立理工科大学	工学部・工学研究科	2015/12/09	
	* 航空宇宙高等学院	工学部・工学研究科	2013/12/18	
	* 国立モンペリエ高等建築大学	工学部・工学研究科	2007/07/12	
	国立科学研究所マルセイユ・ナノサイエンス学際センター	電気通信研究所	2005/10/24	
	ロレーヌ国立総合工科大学	金属材料研究所	1980/09/09	
	オレンジ	電気通信研究機構	2013/01/09	
	放射光施設ソレイユ	多元物質科学研究所	2013/06/27	
	* 国立パリ高等情報通信大学	情報科学研究科	2010/03/16	
	* リヨン第一大学	理学部・理学研究科	2011/09/09	
	* リヨン第一大学	工学部・工学研究科	2016/04/25	
	リヨン第一大学発光材料物理化学研究所	金属材料研究所	1999/11/25	
	ナント大学材料研究所	多元物質科学研究所	2014/12/08	
	* ルーアン・ノルマンディー大学理工学部	薬学部・薬学研究科	2016/09/19	
	* トロイ工科大学	工学部・工学研究科	2008/06/13	
	* ベルサイユ大学	工学部・工学研究科	2011/05/26	
ドイツ (31)	* アイトホーヘン工科大学	情報科学研究科	2016/03/30	
	* アーヘン応用科学大学航空工学科	工学部・工学研究科	2016/10/17	
	フ라운ホーファーアルゴリズム・科学計算研究所 (SCAI)、材料メカニズム研究所 (IWM)	材料科学高等研究所	2013/08/06	
	フ라운ホーファー研究機構エレクトロ・ナノシステム研究所	材料科学高等研究所	2011/11/08	
	* フ라운ホーファー研究機構非破壊検査研究所	流体科学研究所	2012/09/26	
	ベルリン自由大学物理学科	多元物質科学研究所	1997/11/03	
	イエナ・フリードリヒ・シラー大学固体物理研究所	多元物質科学研究所	1999/07/27	
	ドイツ航空宇宙センター	災害科学国際研究所	2012/05/23	
	アイエチビー (IHP-Innovations for High Performance Microelectronics)	電気通信研究所	2001/01/22	
	結晶成長研究所	多元物質科学研究所	2006/10/17	
	* カールスルーエ工科大学	情報科学研究科	2009/10/26	
	カールスルーエ工科大学微細加工技術研究所	金属材料研究所	2008/03/24	
	* マインツ大学物理学・数学・計算機科学部	理学部・理学研究科	2012/05/03	
	マックスプランク固体化学物理研究所及びマックスプランク微細構造物理学研究所	金属材料研究所	2017/03/10	
	マックスプランク核物理研究所	多元物質科学研究所	2009/12/24	
	マックスプランク金属研究所	金属材料研究所	1997/04/28	
	* ロイトリンゲン大学	経済学部・経済学研究科	2017/01/10	
	アーヘン工科大学機械工学部、鉱山冶金・地球科学部	工学部・工学研究科	1992/12/15	
	* ハンブルグ・ハールブルグ工科大学	工学部・工学研究科	1997/05/15	
	* パイロイト大学	理学部・理学研究科	2016/02/05	
	* ボン大学人文学部	経済学部・経済学研究科	2013/06/26	
	* エルランゲン大学工学部	工学部・工学研究科	2004/10/05	
	* フライブルグ大学マイクロシステム技術研究所	工学部・工学研究科	1999/06/08	
	グッティンゲン大学法学部	法学部・法学研究科	2000/11/27	
グッティンゲン大学材料物理学研究所	金属材料研究所	1996/12/03		
* グライスバルト大学数学自然科学部薬学研究所	薬学部・薬学研究科	2017/03/16		
ハイデルベルク大学法学部	法学部・法学研究科	2003/09/16		
* パダボン大学経済学部	経済学部・経済学研究科	2011/01/20		
* レーゲンスブルク大学物理学部	工学部・工学研究科	2009/09/22		
* シュトゥットガルト大学エネルギー技術・プロセス工学・生物工学部	工学部・工学研究科	2011/04/26		
* ヴッパータル大学数学自然科学部	理学部・理学研究科	2012/01/23		
ギリシャ (1)	アテネ工科大学機械工学部	流体科学研究所	2004/02/10	

注) *印は、授業料等を不徴収とする交流協定を締結している機関を示す。

学術交流協定締結等

部局間協定

エリア	国・地域	機関	部局	締結年月日
ヨーロッパ	ハンガリー (4)	ハンガリー科学アカデミー・物理材料技術研究所 * センメルワイズ大学医学部 セントイストヴァン大学農学部及び食品学部 ミシュコルツ大学材料科学工学研究科	流体科学研究所 流体科学研究所 農学部・農学研究科 多元物質科学研究所	1999/04/26 2014/09/04 1990/07/02 2014/06/19
	アイスランド (1)	* レイキヤビク大学計算機科学学部	情報科学研究所	2010/06/26
	イタリア (21)	ボローニャ大学教育学部 トリエステ放射光研究所 * ビサ高等師範学校工ニオ・デジョルジ数学研究センター * ヴェネツィア大学「カ・フォスカリ」アジア・アフリカ地中海学部 * フェラーラ大学 フェラーラ大学理学研究科 * ラキュラ大学生活衛生環境科学部 ミラノ大学法学部 ミラノ大学薬学部 * モデナ・レッジョ・エミリア大学物理・コンピューターサイエンス・数学科 パドヴァ大学文・哲学部 ピサ大学物理学科 * ローマ大学「ラ・サピエンツァ」建築学部 * ローマ大学「ラ・サピエンツァ」情報工学、情報科学および統計学部 * ローマ大学「ラ・サピエンツァ」情報工学、情報科学および統計学部 * ローマ大学「ラ・サピエンツァ」文学・哲学部 * ローマ大学「ラ・サピエンツァ」数学・物理学・自然科学部 * ローマ大学「ラ・サピエンツァ」東洋学部 * シエナ大学理学研究科 トリエステ大学建築工学部 トリノ大学	文学部・文学研究科 多元物質科学研究所 理学部・理学研究科 文学部・文学研究科 理学部・理学研究科 サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター 農学部・農学研究科 法学部・法学研究科 薬学部・薬学研究科 情報科学研究所薬学 文学部・文学研究科 金属材料研究所 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 情報科学研究所 文学部・文学研究科 理学部・理学研究科 文学部・文学研究科 理学部・理学研究科 流体科学研究所 加齢医学研究所	2015/04/20 2007/08/29 2013/06/25 2014/06/05 2012/06/27 2011/02/15 2004/02/09 2003/06/12 2003/07/16 2003/03/19 2015/08/01 1999/08/31 2012/04/05 2010/07/26 2010/07/28 2010/03/15 2017/03/24 2008/02/28 2013/08/01 2002/06/28 2011/07/21
	カザフスタン (1)	燃焼問題研究所	流体科学研究所	2016/04/15
	キルギス (1)	キルギスタン国際大学	国際文化研究科	1998/02/20
	オランダ (9)	エラスムス大学エラスムスメディカルセンター疫学部門 * エラスムス大学メディカルセンター * ライデン大学人文学部 * マーストリヒト大学健康医学生命科学部 * アムステルダム大学理学部 * グローニンゲン大学経済学研究科 * コトレヒト大学 Future Food Utrecht * ワーゲンニンゲン大学動物科学研究所 * ワーゲンニンゲン大学実験植物科学研究所	東北メディカル・メガバンク機構 医工学研究科 文学部・文学研究科 医学部・医学系研究科 理学部・理学研究科 経済学部・経済学研究科 農学部・農学研究科 農学部・農学研究科 農学部・農学研究科	2014/08/11 2010/03/23 2011/02/15 2014/05/30 2013/07/11 2012/09/20 2017/01/19 2016/01/28 2016/10/26
	ノルウェー (1)	* ノルウェー科学技術大学・医学健康科学部	医学部・医学系研究科	2017/04/27
	ポーランド (9)	ポーランド電子材料技術研究所 ポーランド真空工学研究所 * ヤグェウォ大学国際政治学部 マリア・キュリー・スクロドゥスカ大学法学部 ポーランド科学アカデミー・物理研究所 ポーランド科学アカデミー・物理研究所 ヴロツワフ大学数学・計算科学研究所 * ヴロツワフ工科大学 * ヴロツワフ工科大学	金属材料研究所 金属材料研究所 文学部・文学研究科 法学部・法学研究科 金属材料研究所 電気通信研究所 情報科学研究所 工学部・工学研究科 流体科学研究所	2002/03/01 2000/06/09 2015/09/30 2003/09/19 2000/12/08 1976/08/03 2009/09/21 2013/02/27 2014/06/10
	ルーマニア (1)	レーザー・プラズマ・放射物理国立研究所	多元物質科学研究所	2006/08/04
	ロシア (17)	* (バウマン・モスクワ国立工科大学フオトニクス・赤外工学研究教育センター無線電子工学・レーザー工学研究所 ロシア科学アカデミー・総合物理学研究所 ロシア科学アカデミー・固体物理学研究所 ロシア科学アカデミー・レベデフ物理研究所 ロシア科学アカデミー・極東支部経済研究所 ロシア科学アカデミー・極東支部自動制御プロセス研究所 ロシア科学アカデミー・シベリア支部人文学・北方民族問題研究所 ロシア科学アカデミー・シベリア支部理論及び応用力学研究所 ロシア科学アカデミー・シベリア支部 V.N. スカチョフ森林研究所 ロシア科学アカデミー・シベリア支部ソブレフ地質学鉱物学研究所 * イマニエール・カントハルト連邦大学物理工学研究所 モスクワ国立大学化学部 / ロシア科学アカデミー・地球化学・分析化学研究所 * モスクワ国立大学心理学部 * ニジゴロド国立農業アカデミー * スモレンスクステートメディカルアカデミー * サンクトペテルブルク電気工科大学 トムスク工科大学原子核物理研究所	電気通信研究所 金属材料研究所 多元物質科学研究所 多元物質科学研究所 多元物質科学研究所 東北アジア研究センター 多元物質科学研究所 東北アジア研究センター 流体科学研究所 東北アジア研究センター 理学部・理学研究科 学際科学フロンティア研究所 多元物質科学研究所 文学部・文学研究科 農学部・農学研究科 加齢医学研究所 電気通信研究所	2014/06/26 1993/01/27 1993/10/01 2000/07/21 2005/09/01 2005/12/01 2009/09/30 1990/01/01 2002/10/01 2008/11/07 2015/01/30 2013/09/02 2013/10/09 2015/04/21 2003/07/18 2016/11/22 1997/12/01
	スロベニア (2)	トムスク工科大学原子核物理研究所 ジョセフ・ステファン研究所 * リュブリャナ大学工学系4学部	多元物質科学研究所 金属材料研究所 工学部・工学研究科	2000/10/05 1998/06/03
	スペイン (6)	* バルセロナ生物医学研究所 マドリッド・アウトノマ大学化学部 アリカンテ大学材料研究所 * カタルーニャ工科大学バルセロナ産業工学部 ヒゴ大学 ヒゴ大学理学部	農学部・薬学研究科 多元物質科学研究所 多元物質科学研究所 工学部・工学研究科 電気通信研究所 農学部・農学研究科	2016/08/01 2013/06/26 2014/02/21 2016/04/11 2011/02/25 1996/11/26
	スウェーデン (5)	* 王立工科大学 リンショーピン大学分析社会学研究所 * リンショーピン大学工学部 * メーラールダーレン大学イノベーション・デザイン・工学部 * スウェーデン農科大学農業・景観計画・園芸学部及び獣医学部	工学部・工学研究科 文学部・文学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 農学部・農学研究科	1990/05/22 2015/05/07 1998/04/02 2016/03/10 2002/05/22
	スイス (1)	スイス連邦工科大学ローザンヌ校	工学部・工学研究科	1994/07/29
	ウクライナ (1)	材料科学基礎国立研究所	多元物質科学研究所	2006/09/20
	イギリス (14)	キングスカレッジロンドンペンタゴンインスティテュート * キングスカレッジロンドン自然科学・数学科 科学技術設備会議タースベリ研究所 * マンチェスター大学物理工学部機械・航空・土木工学科 ユニバーシティカレッジロンドン (UCL)・数物科学部 (MAPS) ケンブリッジ大学化学部 * ケンブリッジ大学工学部 ケンブリッジ大学材料科学・金属学部 ケンブリッジ大学数学科 レスター大学社会科学部 ロンドン大学インスティテュート・オブ・エデュケーション レディング大学心理学・臨床言語科学部 ヨーク大学教育学部 ヨーク大学電子工学部	歯学部・歯学研究科 理学部・理学研究科 多元物質科学研究所 工学部・工学研究科 材料科学高等研究所 材料科学高等研究所 工学部・工学研究科 材料科学高等研究所 材料科学高等研究所 経済学部・経済学研究科 教育学部・教育学研究科 加齢医学研究所 教育学部・教育学研究科 金属材料研究所	2006/08/01 2012/12/01 1996/10/01 2007/03/26 2009/01/06 2011/01/18 2016/11/11 2010/01/26 2013/04/08 2001/02/12 1999/04/26 2016/09/14 2005/02/04 2004/05/18
	ウズベキスタン (1)	タシケント国立経済大学	国際文化研究科	1998/03/04

注) *印は、授業料等を不徴収とする交流協定を締結している機関を示す。

外国人留学生数

外国人留学生数(国・地域別、費用、学籍別)

地域	国・地域	費用別人数						計	学籍別人数												
		国費		私費					学部生	大学院生			研究生			その他					
		男	女	政府派遣		その他				博士・前期	博士・後期	博士・四年	学部	大学院	研究所等	研修コース	日本語(学部)	特別聴講学生(大学院)	特別聴講学生	特別研究生	科目等履修生
				男	女	男	女														
アジア(18カ国・地域) 1,650人 81.4%	インド	9	3			10	3	25	9	5	6	1	1		1	1				1	
	インドネシア	41	24	9	8	32	18	132	23	46	43	6	4		1	8				1	
	韓国	14	3	18	2	67	27	131	45	18	47	1	2	2		15				1	
	カンボジア	2						2	2												
	シンガポール	1	1			1	6	9	3		1					5					
	スリランカ	4	1			1		6	1	3	2										
	タイ	11	9		1	26	15	62	18	10	18	2				10				4	
	台湾					25	32	57	2	20	13	1		3		13				5	
	中国	27	18	12	10	503	473	1,043	61	509	262	34	120	9	9	21				18	
	ネパール	4	2			2	1	9	3	2	4										
	パキスタン	9				1	1	11		4	6				1						
	バングラデシュ	19	3	1		5	7	35	2	8	20	2	2		1						
	フィリピン	2	6		1	8	2	19		4	7	2	2	2	1	1					
	ベトナム	13	10	1		17	8	49	6	16	16	4	1			6					
	マレーシア	2	2	18	9	7	6	44	23	4	14	1	1		1						
	ミャンマー		1			1		2				1			1						
	モンゴル	2	4			3	4	13	1	4	5	2	1								
	ラオス	1						1			1										
	中近東(9ヶ国・地域) 28人 1.3%	アフガニスタン	1						1		1										
イエメン						1		1		1											
イラン		2	1			1	3	7		5		1		1							
クウェート		1						1		1											
サウジアラビア							1	1					1								
シリア		1						1		1											
トルコ		4	2		1	4	2	13	1	4	6					2					
ヨルダン		1	1					2					1		1						
レバノン			1					1		1											
アフリカ(21カ国・地域) 68人 3.4%	アルジェリア	1	1					2		1		1									
	ウガンダ						1	1		1									2		
	エジプト	5		1	2	3	1	12	2	2		6									
	エチオピア	1	1			2		4	1	1	2										
	エリトリア	1						1				1									
	カメルーン	3					1	4		2		1		1							
	ガーナ	2				3	1	6		6											
	ケニア		2			3	3	8		8											
	コンゴ民主共和国	1						1		1											
	シエラレオネ						1	1		1											
	スーダン					1		1		1											
	タンザニア	1				1		2		2											
	チュニジア						1	1			1										
	ナイジェリア	5				1		6		3	1				2						
	ブルキナファソ	1						1					1								
	ボツワナ	1	1		1			3		1	1				1						
	マラウイ		1					1		1											
	マリ	1						1				1									
	南アフリカ	1					2	3		3											
	モザンビーク		1			3	1	5		5											
モロッコ					1	3	4		4												
オセアニア(3カ国・地域) 7人 0.3%	オーストラリア					2	1	3			1								2		
	ニュージーランド		1					1		1											

外国人留学生数

(平成29年5月1日現在)

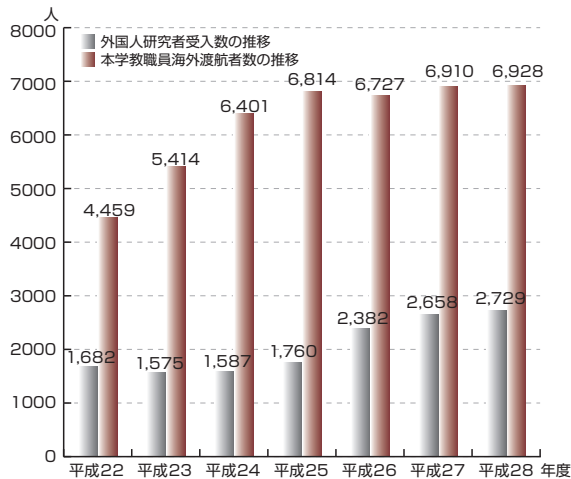
地域	国・地域	費用別人数						計	学籍別人数												
		国費		私費					学部生	大学院生			研究生				その他				
		男	女	政府派遣		その他				博士・前期	博士・後期	博士・四年	学部	大学院	研究所等	研修コース	日本語(学部)	特別聴講学生(大学院)	特別聴講学生	特別研究学生	科目等履修生
				男	女	男	女														
	フィジー	2				1	3		2	1											
北米(2カ国・地域) 44人 2.2%	アメリカ合衆国	7	2			25	8	42	4	6	4		1	2		1	24				
	カナダ					2		2					1								1
中南米(17ヶ国・地域) 50人 2.5%	アルゼンチン	1						1		1											
	エルサルバドル					1		1			1										
	キューバ	1	1					2		1	1										
	グアテマラ	1	3					4		2	1		1								
	コスタリカ	1						1		1											
	コロンビア	1						1			1										
	チリ	3						3		2	1										
	ニカラグア	1						1				1									
	ハイチ共和国	1						1						1							
	パナマ	1						1				1									
	パラグアイ	2						2	1						1						
	ブラジル	6				2		8		1	5		1			1					
	ベネズエラ	5				1	2	8		1	4				1		2				
	ペルー		1			2		3	1	1	1										
	ボリビア	2					2	4			2						1				1
ホンジュラス	1					1	2		1	1											
メキシコ	3	1			2	1	7	1	3	2	1										
ヨーロッパ(27カ国・地域) 180人 8.9%	アルメニア		2					2			1		1								
	イギリス	3				2		5		1	1				1	1				1	
	イタリア	2				5	7	14		1	1					5				7	
	ウクライナ	1					1	2								2					
	ウズベキスタン	1						1			1										
	オーストリア		1			4	1	6			1		1			2				2	
	オランダ					3	3	6		1	1					3				1	
	ギリシャ						1	1		1											
	キルギス						1	1			1										
	スイス					2		2								1				1	
	スウェーデン					17	4	21		1						8				12	
	スペイン	1				2		3						1		2					
	スロバキア			1			1	2			1									1	
	チェコ					1	1	2					1							1	
	ドイツ	1				18	10	29		4	8	1				10				6	
	ハンガリー	1				1	2	4			2	1							1		
	フィンランド	2	1			6	1	10			4					3				3	
	フランス	1				32	8	41	1	8	10					7				15	
	ブルガリア	1						1	1												
	ベルギー	1				2		3					1			1				1	
	ポズナ・バルシェビナ	1						1						1							
ポルトガル						1	1		1												
ポーランド		1			2		3		1	1									1		
ラトビア		1					1			1											
リトアニア					1	1	2		1						1						
ルーマニア	1						1		1												
ロシア	4	4			2	5	15		3	6					4				2		
計(97カ国・地域)		255	118	61	35	870	688	2027	212	750	550	71	141	24	11	19	158	1	89	1	

外国人留学生数

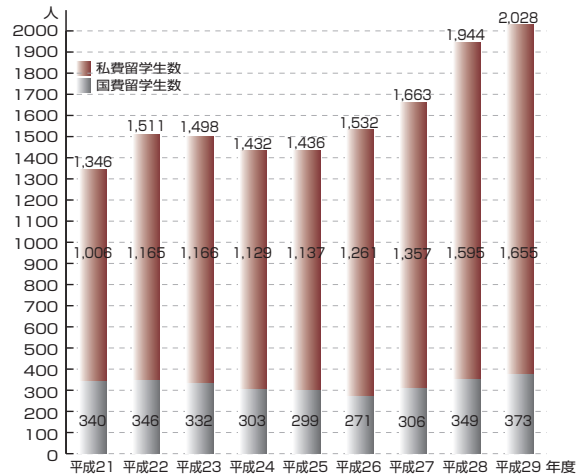
外国人留学生数(国・地域別、部局別)

地域	国・地域	在籍者数	部局別在籍者数																																	
			文学部・文学研究科	教育学部・教育学研究科	法学部・法学研究科	法科大学院	経済学部・経済学研究科	会計大学院	理学部・理学研究科	医学部・医学系研究科	歯学部・歯学研究科	薬学部・薬学研究科	工学部・工学研究科	農学部・農学研究科	国際文化研究科	情報科学研究科	生命科学研究科	環境科学研究科	医工学研究科	教育情報学教育部	金属材料研究所	加齢医学研究所	流体科学研究所	電気通信研究所	多元物質科学研究所	災害科学国際研究所	東北アジア研究センター	日本語研修コース	サイエンス・シニアセンター	未来科学技術共同研究センター	学際科学フロンティア研究所	材料科学フロンティア研究所	学務審議会(PLA)			
アジア (18ヶ国・地域)	インド	25							5	1	1	11	1		2	2									1											
	インドネシア	132	4	1			5	2	35	3	4	1	26	17	4	6	16	2										1								5
	韓国	131	22	1	5		6		15	5			62	4	2	3		1	2	1																2
	カンボジア	2											2																							
	シンガポール	9	1						3					2																						2
	スリランカ	6							2				2																							
	タイ	62	2				3		6	3	2		25	4	4	3	1	4																		5
	台湾	57	6		2		6	7	4			1	1	16	1	6	2		1	1																3
	中国	1,043	141	21	38		120	46	58	47	16	19	238	46	79	82	16	34	9	23					2	2	1	1		1					2	1
	ネパール	9							5	1			2																							
	パキスタン	11					1			2			4			1	1		1																	1
	バングラデシュ	35					1		14	2			7	3			1	3	3																	1
	フィリピン	19								2	1		9	1	4		1									1										
	ベトナム	49	1		1		6		9	3	1		15	1		1		6	1																	4
	マレーシア	44					3		2	1		1	28			1	1	4	2																	1
	ミャンマー	2								1																										1
	モンゴル	13	1	1					1		2		1		2	1		4																		
	ラオス	1											1																							
	中近東 (9ヶ国・地域)	アフガニスタン	1										1																							
イエメン		1										1																								
イラン		7					1		1			2	1	1																					1	
クウェート		1																1																		
サウジアラビア		1										1																								
シリア		1											1																							
トルコ		13	1				1		1				4	1		2	2																		1	
ヨルダン		2											1																						1	
レバノン		1												1																						
アフリカ (21ヶ国・地域)		アルジェリア	2									1		1																						
	ウガンダ	1						1																												
	エジプト	12								6	1		2	1			1	1																		
	エチオピア	4						1	2			1																								
	エリトリア	1									1																									
	カメルーン	4						1		1																									1	
	ガーナ	6						2							4																					
	ケニア	8						2	2		1	2							1																	
	コンゴ民主共和国	1								1																										
	シエラレオネ	1									1																									
	スーダン	1						1																												
	タンザニア	2							1																											
	チュニジア	1											1																							
	ナイジェリア	6							1	2								1																	2	
	ブルキナファソ	1	1																																	
	ボツワナ	3											1																						1	
	マラウイ	1																																		
	マリ	1										1																								
	南アフリカ	3							1	1																									1	
モザンビーク	5							2		1							1																	1		
モロッコ	4							1	1								1																			
オセアニア (3ヶ国・地域)	オーストラリア	3										3																								
	ニュージーランド	1											1																							

研究者等交流状況の推移



外国人留学生受入数の推移



海外拠点

海外事務所

	設立
① 中国代表事務所(北京) Tohoku University China Office	2007年4月20日
② ロシア代表事務所(モスクワ) Tohoku University Russia Office	2010年9月11日
③ ロシア代表事務所シベリア支部(ノボシビルスク) Tohoku University Russia Office Siberia Branch	2010年9月11日
④ タイ代表事務所(バンコク) Tohoku University Thailand Office	2016年3月14日
⑤ ワシントン大学ー東北大学 アカデミックオープンスペース(シアトル) University of Washington-Tohoku University: Academic Open Space (UW-TU: AOS)	2017年4月14日



ロシア代表事務所のサポートのもと開催された第6回日露学長会議(モスクワ国立大学)

リエゾンオフィス

締結機関(設置場所)	国名(締結日)	オフィス名	世話部局
⑤ ニューサウスウェールズ大学(国際交流センター)	オーストラリア(2002年5月17日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 法学研究所
⑥ モスクワ国立大学(物理学部)	ロシア(2002年6月21日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 工学研究所
⑦ シラキュース大学(計算機科学・工学部)	アメリカ(2003年11月19日)	流体科学研究所リエゾンオフィス	流体科学研究所
⑧ 韓国科学技術院(機械工学部)	韓国(2003年12月18日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所
⑨ 大連理工大學(材料科学与工程学院)	中国(2005年10月7日)	大連理工大學材料科学与工程学院・東北大学金属材料研究所共同研究センター	金属材料研究所
⑩ 熱帯医学研究所	フィリピン(2007年5月1日)	東北大学-RITM 新興・再興感染症 共同研究センター(フィリピン拠点)	医学系研究所
⑪ バンドン工科大学	インドネシア(2011年8月2日)	環境科学研究科 国際環境リーダーリエゾンオフィス(2015年3月23日:オフィス名変更に伴い再締結)	環境科学研究科
⑫ ソウル大学校(工科大学)	韓国(2011年12月1日)	日本国4大学(北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学)工学部等と大韓民国ソウル大学校工科大学の間における連絡オフィス	工学研究所
⑬ スウェーデン王立工科大学(機械学科)	スウェーデン(2012年6月28日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 工学研究所
⑭ カリフォルニア大学リバーサイド校	アメリカ(2013年2月1日)	東北大学センター	高度教養教育・学生支援機構
⑮ リヨン大学(国立応用科学院リヨン校金属材料物理研究所)	フランス(2015年6月2日) ※2004年1月23日国立応用科学院リヨン校との締結を発展したもの	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 工学研究所 加齢医学研究所 医学系研究所
⑯ 貿易大学	ベトナム(2015年12月19日)	東北大学ー貿易大学共同事務所	高度教養教育・学生支援機構
⑰ 国立交通大学(工学部)	台湾(2017年5月4日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 未来科学技術共同研究センター 工学研究科 理学研究科 材料科学高等研究所

国際的な大学連合への加盟

(平成29年5月1日現在)

	設立年月	設立の経緯	加盟国・地域 (加盟大学)	本学の 加盟年
環太平洋大学協会 (APRU) (Association of Pacific Rim Universities)	1997.6	<p>環太平洋圏の主要大学間の相互交流を深めることにより、環太平洋地域社会にとって重要な諸問題に対し、教育・研究の分野から協力・貢献することを目的として設立された。</p> <p>日本からは、東北大学、東京大学、大阪大学、慶應義塾大学、早稲田大学が加盟。</p>	16 (44)	2008年
東アジア研究型大学協会 (AEARU) (The Association of East Asian Research Universities)	1996.1	<p>東アジアにおける有力な研究指向型の大学学長間の交流の場を持つこと、および教員・学生の交流など加盟大学間の密接な交流を行うことを目的として設立された。</p> <p>日本からは、東北大学、筑波大学、東京大学、東京工業大学、京都大学、大阪大学が加盟。</p>	4 (18)	1998年
T.I.M.E. (Top Industrial Managers for Europe)	1989.10	<p>ヨーロッパの理工系大学間において、主に修士課程レベルでのダブル・ディグリープログラムによる交流を通じてトップレベルのエンジニアを養成することを視野に入れて設立された。</p> <p>2005年よりヨーロッパ以外の大学の加盟が可能になり、ブラジル、中国、オーストラリアの大学をはじめ、日本からは東北大学、慶應義塾大学、同志社大学が加盟。</p>	21 (55)	2007年
日独6大学コンソーシアム (HeKKSaGOn) (A network of six leading universities from Japan and Germany: Heidelberg, Kyoto, Karlsruhe, Tohoku (in Sendai), Göttingen, Osaka)	2010.7	<p>日本とドイツの主要大学の研究者、教職員及び学生の交流、共同研究の推進、サマースクール等の開催など、日独大学間の交流を推進することを目的として設立された。日本からは、東北大学、京都大学、大阪大学が加盟。</p>	2 (6)	2010年
日英産学連携プログラム (RENKEI) Japan-UK Research and Education Network for Knowledge Economy Initiatives	2012	<p>日本と英国の主要大学の連携を基盤とし、共同研究、知識移転、人材育成の分野において、産業界との連携を強化することを目的として設立された。日本からは、東北大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学、立命館大学が加盟。</p>	2 (12)	2012年



第5回日独6大学学長会議
(カールスルーエ工科大学(ドイツ))
(写真提供: カールスルーエ工科大学)



第4回 APRU-IRIDeS
マルチハザードサマースクール (東北大学)

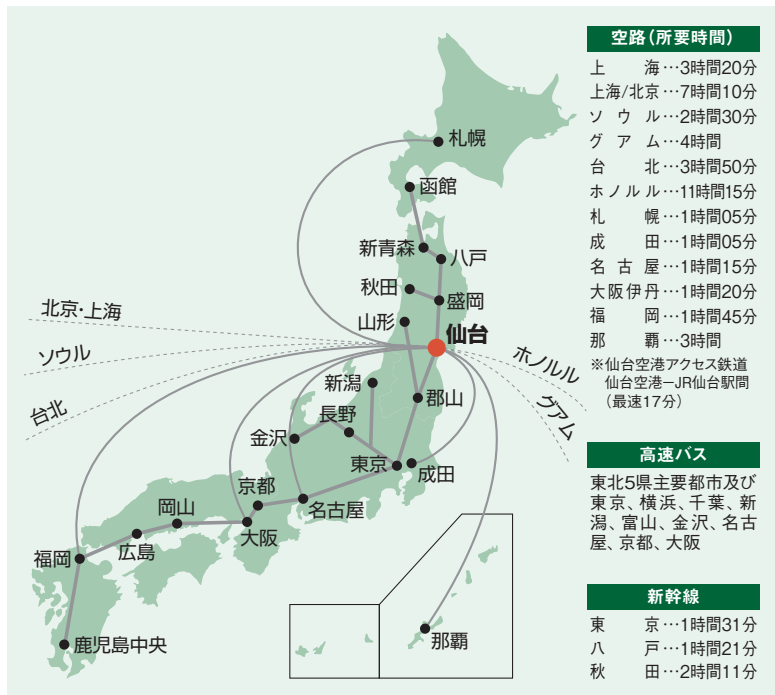
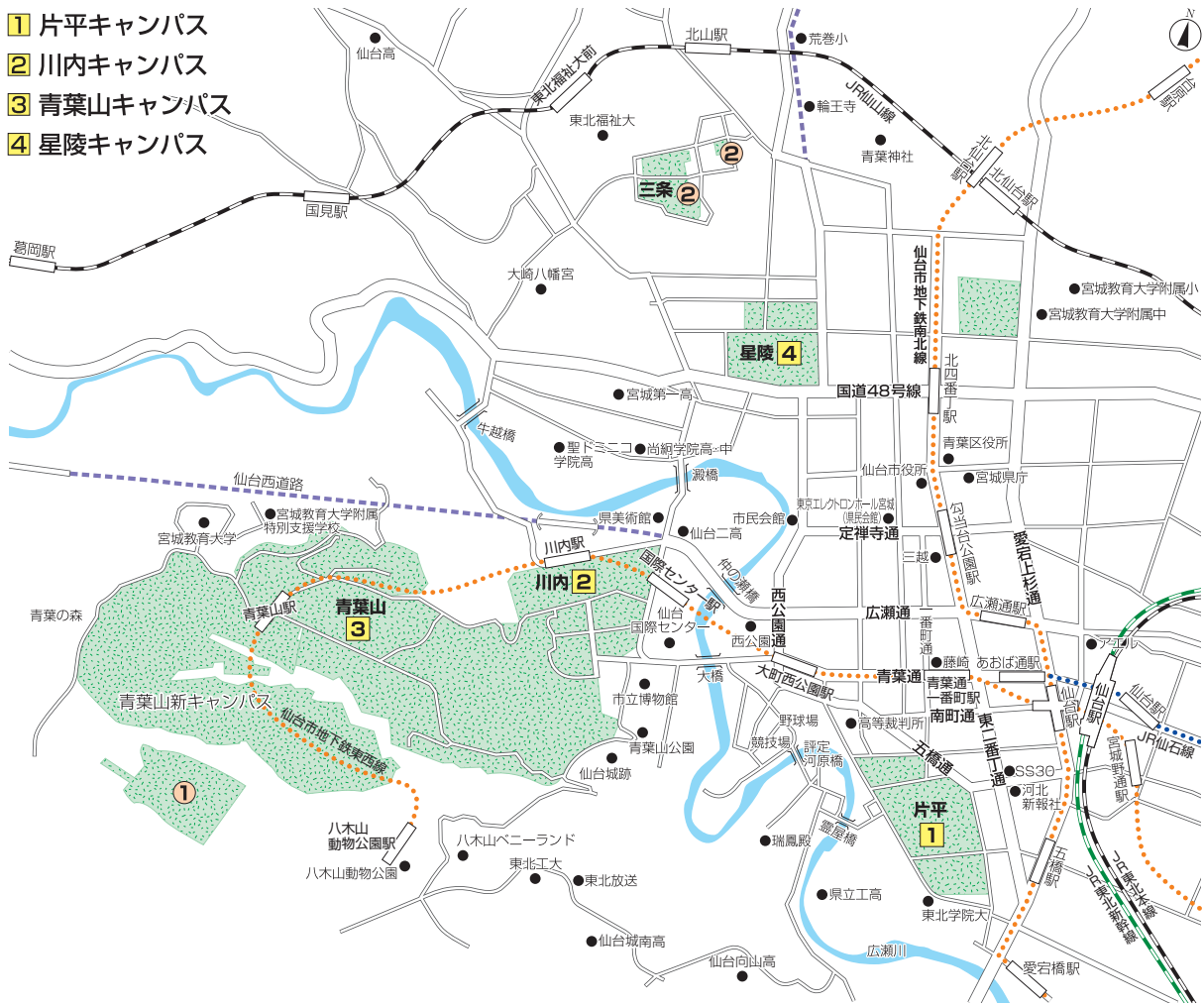


第11回 AEARU Web Technology and Computer Science Workshop - Computer Science and Data Science

施設所在地一覧

主要地区

- 1 片平キャンパス
- 2 川内キャンパス
- 3 青葉山キャンパス
- 4 星陵キャンパス



その他の地区

施設名	住所・郵便番号(県名のないものは宮城県)	代表電話番号
① 西澤潤一記念研究センター(マイクロシステム融合研究開発センター)	〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉519-1176	022(229)4113
国際交流会館三条第一会館	〒981-0935 仙台市青葉区三条町19-1	022(275)9901
② ユニバーシティ・ハウス三条	〒981-0935 仙台市青葉区三条町19-1	022(274)7305
国際交流会館三条第二会館	〒981-0935 仙台市青葉区三条町10-15	022(718)7850
③ 国際交流会館東仙台会館	〒983-0833 仙台市宮城野区東仙台6-14-15	022(293)5591
④ 電子光学研究センター	〒982-0826 仙台市太白区三神峯1-2-1	022(743)3400
⑤ 東北大学けんこうプラザ	〒989-3204 仙台市青葉区南吉成6-6-5	022(341)2453
⑥ 理学研究科附属惑星プラズマ・大気研究センター 惑星圏女川観測所	〒986-2204 牡鹿郡女川町桐ヶ崎字桐ヶ崎15-3-1	0225(53)3374
⑦ 農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター	〒986-2242 牡鹿郡女川町小乗浜字向3-1	0225(53)2436
⑧ 農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター(教育関係共同利用拠点)	〒989-6711 大崎町鳴子温泉字蓬田232-3	0229(84)7312
⑨ 川渡共同セミナーセンター	〒989-6711 大崎町鳴子温泉字原75	0229(84)7309
⑩ 生命科学研究科潜水生態系野外実験施設	〒989-4104 大崎町鹿島台町広長字内ノ浦134-2	0229(56)2020
⑪ 理学研究科附属惑星プラズマ・大気研究センター 惑星圏蔵王観測所	〒989-0916 刈田郡蔵王町遠刈田温泉七日原	0224(34)2743
⑫ 生命科学研究科附属浅虫海洋生物学教育研究センター	〒039-3501 青森県青森市大字浅虫字坂本9	017(752)3388
⑬ 学術資源研究公開センター植物園八甲田山分園	〒030-0111 青森県青森市大字荒川十和田八幡平国立公園酸々湯集團施設	017(738)0621
⑭ 理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター(秋田県地震観測所)	〒011-0936 秋田県秋田市將軍野南1-14-46	018(845)8716
⑮ 理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター(本荘地震観測所)	〒015-0091 秋田県由利本荘市大築字西の角4	0184(29)2124
⑯ 理学研究科(三陸地震観測所)	〒022-0101 岩手県大船渡市三陸町越喜来字小泊114	0192(44)2107
⑰ 理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター(遠野地震観測所)	〒028-0545 岩手県遠野市松崎町駒木4-120-74	0198(62)2800
⑱ 金属材料研究所附属量子エネルギー材料科学国際研究センター	〒311-1313 茨城県東茨城郡大洗町成田町2145-2	029(262)3181
金属材料研究所附属産学官広域連携センター(大阪オフィス)	〒599-8531 大阪府堺市中央区学園町1-2 大阪府立大学内 地域連携研究機構8階	072(254)6372
金属材料研究所附属産学官広域連携センター(兵庫オフィス)	〒671-2280 兵庫県姫路市書写2167 兵庫県立大学内 インキュベーションセンター2階	079(260)7209
⑳ 理学研究科附属惑星プラズマ・大気研究センター 惑星圏飯館観測所	〒960-1636 福島県相馬郡飯館村前田	0244(42)0530
㉑ ニュートリノ科学研究センター 液体シンチレータ反ニュートリノ観測施設	〒506-1205 岐阜県飛騨市神岡町東茂住上町408	0578(85)0030
㉒ 東北大学東京分室	〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー10階	03(3218)9612
㉓ 東京サイト	〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-3-11	03(3273)3602
㉔ 東北大学大学院会計専門職専攻国際会計政策コース拠点	〒1132-0035 東京都江戸川区平井6-1-17	03(6869)3195

学寮、ユニバーシティ・ハウス、国際交流会館

施設名称	収容定員	所在地	電話番号
日就寮(日本人学生の男子)	103名	〒982-0832 仙台市太白区八木山緑町16-3	022-229-1858
以文寮(日本人学生の男子)	96名	〒982-0832 //	022-229-5392
齋風寮(日本人学生の男子)	81名	〒982-0832 //	022-229-4954
如春寮(日本人学生の女子)	64名	〒981-0935 仙台市青葉区三条町19-1	022-272-9857
明善寮(日本人学生の男子)	160名	〒980-0011 仙台市青葉区上杉6丁目3-2	022-234-0134
松風寮(日本人学生の男子)	150名	〒980-0011 //	022-275-1221
ユニバーシティ・ハウス三条(日本人学生及び留学生の男女)	416名	〒981-0935 仙台市青葉区三条町19-1	022-274-7305
ユニバーシティ・ハウス三条Ⅱ(日本人学生及び留学生の男女)	216名	〒981-0935 //	022-718-2021
ユニバーシティ・ハウス三条Ⅲ(日本人学生及び留学生の男女)	208名	〒981-0935 //	//
ユニバーシティ・ハウス上杉(日本人学生及び留学生の男女)	32名	〒980-0011 仙台市青葉区上杉六丁目3-2	(問合せ先) 学生支援課 生活支援係 022-795-3943
ユニバーシティ・ハウス長町(日本人学生及び留学生の男女)	48名	〒982-0011 仙台市太白区長町八丁目6-10	022-797-9301
ユニバーシティ・ハウス片平(日本人学生及び留学生の男女、外国人研究者)	81名	〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-14-15	022-797-9301
国際交流会館三条第一会館(留学生の男女、外国人研究者)	254名	〒981-0935 仙台市青葉区三条町19-1	022-275-9901
国際交流会館三条第二会館(留学生の男女)	108名	〒981-0935 仙台市青葉区三条町10-15	022-718-7850
国際交流会館東仙台会館(留学生の男女)	70名	〒983-0833 仙台市宮城野区東仙台6-14-15	022-293-5591

課外活動施設

施設名称	住所
評定河原陸上競技場・合宿所	〒980-0815 仙台市青葉区花壇2-1
釜房ボート艇庫	〒989-1505 柴田郡川崎町大字小野字西田10-5
戸田ボート艇庫・合宿所	〒335-0024 埼玉県戸田市戸田公園5-50
七ヶ浜ヨット艇庫	〒985-0802 宮城県七ヶ浜町吉田浜字浜屋敷61-1
萩雪ヒュッテ	〒990-2301 山形県山形市蔵王温泉荒敷820-1
清溪小屋	〒989-0800 刈田郡蔵王町字倉石岳国有林305口林小班
片平体育館	〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1
片平第(2・5・6)ホール	//
富沢野球場	〒982-0826 仙台市太白区三神峯1-5
富沢自動車練習場	〒982-0826 仙台市太白区三神峯1-6
馬場	〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
川内サブアリーナ	〒980-8576 仙台市青葉区川内4-1
川内課外活動共用施設(川内ホール)	//
川内サークル部室棟	//
川内課外活動共用施設A	//
川内課外活動共用施設B	//
サークルE・F・G棟	//



ユニバーシティ・ハウス片平

建物配置図

1 片平キャンパス

●土地: 229,613㎡ ●建物: 200,105㎡ (平成29年5月1日現在)

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1 電話番号案内 022(717)7800

大学本部、研究所



エクステンション教育研究棟

本部事務機構

- 総長室経営企画スタッフ室 26
- 総務企画部総務課 26
- 総務企画部広報課 28
- 総務企画部法務課 27
- 総務企画部コンプライアンス推進課 27
- 人事企画部人事企画課 29
- 人事企画部人事給与課 29
- 人事企画部環境安全推進課 40
- 財務部 29
- 研究推進部 29
- 施設部 34
- 情報部情報推進課 27
- 国際交流課 30
- 監査室 27

経済学研究科

- 地域イノベーション研究センター 41

生命科学研究科

- 事務室 36
- 生命科学研究所本館 37
- 生命科学プロジェクト総合研究棟 36
- 環境制御実験棟 38

医工学研究科

- 研究室 61

法科大学院、公共政策大学院

- 事務室 41

会計大学院

- 事務室、研究室 35
- 講義室 41

金属材料研究所

- 本多記念館(事務室) 9
- 1号館、2号館、3号館、4号館 10 11 12 17
- 10号館(放送大学宮城学習センター) 1
- 共同研究プロジェクト棟 4
- スーパーコンピュータ棟 5
- アルファ放射体実験室 6
- 技術棟I、技術棟II 7 8
- 共通ラボ棟 15
- 国際教育研究棟 16
- 附属新素材共同研究開発センター 13
- 附属強磁場超伝導材料研究センター 14
- 附属強磁場超伝導材料研究センター別館 75
- 極低温科学センター 3

流体科学研究科

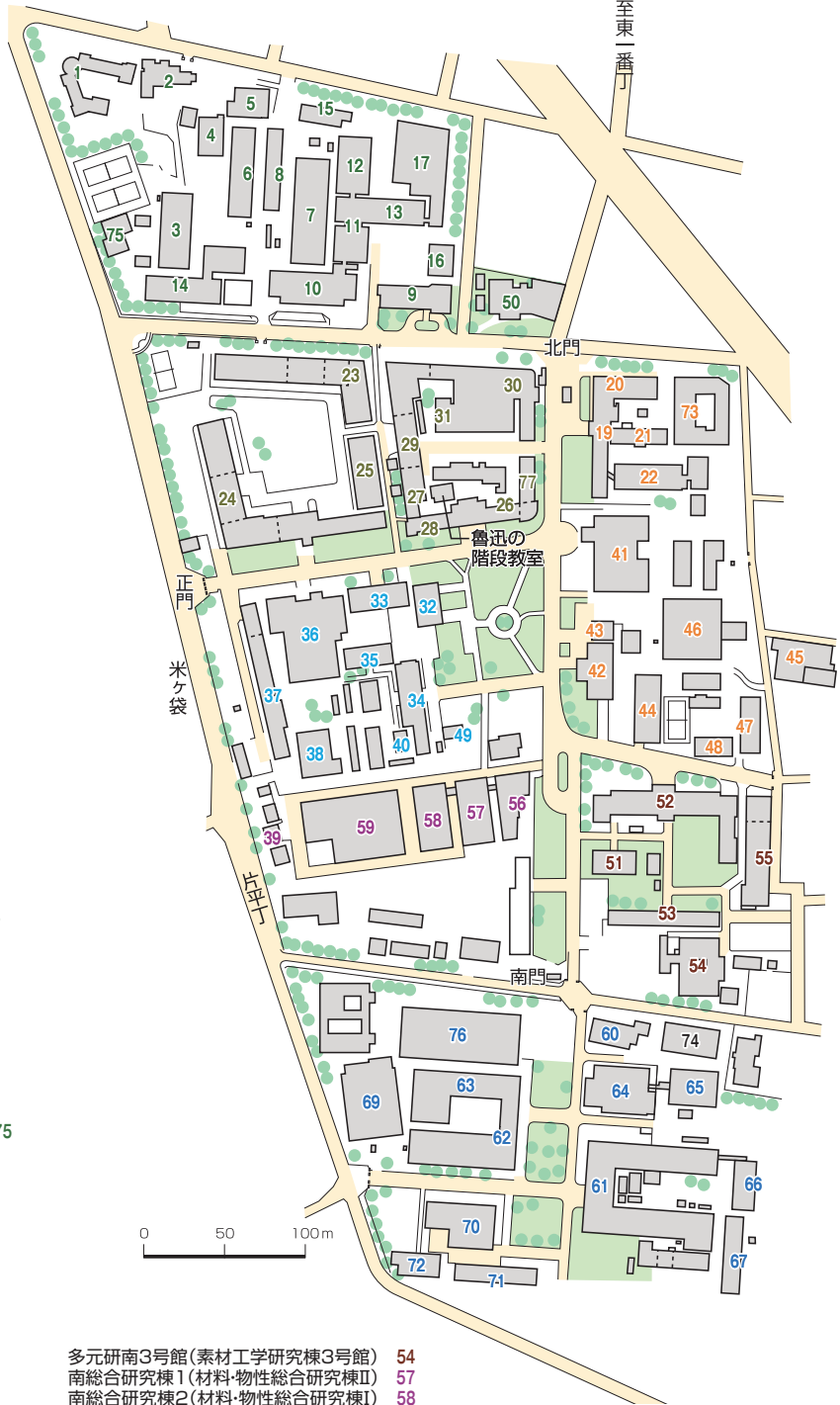
- 事務室 42
- 流体研1号館、2号館、3号館 42 44 45
- 高速流実験棟 46
- 衝撃波学際応用実験棟 47
- 低乱風洞実験棟 70
- GCOE棟 43
- ジョイントラボラトリー棟 48
- 附属未到エネルギー研究センター 44

電気通信研究所

- 事務室 76
- 通研本館 76
- 通研1号館、2号館 61 62 63
- ブレインウェア研究開発施設 64 65
- 評価分析センター 66
- 共同研究棟 67
- ナノ・スピニング実験施設 59
- 21世紀情報通信研究開発センター 71 72

多元物質科学研究科

- 事務部棟 51
- 多元研東1号館(反応化学研究棟1号館) 19
- 多元研東2号館(反応化学研究棟2号館) 22
- 多元研東3号館(反応化学研究棟旧館) 21
- 多元研西1号館(科学計測研究棟S棟) 24
- 多元研西2号館(科学計測研究棟N棟) 23
- 多元研西工場(工場棟) 25
- 多元研南1号館(素材工学研究棟1号館) 52
- 多元研南2号館(素材工学研究棟2号館) 53



- 多元研南3号館(素材工学研究棟3号館) 54
- 南総合研究棟1(材料・物性総合研究棟II) 57
- 南総合研究棟2(材料・物性総合研究棟I) 58
- 多元研共同研究棟 55
- 多元研図書室 31
- 材料科学高等研究所(AIMR)
- 事務室 30
- AIMR本館 30
- AIMRラボ棟 17
- AIMR別館 20
- 史料館 33
- 研究教育基盤技術センター片平分室 36
- 先端電子顕微鏡センター 32
- 産学連携機構 29
- 埋蔵文化財調査室 34 39
- キャンパスデザイン室 34
- 省エネルギー・スマートロニクス集積化システムセンター 59
- 情報公開室 27
- 産学連携先端材料研究開発センター 73

- エクステンション教育研究棟 41
- 文化財収蔵庫 49
- 片平北門会館 50
- ユニバーシティハウス片平、エスパス、セリシール、北門ラウンジ
- 厚生施設(さくらショップ)
- 厚生施設(さくらキッチン・レストラン棟)
- 片平会館 2
- さくらホール 56
- 厚生施設(学生ホール) 60
- 片平体育館 69
- 知の館 77
- 男女共同参画推進センター 41
- 耐災害ICT研究センター 74

2 川内キャンパス

人文社会科学学部、全学教育

●土地:817,777㎡ ●建物:140,373㎡(平成29年5月1日現在)

川内北キャンパス 〒980-8576 仙台市青葉区川内41
 川内南キャンパス 〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1
 電話番号案内 022(717)7800



- 本部事務機構
 教育・学生支援部(教育・学生総合支援センター) 7
 教育・学生支援部入試課 19
 文学部・文学研究科
 事務室 22
 文学研究科・法学研究科合同研究棟 24
 教育学部・教育学研究科
 事務室 25
 法学部・法学研究科
 事務室 23
 文学研究科・法学研究科合同研究棟 24
 経済学部・経済学研究科
 事務室 28
 演習室 28 29
 国際文化研究科
 事務室 6
 附属言語脳認知総合科学研究センター 6
 教育情報学研究部・教育情報学教育部
 事務室 25
 附属図書館 本館 20
 東北アジア研究センター
 事務室・研究室 3
 分室 19
 高度教養教育・学生支援機構
 事務室 3
 保健管理センター、
 学生相談・特別支援センター(学生相談所)、

- ハラスメント全学学生相談窓口 4
 入試センター 19
 学生相談・特別支援センター(特別支援室) 33
 キャリア支援センター 7
 大学教育支援センター 3
 学習支援センター(SLAサポート) 11
 グローバルラーニングセンター 17
 教養教育院 1
 植物園
 本館 30
 津田記念館 31
 教育情報基盤センター 11
 学生実験棟 2
 川北合同研究棟 3
 講義棟A棟、B棟、C棟 8 9 10
 マルチメディア教育研究棟 11
 文科系総合講義棟 36
 中講義棟 26
 文科系総合研究棟 25
 文科系合同研究棟 27
 サークル棟 5
 サークルF・G棟 12
 厚生施設(川内北キャンパス厚生会館) 13
 川内サブアリーナ 14
 川内体育館(川内アリーナ) 15
 川内課外活動共用施設B 16
 川内課外活動共用施設A 17
 教育研究基盤支援棟4 33

- 教育研究基盤支援棟5 34
 川内サークル部室棟 18
 川内課外活動共用施設(川内ホール) 35
 百周年記念会館(川内萩ホール) 21
 厚生施設(文系食堂) 32
 応急学生寄宿舍(川内地区) 34



川内キャンパス

建物配置図

青葉山キャンパス

理工系学部



<青葉山キャンパス>

本部事務機構

情報部情報基盤課 29

理学部・理学研究科

事務棟 12

理学研究科合同A棟・B棟 24

理学研究科合同A棟別館 25

理学研究科大講義棟 5

理学研究科合同C棟 101

数学系研究棟 7

物理系研究棟 2

物理系講義棟 3

物理・化学合同棟 4

化学系研究棟 8

地球科学系研究棟 11

生物学系研究棟 10

超伝導核磁気共鳴装置棟 13

数理科学記念館 6

巨大分子解析センター棟 9

附属大気海洋変動観測研究センター 2

附属惑星プラズマ・大気研究センター 2

附属地震・噴火予知研究観測センター 68

機器開発研修棟 77

薬学部・薬学研究科

事務室 15

薬学研究科A棟 15

薬学研究科B棟 16

薬学研究科C棟 17

薬学研究科D棟 18

附属薬用植物園管理棟 19

工学部・工学研究科

事務室(中央棟) 46

事務室(管理棟) 41

機械系講義棟(機械・知能系事務室) 57

電子情報システム・応物系1号館 39

電子情報システム・応物系2号館 100

電子情報システム・応物系仮設校舎 33 51 53 54 55

化学・バイオ系研究棟本館(事務室) 37

化学・バイオ系実験棟 108

総合実験棟 109

化学・バイオ系大講義棟 110

化学・バイオ系講義棟 111

化学・バイオ系研究棟分館 112

化学・バイオ系第二研究棟 113

超臨界溶媒工学研究棟 114

マテリアル・開発系教育研究棟(事務室) 103

マテリアル・開発系マテリアル共同研究棟 60

マテリアル・開発系 革新材料研究棟 73

マテリアル・開発系実験・工場棟 79

マテリアル・開発系材料実験棟 115

マテリアル・開発系大講義棟 118

人間・環境系教育研究棟 102

教育研究基盤支援棟 19[A1] 48

社会環境工学実験棟 49

工学系総合研究棟

創造工学センター 43

電子情報システム・応物系3号館 31

建築実験所 27

建築実験棟 38

附属先端材料強度科学研究センター 40

附属先端材料強度科学研究センター電力未来技術研究室 72

附属超臨界溶媒工学研究センター 40

附属マイクロ・ナノマシニング研究教育センター 64

技術社会システム専攻 40

機械系1号館 80

機械系実験棟I 81

機械系実験棟J 82

機械系実験研究棟 83

機械・知能系教育実験棟 84

附属先端材料強度科学研究センター環境材料強度研究棟 85

機械系2号館 86

機械・知能系共同棟 87

量子エネルギー工学専攻本館 88

量子エネルギー工学専攻講義棟 89

放射線同位元素実験室 90

生活環境早期復旧技術研究センター研究棟 91

生活環境早期復旧技術研究センター実験棟 92

●土地: 1,577,230㎡ ●建物: 437,228㎡ (平成29年5月1日現在)

工学研究科・工学部・医工学研究科・未来科学技術共同研究センター 〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6
 農学研究科・農学部・環境科学研究科・災害科学国際研究所 〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1
 理学研究科・理学部・薬学研究科・薬学部・情報科学研究科 〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
 電話番号案内 022(717)7800



青葉山キャンパス



中央棟

先進核融合炉工学総合実験棟 93
 高速中性子実験棟 94
 臨界未満装置実験室(量子エネルギー科学館) 95
 ナノ医工学実験棟 96
 ナノ医工学研究棟 97

情報科学研究科
 研究棟・事務室 32
 研究室 31 32 39 80 86 87 100 102
 生命科学研究科
 研究室 8 10 24 25
 環境科学研究科

研究棟 56
 エコラボ 58
 医工学研究科
 事務室 41
 研究室 39 40 41 80 100
 附属図書館 北青葉山分館 21
 附属図書館 工学分館 44
 ニュートリノ科学研究センター 22
 総合学術博物館 23
 自然史標本館 23
 国際高等研究教育院 28
 学際科学フロンティア研究所 28
 サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター 26
 未来科学技術共同研究センター(NICHe) 35
 極低温科学センター 1
 サイバーサイエンスセンター 29
 サイバーサイエンスセンター2号館 104
 環境保全センター 67
 未来情報産業研究館 34
 未来産業技術共同研究館 78
 青葉山体育館 30
 厚生施設(けやきダイニング) 36
 厚生施設(北青葉山厚生会館) 20
 ハッチェリースクエア 42
 厚生施設(あおば食堂) 46
 青葉記念会館 45
 厚生施設(こもれびカフェ、コンビニエンスストア) 65
 自動車の過去・未来館 66
 厚生施設「BOOK」(ブックカフェ、売店) 47

建物配置図

③青葉山キャンパス

●土地: 1,577,230㎡ ●建物: 437,228㎡(平成29年5月1日現在)

理工系学部

工学研究科・工学部・医工学研究科・未来科学技術共同研究センター 〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6
 農学研究科・農学部・環境科学研究科・災害科学国際研究所 〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1
 理学研究科・理学部・薬学研究科・薬学部・情報科学研究科 〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
 電話番号案内 022(717)7800



<青葉山新キャンパス>

- 農学部・農学研究科
- 事務室 110
- 総合研究棟 110
- 附属動物研究棟 111
- 環境科学研究科
- 環境科学研究科本館 108
- 災害科学国際研究所
- 災害科学国際研究所棟 105
- 青葉山 commons 109
- 附属図書館農学分館
- 厚生施設(みどり食堂)
- 厚生施設(みどりショップ)
- 国際集積エレクトロニクス研究開発センター 98
- エネルギーセンター 99
- レジリエント社会構築イノベーションセンター 106
- レアメタル総合棟 107



4 星陵キャンパス

●土地:179,214㎡ ●建物:317,203㎡(平成29年5月1日現在)

医・歯学部、病院

病院 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1
 医学部・医学系研究科 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1
 東北メディカル・メガバンク機構 〒980-8573 仙台市青葉区星陵町2-1
 歯学部・歯学研究科/加齢医学研究所 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町4-1
 電話番号案内 022(717)7000



医学部・医学系研究科

- 事務室 19
- 医学部0号館 16
- 医学部1号館 19
- 医学部2号館 33
- 医学部3号館 34
- 医学部4号館 17
- 医学部5号館 20
- 医学部6号館 44
- 保健学科D棟 42
- 教育研究基盤支援棟 41
- 保健学科A棟 13
- 保健学科B棟 12
- フロンティア研究棟 14
- プリオン研究実験棟 23
- 動物実験施設 24
- 実習講義棟 18
- 臨床講義棟 35
- 創生応用医学研究センター 20
- オートプシー・イメージングセンター 12
- 環境遺伝医学総合研究センター 44
- 総合地域医療研修センター 38
- 東北大学クリニック・スキルスラボ 38

歯学部・歯学研究科

- 事務室 10
 - 基礎研究棟 8
 - 実習講義棟 9
 - 臨床研究棟 10
 - 第2臨床研究棟 40
- 薬学研究科
- 研究室 44

医工学研究科

- 研究室 3 10 17 19 21 33 34 44
 - 医工学実験棟 21
- 加齢医学研究所
- 事務室 4
 - 加齢研実験研究棟 3
 - プロジェクト総合研究棟 4
 - スマートエイジング研究棟 39
 - ブレインイメージング研究棟 6
 - ブレインダイナミクス研究棟 7

- 腫瘍動物実験棟 5
- 先進フロンティア研究棟 11
- 先端医療実験棟 47
- 動物資源実験棟 48

附属図書館 医学分館 37

病院

- 事務室(管理棟) 31
- 外来診療棟 36
- 中央診療棟 32
- 西病棟 28
- 東病棟 29
- 臨床研究推進センター 27
- 先端医療技術トレーニングセンター 43

星陵レジデンス 46

- 動物実験センター 26
- 遺伝子実験センター 3
- 東北メディカル・メガバンク棟 45
- RI星陵サブセンター 25
- 星陵学生サークル棟 1
- 星陵体育館 2
- 星陵会館(厚生施設)医学部開設百周年記念ホール
- 星陵オーデトリウム 15
- 医学部良陵会館 38



星陵キャンパス

東北大学概要 2017

●
【編集・発行】
平成29年8月

東北大学総務企画部広報課
〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1
Tel.022-217-4977

●
<http://www.tohoku.ac.jp/>

